

**KEIO**

あなたと あたらしい あしたへ — 京王グループ

安全・社会・環境報告書

# 2016 CSRレポート



京王グループ  
理念

私たち京王グループは、  
つながりあうすべての人に誠実であり、環境にやさしく、  
「信頼のトップブランド」になることを目指します。  
そして、幸せな暮らしの実現に向かって  
生活に溶け込むサービスの充実に日々チャレンジします。

京王グループでは、生活関連サービス事業者として運輸業、流通業、不動産業、レジャー・サービス業などの事業を展開しています。グループ経営を強化していくにあたり、京王グループの存在意義を明文化し、価値観を共有するため、2003年1月に

「京王グループ理念」を制定しました。

この「京王グループ理念」のもと、グループ一丸となって総合力を高め、グループとしての企業価値向上に努めています。

京王グループ  
スローガン

あなたと あたらしい あしたへ ————— 京王グループ

グループ理念をさらに浸透させていくため、京王グループではスローガンを定め、信頼される京王ブランドの確立に努めています。

沿線の方々をはじめとするお客様・株主・取引先と

いった、つながりあうすべての人とともに、さらに快適で幸せな暮らしの実現に向けて前進していきたい。その思いを胸に掲げて、「あたらしい あした」を力強く目指しています。

京王グループ  
行動規範

「信頼のトップブランド」になるため、私たちは以下のとおり行動します。

**企業活動を通じて社会に貢献します**

- お客様の幸せな生活に資する商品・サービスを提供します
- 常に商品・サービスの品質、安全性の向上を追求します
- 適時適切な情報開示に努めるとともに、お客様の声を事業活動に活かします

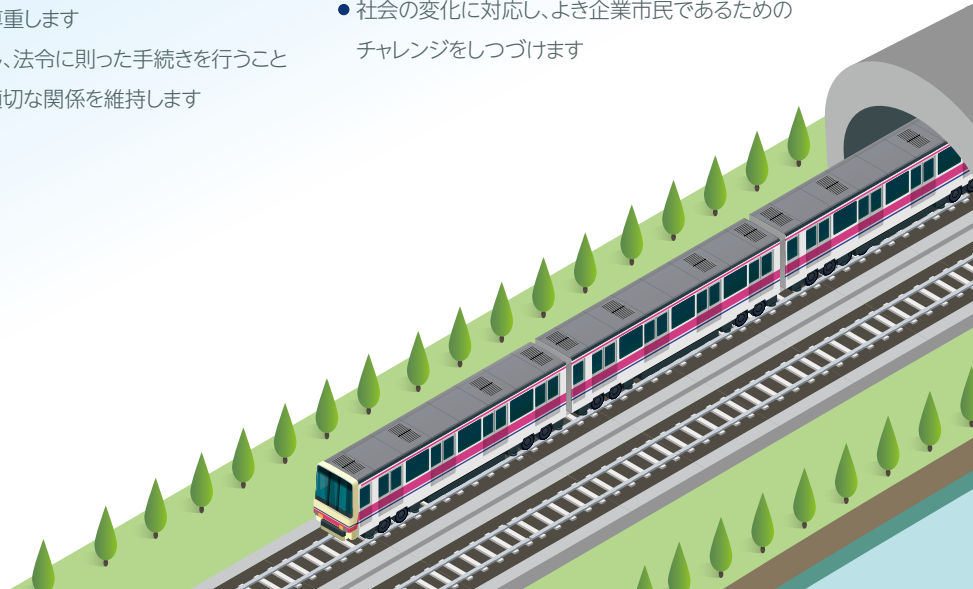
**法令・社内規程を遵守し、健全・公正な企業活動を行って、企業価値の向上に努めます**

- 全てのステークホルダー(お客様・株主・取引先・社員などの関係者)に対して、相互に適正な利益を確保できるよう互いを尊重します
- 法令を正しく理解し、法令に則った手続きを行うことで、公的機関等と適切な関係を維持します

- 反社会的な組織、人物に対しては断固とした姿勢で臨みます
- 知的財産や情報の取扱いに細心の注意を払います
- 社員個人の権利を尊重し、社員同士が信頼しあえる風通しの良い職場づくりをします

**社会の一員としての責任を果たします**

- すべての人にやさしい環境づくりを進めます
- リサイクル、省エネなど環境保護に積極的に取り組みます
- 社会に貢献し、社会と共に発展するための活動に取り組みます
- 社会の変化に対応し、よき企業市民であるためのチャレンジをしつづけます



# CONTENTS

トップメッセージ	2	■ <b>社会性報告</b>	
コーポレート・ガバナンス	4	メッセージ	34
■ <b>安全報告</b>		社会性特集:	
メッセージ	6	「住んでもらえる、選んでもらえる沿線づくり」	36
安全方針・安全管理体制	7	お客様の利便性・快適性の向上	38
安全特集:		地域社会・行政との連携	43
「全社員一丸での安全優先の鉄道づくり」	8	お客様との対話	44
安全管理方法	10	多世代が生活しやすい沿線づくり	46
中期3カ年経営計画		地域社会への貢献	48
2015年度 安全目標・安全重点施策	11	株主・投資家の皆様との対話	51
人材の育成	12	人材の活用と働きやすい職場づくり	52
安全文化の構築	14	■ <b>環境報告</b>	
危機に備えた訓練	16	メッセージ	56
施設・設備の取り組み	18	環境方針	57
日々の保守管理	24	環境特集:「環境にやさしい鉄道」	58
災害等への備え	26	環境マネジメント	60
2015年度輸送安全実績	29	低炭素社会を目指して	62
2016年度安全目標・安全重点施策	30	循環型社会を目指して	64
お客様との連携	31	自然共生社会を目指して	66
グループ会社の安全対策	32	環境関連データ	70
		CSRアクションプラン	72
		京王電鉄の概要	74
		第三者意見	75

## 編集方針

本報告書は、多角的な事業を展開する京王グループの活動を安全・社会・環境面から捉え、どのような考えを持って取り組んでいるかを、分かりやすくお伝えするものです。

当社の最大の使命である安全への取り組みをはじめとして、ステークホルダーに対しての取り組みが伝わるよう留意しました。

なお、より詳しく、視覚的、タイムリーにお伝えするため、京王ホームページ、京王ニュース、環境・CSRポスター、インベスターズガイドなどでも適切な情報発信に努めています。あわせてご覧ください。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4により公表が義務付けられた「安全報告書」を兼ねているほか、皆様とのコミュニケーションを深めるための重要なツールと位置付けています。

### 【報告範囲・報告期間】

- 本報告書は、京王電鉄単体(鉄道事業部門、開発事業部門、一般管理部門)の2015年度(2015年4月1日～2016年3月31日)の報告です。当該年度以外の事例や京王グループの事例も一部掲載しています。
- 環境負荷データおよび環境会計データは、京王電鉄単体の2013年度～2015年度のデータです。

### 【参考にした報告ガイドライン】

- 鉄軌道事業者による安全報告書の作成手引き(国土交通省)
- 環境報告ガイドライン(2012年版、環境省)

# つながりあうすべての皆様から 信頼される京王グループを目指します



京王電鉄株式会社 代表取締役社長

紅村 康

京王グループは京王グループ理念として、「つながりあうすべての人に誠実であり」、「環境にやさしく」、「信頼のトップブランド」となることを掲げています。

そして、「信頼のトップブランド」となるため、京王グループ行動規範を制定し、企業活動の指針としています。

2015年度は、「2020年度に向けた中期経営計画」の第一期となる「中期3カ年経営計画」の初年度として、「鉄道事業の安全性・収益力の向上」「沿線拠点の活性化」「将来的に成長が見込める事業の拡大」など、成長に向けた土台作りをグループ一丸となって進めてきました。

その中で、当社とつながりあう様々なステークホルダーに対するひとつのコミュニケーションツールとして、本CSRレポートは安全、社会、環境という整理をまとめています。

## 安全管理を徹底し、信頼を築く

鉄道事業では、2015年度も、鉄道の安全性向上への取り組みとして、京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事

業について、踏切25カ所の解消に向けて事業主体である東京都とともに用地取得や設計業務などを推進してきました。また、高架橋柱やずい道(トンネル)、盛土区間を対象とした耐震補強工事を鋭意進めるなど、安全対策の強化に取り組みしました。

また、近年頻発する自然災害への対応として、大雪に備え排雪板を装着した車両を導入したほか、落雷などの災害によ



夏季安全輸送推進運動 社長巡視

る影響について幅広く想定を見直し、減災対策の向上を推進しています。

鉄道の安全確保については、「鉄道事業に求められている社会的使命の確認」「全社一丸で鉄道を支える」「現場職場の自主性の尊重」など、全社員参加型の対策に取り組み、鉄道等運転無事故事業者表彰を2年連続で受賞することができました。

## 環境負荷の少ない鉄道業の中でも、 より環境にやさしい電車に

当社の鉄道事業では、より少ないエネルギーで効率的に動くことができる「環境にやさしい電車」を目指した取り組みを推進しています。すでに全車両への整備を完了したVVVFインバータ制御装置から、より省エネルギー性能の高い新型VVVFインバータ制御装置への切り替えを行っているほか、駅や車両照明のLED化、駅舎補助電源装置の導入拡大など、継続して環境への取り組みを進めてきた結果、「平成27年交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰」を受賞しました。引き続き、鉄道事業の動力である電力の使用量削減を中心に、環境に配慮した様々な施策を進めます。

## 様々な人が利用しやすく心地よい サービスを目指して

2015年9月に実施した鉄道ダイヤ改正では、早朝・深夜帯での利便性向上、都心方面へのアクセス向上などのほか、バスのダイヤ改正も行い、沿線のお客様の利便性を高める工夫をしました。

また、リニューアルした高尾山口駅舎に始まり、ラッピング車両、バスの新路線運行や「京王高尾山温泉 / 極楽湯」の開業など、高尾山エリアのさらなる活性化を図っています。

さらに京王グループでは、沿線が将来にわたり活力を維持し、多世代にとって暮らしやすく魅力的な街となるよう、「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」づくりを進めています。2015年度には、介護付有料老人ホーム「チャームスイート京王聖蹟桜ヶ丘」や保育所を併設した子育て支援賃貸マンション「京王アンフィール国領」を竣工させたほか、地域高齢者ケアを目的として、介護・看護サービスを提供する「サービス付き高齢者向け住宅」の建設にも着手しました。

そのほか、沿線地域の多様で豊かな文化資産を活用し、京王沿線の大学や団体などとの連携による「文化」「教育」「子育て」に関する学びの機会を提供する「京王アカデミープログラム」は、2年目を迎え内容をより充実させるなど、地域との共生を図っていきます。

京王グループは、鉄道事業の安全確保や環境への取り組みなど様々な社会的責任を果たし、沿線のお客様をはじめとした、つながりあうすべての皆様の信頼度を高められるよう努力していきますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



高尾山の保全活動

## コーポレート・ガバナンスと内部統制

### ■ 基本的な考え方

京王グループでは、「京王グループ理念」に基づき、透明性・公正性を確保しつつ、迅速・果敢な意思決定を行うことにより、株主の皆様をはじめつながりあうすべての人からの信頼を確保し、京王グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るため、当社の取締役会で定めた「コーポレート・ガバナンス基本方針」のもと、コーポレート・ガバナンスの充実・強化を推進しています。

### ■ コーポレート・ガバナンス体制

取締役会は社外取締役2名および主要なグループ会社の社長等5名を含む18名で構成しており、経営上の重要な事項等についての決議や業務執行の監督を行うほか、時機を捉えた迅速な意思決定が必要な事案については、会社法に基づく特別取締役で構成される特別取締役会にて決議を行っています。

また、取締役会の諮問機関としてガバナンス委員会および指名・報酬委員会を設置し、グループ・ガバナンスの向上や経営の透明性確保に努めています。

監査役会は、社外監査役3名を含む4名で構成し、監査役は、監査役会で定めた基本方針に基づき、取締役の職務執行の監査を行うほか、取締役会その他重要な会議に出席し、必要な意見陳述を行っています。また、会計監査人、内部監査部門および内部統制部門の連携体制を構築しています。

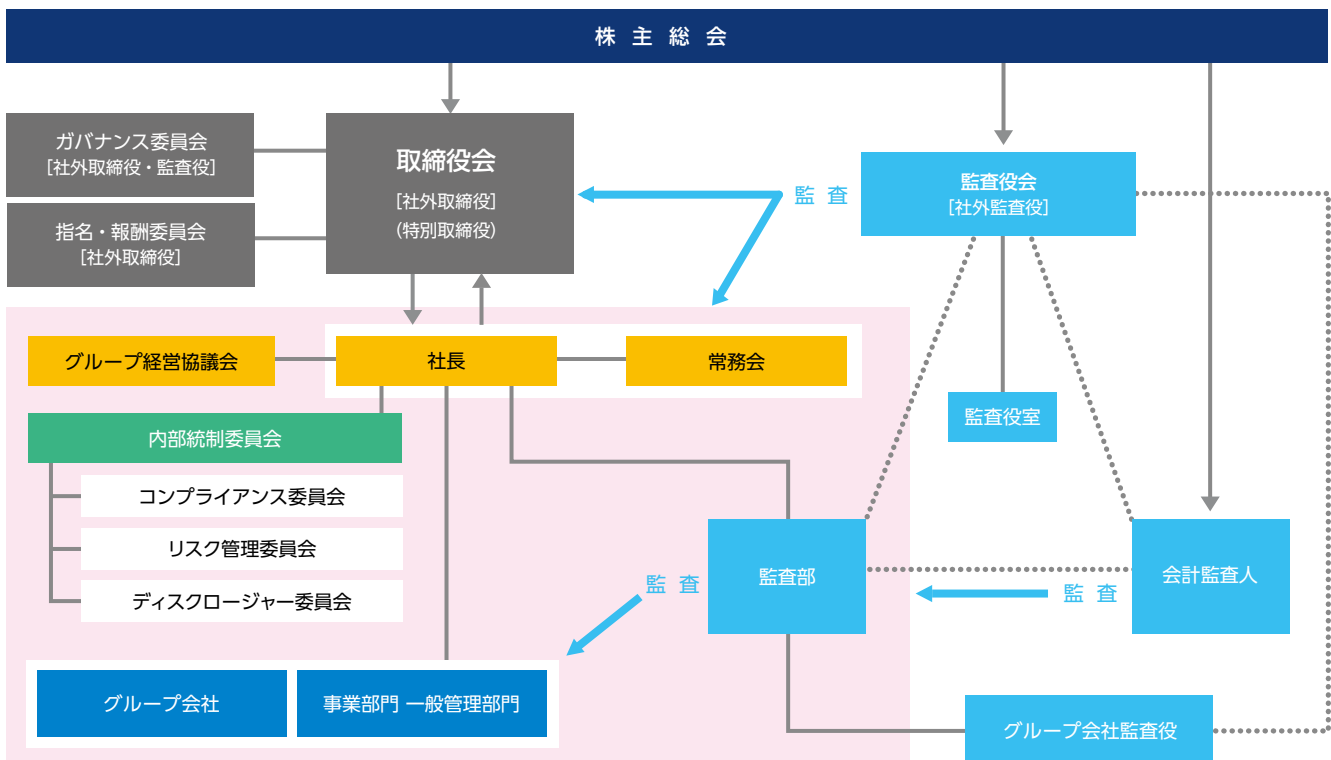
さらに、グループ会社の社長等をメンバーとするグループ経営協議会において、グループ全体の経営課題について協議しているほか、京王グループ社長会、グループ監査役会等を開催することで、グループ・ガバナンス体制の充実を図っています。

### ■ 内部統制システムの強化

京王グループは「信頼のトップブランド」を確立するため、内部統制システムの強化に努めています。

京王グループ一体となり内部統制の整備を推進するため、「京王グループ内部統制システムに関する基本方針」を定めており、当社およびグループ各社では、その整備状況を確認・検証し、必要に応じた見直しを行っています。また、内部統制に関する体制を統括するため、内部統制委員会を設置しているほか、財務報告に関わる内部統制についても専任部署を設けて京王グループ全社で取り組んでいます。

### ● コーポレート・ガバナンス体制



## コンプライアンス

### ■ 基本的な考え方

京王グループにとっての「コンプライアンス」とは、「法令遵守にとどまらず、社会の規範やルールまで含めて遵守することで、社会の期待に応える」ことであると考えています。

コンプライアンスに取り組むことにより、不祥事の起きにくい風土をつくり、誠実な企業としてお客様や社会から一層の信頼を獲得したいと考えています。

### ■ コンプライアンス体制

京王グループでは、「京王グループ行動規範」を定め、グループ全体に浸透させ、継続的に取り組んでいくため「コンプライアンス委員会」と「京王ヘルプライン」からなる「コンプライアンス体制」を構築しています。

「コンプライアンス委員会」は、委員長、外部の有識者、事務局で構成され、委員長には当社総務法務部分担役員が就き、その諮問機関としての外部有識者（弁護士・会計士など）を置いています。事務局は、当社の総務法務部と広報部が務めています。

#### ● コンプライアンス体制



### ■ ヘルプラインの運営

業務に関するコンプライアンス上の疑問を抱いている社員が上司に相談できない場合、身近に相談できる窓口として「京王ヘルプライン」（社内窓口:当社総務法務部、社外窓口:弁護士事務所）を設けています。このヘルプラインは、グループ全社員はもとより、京王グループのお取引先企業で働く方も利用できます。このヘルプラインの運用により、京王グループのコンプライアンス上の問題の早期発見と解決につなげています。

## リスクマネジメント

### ■ 基本的な考え方

鉄道事業を中心に企業活動を展開している京王グループでは、「お客様の安全」をリスク対策における最重要課題と認識してい

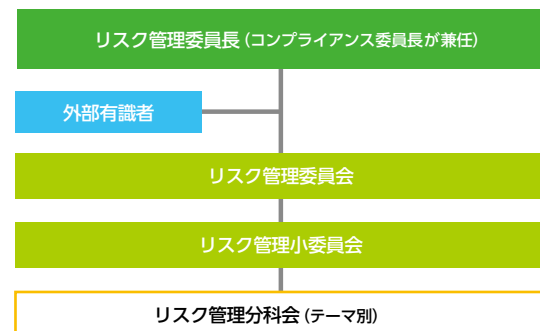
ます。そのため各種リスクの低減および発生防止を目的とした体制を整備し、京王グループの理念である「信頼のトップブランド」にふさわしいリスクマネジメントを実践することが必要です。

### ■ リスクマネジメント体制

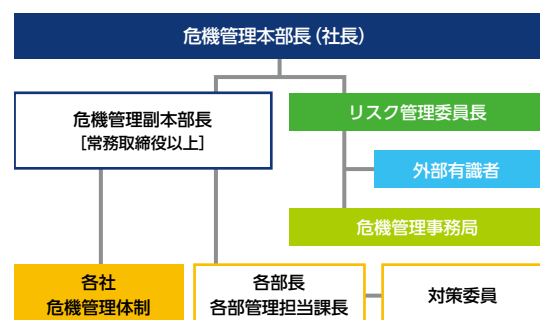
京王グループのリスクマネジメント体制は、平常時の体制と危機発生時の体制の2つからなっています。平常時の体制は、リスク管理委員長のもとリスク管理委員会を定期的開催し、リスク対策重点項目の設定や、リスク対策の実施状況の確認、リスクマネジメントに関する活動報告などを行っています。

リスク管理委員長は、コンプライアンス委員長が兼任し、コンプライアンスと表裏一体のものとして運営するとともに、リスクマネジメント活動について、コンプライアンスの視点からもチェックしながら推進する仕組みをとっています。このほか、「リスク管理小委員会」、「リスク管理分科会」などの組織を持ち、平常時のリスク対策を実効的に行えるようにしています。危機発生時の体制は、速やかな対応を第一とし、当社の社長を本部長とする臨時組織「危機管理本部」設置とともに、常務取締役以上の役員1名を危機管理副本部長とし、リスク管理委員長と危機管理事務局が活動をサポートします。また、京王グループ各社で発生した危機のうち、重大なものについてはグループ各社の危機管理体制と当社内に設置する危機管理本部が一体となって対応します。

#### ● リスクマネジメント体制（平常時）



#### ● リスクマネジメント体制（危険発生時）



## メッセージ



専務取締役  
鉄道事業本部長(安全統括管理者)

高橋 泰三

### さらなる安全性の向上を目指して 日々努力してまいります

日頃から、京王線、井の頭線をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。  
当社では、皆様から信頼され、愛される鉄道になるため、「『安全』は最大の使命であり、最高のサービスである」ことを常に意識し、「全社員が一丸となり継続的改善に取り組み、安全最優先の鉄道を創る」ことを最大の命題として日々の業務に取り組んでおります。

ハード面では、25カ所の踏切を廃止する笹塚駅～仙川駅間の連続立体交差事業について、引き続き事業主体である東京都とともに推進してまいります。また、吉祥寺駅でホームドアの供用を開始したほか、新線新宿駅および渋谷駅への設置準備を進めてまいります。

災害対策としては、鉄道施設のさらなる耐震化を目指し、京王線新宿駅～笹塚駅間のトンネル内の補強を完了させたほか、高架橋柱や盛土などの補強工事を進めてまいります。また近年増加傾向にある異常気象に対応し、雨量計を増設したほか、線路脇斜面の防護や電気設備の落雷対策を引き続き進めてまいります。

ソフト面では、事故の防止に向け「安全に関する基本方針」の徹底を図るとともに、現場の声や他社の先進的な取り組みを幅広く収集し、安全対策を実施してまいります。また輸送障害の発生防止に必要な対策を検討するほか、発生時の情報提供を強化してまいります。

これからも、京王線、井の頭線が皆様の生活になくてはならないものであり続けるため、安全性の向上を目指して日々努力してまいります。



鉄道事業本部長による現業係員との意見交換



鉄道事業本部長による通信施設の視察



# 安全方針・安全管理体制



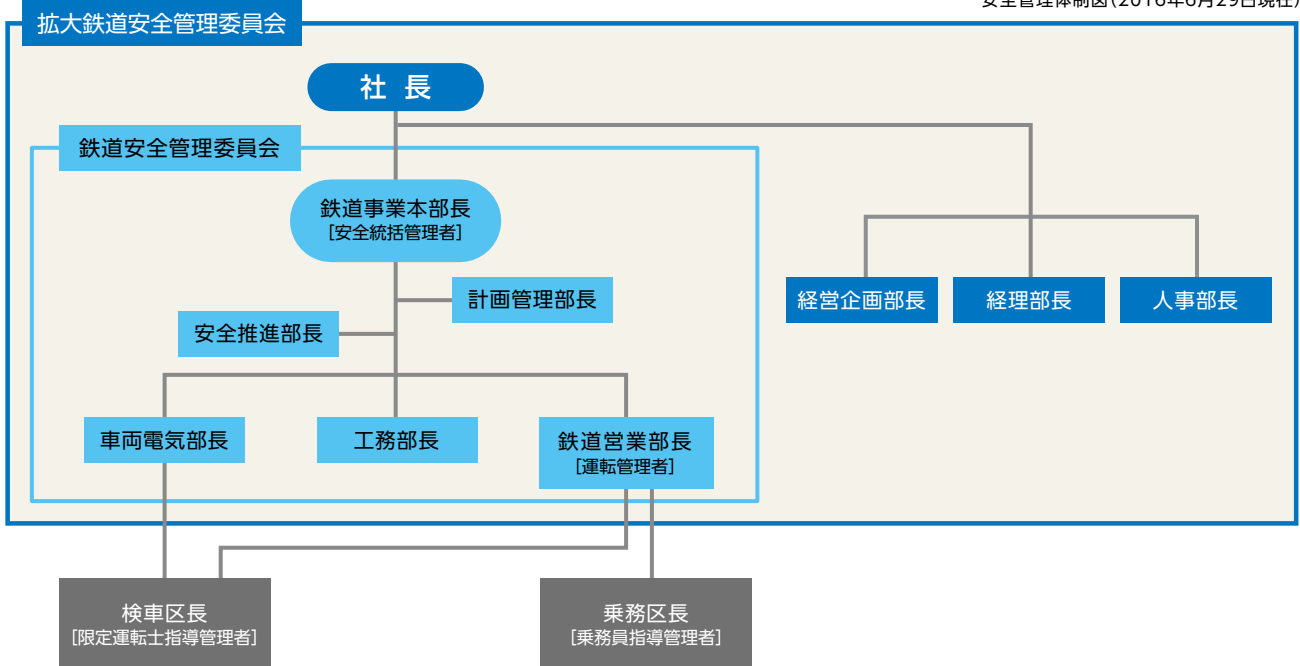
## 安全方針

安全に関する基本方針	安全に係る社員の行動規範
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「安全」は最大の使命であり、最高のサービスである。</li> <li>■ 全社員が一丸となり継続的改善に取り組み、安全最優先の鉄道を創る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全てにおいてお客さまの視点に立ち、安全確保を第一に行動する。</li> <li>■ 社員一人ひとりガールールを遵守し、判断に迷ったときは、自ら考え、最も安全と認められる行動をとる。</li> <li>■ 情報伝達は迅速かつ正確に行い、共有化を図る。</li> <li>■ 組織・職位を越えたコミュニケーションを構築し、全社員が連携して問題解決にあたる。</li> </ul>

## 安全管理体制

当社では、安全管理体制を下の図のとおり構築しています。

安全管理体制図(2016年6月29日現在)



## 責任者名と役割

責任者名	役割
社長	輸送の安全の確保に関する業務全般を総理する。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
限定運転士指導管理者	車両電気部長および運転管理者の指揮の下、限定運転士の資質の保持に関する事項を管理する。

# 「全社員一丸での 安全最優先の鉄道づくり」

## 安全第一



## 災害等への備え

もしもの場合に備え、被害を最小限にとどめ、お客様の安全確保と早期運行再開を実現するために対策を実施しています。

詳しくはP.26 ▶

## 安全文化の構築

全社員が安全を守る意識を大切にしています。

詳しくはP.14 ▶

## 鉄道総合指令センター

高度なシステム、多様な設備が安全運行を支えています。

詳しくはP.22 ▶

## ホームの安全対策

皆様に安心してご利用いただけるように、様々な安全対策を実施しています。

詳しくはP.20 ▶

「運輸安全マネジメント」を推進することで、全社員が一丸となり安全の確保に努めています。

# KEIO SAFETY MAP

## 危機に備えた訓練

多様な訓練を通じて、事故・災害への対応能力を高めています。  
詳しくはP.16 ▶

## 日々の保守管理

安全・安心な運行には、日々の保守管理が欠かせません。  
細心の注意を払って、保守管理に努めます。  
詳しくはP.24 ▶

## 踏切の安全対策

新たな技術や設備を導入するなど、踏切の安全性を一層高めていきます。  
詳しくはP.19 ▶

## 人材の育成

安全・安心・快適な鉄道であるため、技術・技能の維持・向上に励み、あらゆる場面での対応力を向上させていきます。  
詳しくはP.12 ▶

訓練中

# 安全管理方法

## 鉄道安全管理委員会

安全統括管理者を中心に、運転管理者を含む鉄道事業本部の各部長がメンバーとなり、原則として毎月1回定期的に、また必要により臨時に開催し、事故等の原因の究明・対策の検討・検証などを行っています。また、他社で発生した重要な事故・トラブルについて、当社の対応状況を確認しています。

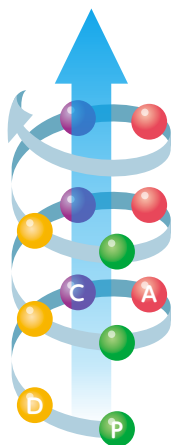
さらに、拡大鉄道安全管理委員会を社長出席のもと年2回開催し、安全重点施策をはじめとした安全管理体制全般の実施状況の評価(マネジメント・レビュー)などを行っています。

## 「運輸安全マネジメント」 PDCAサイクル

鉄道安全管理委員会を中心として、計画(Plan)→実施(Do)→評価(Check)→見直し・改善(Act)サイクルに沿って、継続して安全性の向上を図っています。

### ● 継続的な見直しと改善

安全性の向上



- P** = Plan : (計画)取組計画の策定
- D** = Do : (実施)施策の実施
- C** = Check : (評価)点検
- A** = Act : (見直し・改善)継続的な見直し

## 現業部署での目標管理制度

安全確保などの定量的目標を、各現業職場が自ら立てて実践する目標管理制度を導入しています。

## 事故の芽・トラブル情報・ ヒヤリハットの報告

鉄道係員による取り扱い上の支障、機器の故障、自然災害などに起因する異常やそれらに対する措置の報告、また、事故が発生する恐れがあった事態、事故等や労働災害に関係するヒヤリハットを幅広く収集・分析し、対策を講じることで、安全性の向上に役立っています。

## 緊急時対応体制の整備

鉄道事故や自然災害の発生に備え、社内規程類を整備し、緊急時対応体制を構築しています。重大な事故や自然災害が発生した際は、対策本部を設置して、応急・復旧対策にあたります。

また、大規模な鉄道事故が発生した場合、被害に遭われた方々およびそのご家族などに対して、事故発生直後から中長期にわたって行う支援のために「被害者等支援計画」を策定しています。

## 内部監査の実施

運輸安全マネジメントに基づく内部監査を毎年行い、安全管理体制が適正に機能していることを確認しています。社長、安全統括管理者ならびに安全管理体制の責任者を務める部長、課長および現業長に対してインタビューや書類検査などを行い、監査で見出された事項については、鉄道安全管理委員会に報告され、共有されています。

## 経営トップによる職場巡視

年4回の安全推進運動や、毎月の「安全再確認の日」を中心に、社長をはじめとする役員が現業職場を巡視して安全管理の状況を確認するとともに、現業係員との意見交換会を実施してコミュニケーションを図っています。



社長と現業係員との意見交換会

TOPICS

## 運輸安全マネジメント評価

2015年9月、国土交通省による「運輸安全マネジメント評価」が実施されました。輸送の安全確保に関する取り組みについて評価いただくとともに、さらなる向上を目指すための助言をいただきました。



評価受検時の様子

# 中期3カ年経営計画 2015年度 安全目標・安全重点施策

2015年度から新たにスタートした中期3カ年経営計画に、安全性を向上していく施策を掲げています。

## 2020年度に向けた中期3カ年経営計画(2015～2017年度)

- 京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業
  - 「安全に関する基本方針」の徹底
  - 鉄道施設のさらなる耐震化
  - 現場の声や他社の先進的な取り組みを幅広く収集
  - 異常気象への対応
- (鉄道の安全性向上への取り組みを抜粋)

## 2015年度 安全目標

社員一丸となり安全重点施策に取り組むことで達成していくことを目指します。

有責事故ゼロ と 輸送障害発生件数の前年比削減

## 2015年度 安全重点施策

ソフト面	ハード面
<p>1. 事故や輸送障害の未然防止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 安全に関する基本方針に則り行動する</li> <li>(2) 報告することで安全性を向上させる</li> <li>(3) 教訓を生かす</li> </ul> <p>2. 自然災害対策と危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 異常気象に対処する</li> <li>(2) 事故や災害・危機に備える</li> </ul> <p>3. 人材育成・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 人材を育てる</li> <li>(2) 人材を確保する</li> <li>(3) 技術を継承する</li> <li>(4) 多様な人材を活用する</li> </ul>	<p>4. 中長期的大規模工事の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業の推進</li> <li>(2) 下北沢駅改良工事の推進</li> </ul> <p>5. 減災対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 高架橋柱や橋梁、新宿ずい道、盛土区間を対象にした構造物の耐震補強工事の実施</li> <li>(2) 大雨対策の実施</li> <li>(3) 雷害対策の実施</li> <li>(4) 雪害対策の実施</li> </ul> <p>6. 安全対策・老朽化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 吉祥寺駅へのホームドア整備</li> <li>(2) 飛田給駅への転落防止固定柵設置</li> <li>(3) 京王線8000系車両のリニューアル</li> </ul>

## 2015年度 安全スローガン

安全意識の一層の高揚を図るため、毎年、社内公募により安全スローガンを定めています。

確実な 作業を続ける その気持ち つなげる安全 築こう信頼

鉄道営業部京王東管区 営業掛兼信号掛 (応募当時)  
今里 友輔



# 人材の育成

## 鉄道従事員への教育方針

「鉄道従事員として自ら知識・技能の習得に努め、安全・安心・快適な鉄道であるための使命を果たせる人材を育成する」という教育方針に基づいて、部署・職位別の教育訓練を行っています。

実務に即した訓練など専門分野に関するものや、鉄道事業部門共通の研修などを通じて、鉄道従事員としての資質の向上に努めています。

## 鉄道教習所における教育

鉄道教習所は、国土交通大臣指定の動力車操縦者の養成所として運転士に必要な知識・技能の教育を行っています。

### 主な設備

#### ■ 運転シミュレーター

コンピュータ・グラフィックス映像を活用した運転士訓練機能および車掌訓練機能があります。昼夜、降雨・降雪など様々な条件が設定でき、乗務員の教育や異常時対応訓練などを行っています。



シミュレーターによる運転士訓練

#### ■ 駅業務訓練室

実際の駅を再現し、駅で使用している自動券売機や自動改札機などを設置し、業務知識の習得や接客向上訓練を行っています。



自動改札機取り扱い教育

#### ■ ホーム訓練室

実際のホームを再現し、列車非常停止ボタンや転落検知装置などの機器を使用して、異常時における迅速かつ確かな対応ができるよう訓練を行っています。



#### ■ 信号扱訓練室

列車運行管理システムが故障した時などに備え、信号操作の取り扱い(てこ操作)訓練を行っています。

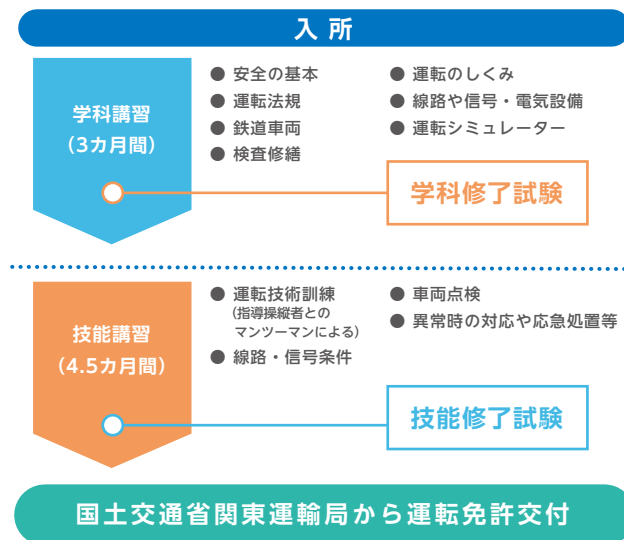


## 乗務員の養成と技能の維持・向上

### ■ 運転士の養成

運転士になるためには、駅係員、車掌を経験した後、鉄道教習所で学科講習と技能講習をあわせて約8カ月間受け、試験に合格する必要があります。

#### 入所から運転免許交付までの流れ



■ 車掌の養成

車掌になるためには、駅係員を経験した後、鉄道教習所で学科講習と技能講習をあわせて2カ月半受け、試験に合格する必要があります。



シミュレーターによる車掌訓練

■ 乗務員の技能の維持・向上

運転士・車掌になった後もフォロー教育や監督者による定期的な添乗指導などを受けるほか、各職場での勉強会や、個別の面談による指導を通じて、知識・技能の維持・向上を図っています。

■ モーターマン・テクニカル・コンテスト

安全かつ快適に運転できる技能の高い運転士が参加し、その技能を競い合うモーターマン・テクニカル・コンテストを、2016年2月に実施しました。



入社・昇進時の研修

入社時だけでなく上位職への昇進時などには、安全を支えていく鉄道従事員としての意識付けを継続的に図っています。管理職に対する研修では、トラブル発生の際、その原因や背後要因を掘り下げられるように、「事故の聞き取り調査手法」の研修を行っています。



協力会社との勉強会

軌道・土木・建築、電気、車両などの保守管理や施設改良工事を委託する協力会社の社員とともに勉強会を実施しています。安全な作業手順を再確認するとともに、管理職による安全パトロールの実施により、事故防止に取り組んでいます。



安全推進部人材育成担当 鉄道教習所 教師  
梶野 雅規

乗務員養成においては、運転に必要な知識や技能を確実に習得させるだけでなく、教習生自身に安全・安心な鉄道を担う職責の重さを十分理解させなければなりません。

鉄道教習所では、様々なインシデントや事故事

例を研究し、積極的に養成カリキュラムに取り入れるほか、異常時に臨機応変な対応ができる乗務員の養成を目指しています。

これからも高い安全意識を持った乗務員を育てるべく、全力で取り組んでまいります。

# 安全文化の構築

## 安全ポスター

毎年、安全ポスターにより安全意識を浸透させています。2015年度は「京王の鉄道を支えるプロフェッショナルたち」をテーマに6回シリーズで展開しました。



## 事故展示室

鉄道教習所にある事故展示室には、当社および他社の主な事故事例を年表形式にまとめた「鉄道事故年表」をはじめ、個別の事例について当時の写真や新聞記事、略図を用いて解説したパネルを展示しています。乗務員養成教育などでパネルを活用した事例研究を行っているほか、研修などで鉄道教習所を訪れた社員も自由に学ぶことができます。

また、社内ポータルサイトに「バーチャル事故展示室」を開設しており、社内の各パソコンからも学ぶことができます。



事故事例のパネル展示

## 安全講演会

安全意識の高揚を目的として、毎年開催しています。2016年2月には、株式会社原子力安全システム研究所 作田 博氏を招き、「ヒューマンエラー対策と人間の特性～より安全を目指して～」をテーマにご講演いただきました。



## 京王失敗学会

当社ベテラン社員やOBが、過去に体験した事故やヒヤリハット、またそこから学んだ教訓を自ら語ることで、後輩社員に安全文化を伝承するとともに、失敗情報についてオープンに話し合う講演会「京王失敗学会」を開催しています。



## 鉄道防災講演会

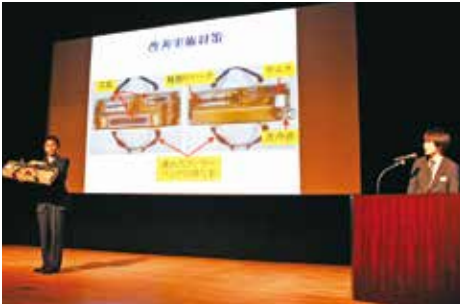
防災への意識高揚を目的として、2016年1月に阪神淡路大震災の発災時に阪神電気鉄道株式会社の電気部に勤務されていた山本隆弘氏（現 アイテック阪急阪神株式会社 東京支社長）を招き、震災時の対応や復旧への取り組みなどについて、ご講演いただきました。





## 小集団活動発表会

毎年、各職場で取り組んでいる業務改善活動の発表会を開催し、社員の改善意識を高揚させながら、業務の組織的改善を行っています。



発表会の様子



部門内で情報共有する資料

## 出張勉強会

ATCシステムについて、車両電気部の開発担当者が乗務区に出向き、乗務員と意見交換を行い相互理解を深めるための懇談会を2015年8月、2016年2月に実施しました。



## 鉄道事業部門外の社員への安全教育

開発事業部門など鉄道事業部門以外の社員が、鉄道における安全確保の取り組みに理解を深め、緊急時の対応が円滑に行えるようにするための安全教育を、2016年2月に実施しました。

また、社員が当社線を利用している際に、大規模災害や事故に遭遇し、急遽支援活動を行う場合に使用するワッペンを全駅、全列車に常備しています。



鉄道営業部井の頭南管区 助役  
橋本 剛

当社では、ホームや踏切に様々な保安装置を設置し、事故防止に努めております。その中には、お客様に操作をお願いしている機器がありますが、有事の際は操作に戸惑いを感じる方もいらっしゃいます。

私たちは、列車非常停止ボタンや踏切非常ボタ

ンのデモ機を製作し、交通安全運動の期間中などに駅構内でお客様に操作を体験していただく取り組みや、学校、高齢者施設を訪問し安全教室を開催しております。

今後も、安全に向けた取り組みを推進してまいります。

# 危機に備えた訓練

## 大規模な訓練

鉄道運転事故や自然災害の発生に備え、毎年度、多様な訓練を通じて、事故・災害への対処能力を高めています。

### ■ 総合事故復旧訓練

脱線など様々な鉄道事故を想定し、通報・連絡・お客様の避難誘導・現場の復旧などの訓練を毎年総合的に実施しています。2015年11月、若葉台車両基地において、多摩中央警察署と稲城消防署の協力をいただき、踏切に立ち往生した乗用車に列車が衝突し脱線したことを想定した訓練を実施しました。



お客様の避難誘導



線路の復旧



お客様を代行バスへ誘導する社員(鉄道事業部門外の社員による応援)



脱線車両の復旧



架線の張り替え

### ■ 防災訓練

地震の発生を想定し、列車の緊急停止、また本社における対策本部の設置・運営などの訓練を定期的に行っています。2015年9月の防災週間期間中と、東日本大震災発生後5年を迎えた2016年3月11日に実施しました。

### ■ 関係機関と連携した訓練

消防訓練、テロ対策訓練などを、警察署、消防署などと連携して実施しています。2015年には、警視庁と合同でNBCテロ対処合同訓練を若葉台車両基地で実施しました。



NBCテロ対処合同訓練の様子

### ■ 帰宅困難者対策

大規模地震などの災害が発生した際、帰宅が困難になったお客様向けに飲料水や食料、防寒アルミシートの備蓄を全駅で行っています。また、自治体と協力して帰宅困難者対策訓練なども実施しています。

## そのほかの訓練

年間を通じて、様々な条件を設定した訓練に取り組み、係員の異常時対応力の向上を図っています。

### ■ トンネル内非常口を使用した避難訓練

ずい道(トンネル)内で列車が長時間停車を余儀なくされた場合を想定した避難誘導訓練を、2016年2月に新宿ずい道で実施しました。



### ■ 雪害対応訓練

車両のパンタグラフに付着した氷雪を、絶縁棒を用いて払い落とす訓練を2015年12月に実施しました。



### ■ 信号扱い訓練

列車運行管理システムの故障発生を想定し、全線の信号取扱所での一斉訓練を年に4回実施しています。



### ■ 工事用作業車脱線復旧訓練

マルチプルタイタンパーが脱線した際に、備え付けのジャッキを使用して復旧する訓練を2015年10月ほかに実施しました。



### ■ 電車線(架線)張り替え訓練

断線した電車線を張り替える訓練を2016年1月ほかに実施しました。



### ■ 脱線復旧機材の取り扱い習熟訓練

列車脱線事故からの復旧を円滑に行うための訓練を2016年2月ほかに実施しました。



# 施設・設備の取り組み

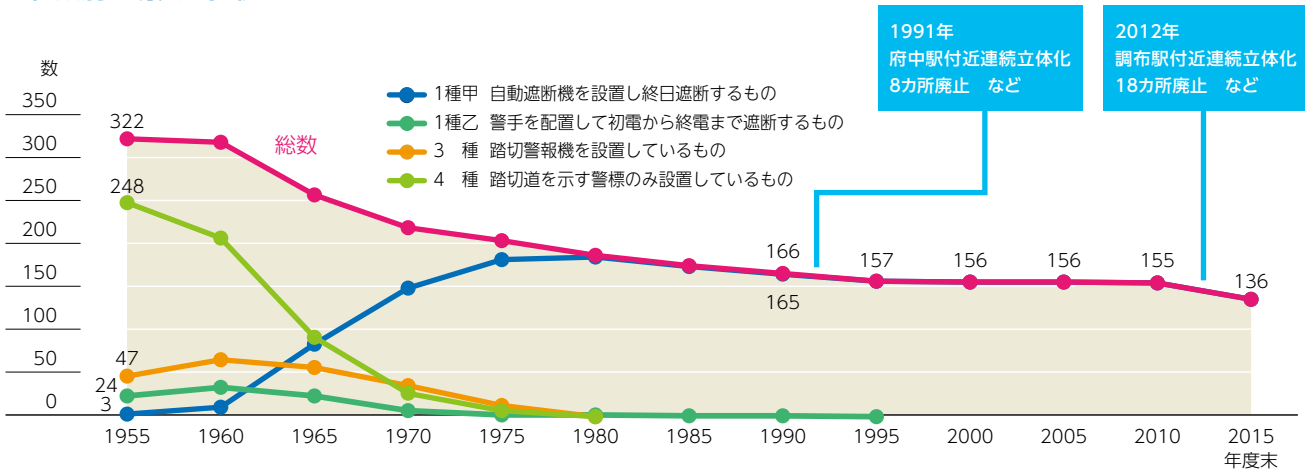
## 立体交差化

運転保安の向上のため、線路と道路の立体交差化や踏切の整理統合を行ってきました。特に連続立体交差化については1964年に京王線の新宿駅～初台駅間の地下化を皮切りに、直近では2012年8月に調布駅付近を地下化しました。この結果、踏切数は1955年度の322カ所から2015年度末で136カ所に減少しています。

現在、事業主体である東京都と協力し、京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業を進めています。

※連続立体交差事業：2カ所以上の幹線道路を含む多くの道路と鉄道を連続的に立体化するものであり、道路整備の一環として施行する都市計画事業です。

### ■ 種類別踏切数の推移



### ■ 調布駅付近連続立体交差事業

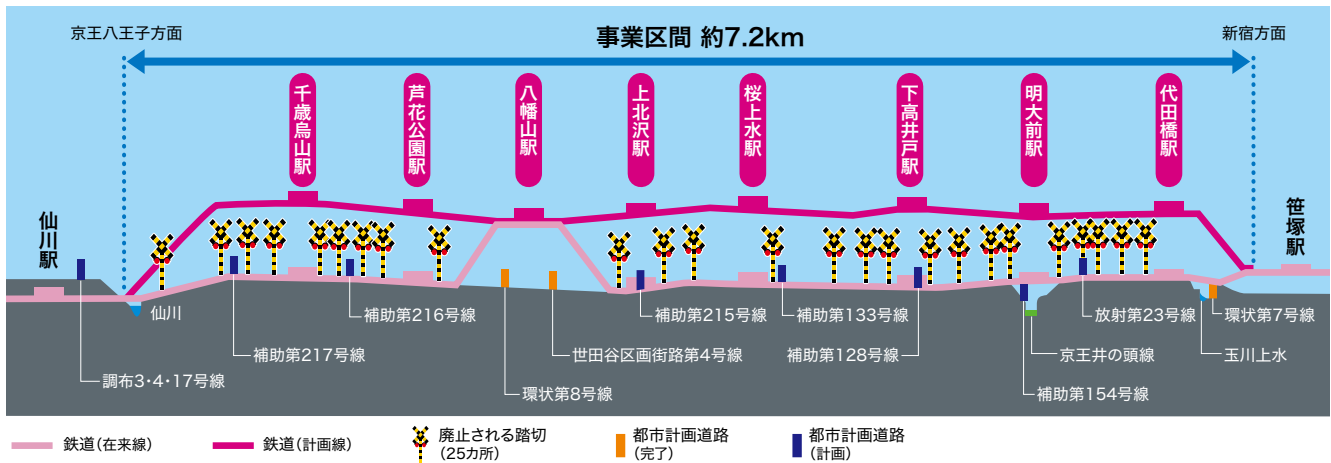
事業主体である東京都および調布市と協力し、調布駅付近連続立体交差事業を実施しました。

2012年8月に、事業区間の地下線への切替えを実施するとともに、鶴川街道や狛江通りなど18カ所の踏切を廃止し、2014年度末に事業が完了しました。

### ■ 京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業

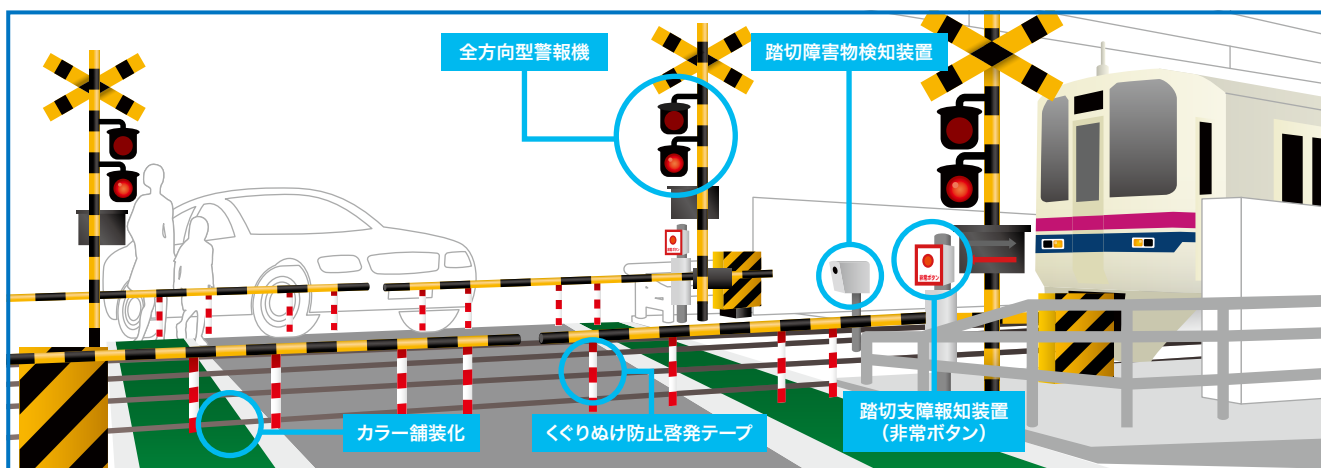
事業主体である東京都と協力し、京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業を実施しています。2014年2月、国土交通省から都市計画事業の認可を取得し、現在、用地取得や設計業務などを進めています。

この事業の完成により、笹塚駅～仙川駅間の約7.2kmを高架化し、井ノ頭通り(放射第23号線)などとの立体交差化を図ることで、25カ所の踏切を廃止します。



## 踏切の安全対策

踏切での安全を確保するため、各種保安装置を設置しています。



### ■ 踏切支障報知装置 (非常ボタン)

踏切での列車と自動車などとの接触事故を未然に防止するため、すべての踏切に設置しています。踏切内で閉じ込められるなどの緊急事態が生じた場合、ボタンを押すと、運転士に異常を知らせるとともに、付近の列車をATC(自動列車制御装置)により自動的に停止させます。



踏切支障報知装置 (非常ボタン)

### ■ 全方向型警報機

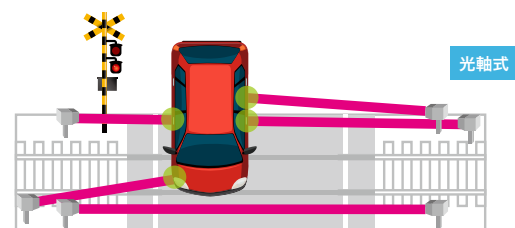
どの角度からも点滅が確認できる全方向型警報機の導入を進めています。



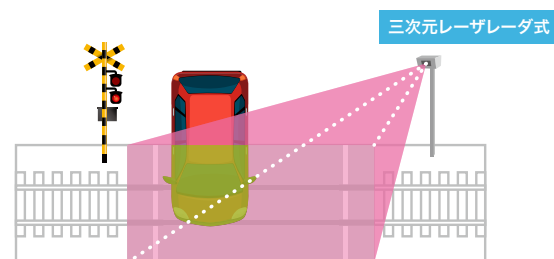
### ■ 踏切障害物検知装置

踏切での列車と自動車などとの接触事故を未然に防止するため、86カ所の踏切に設置しています。踏切内に何らかの障害物を検知すると、運転士に異常を知らせるとともに、付近の列車をATCにより自動的に停止させます。

また、踏切全体を検知範囲とすることが可能な三次元レーザレーダ式の装置の設置を進めており、さらなる事故防止に努めています。



光軸式



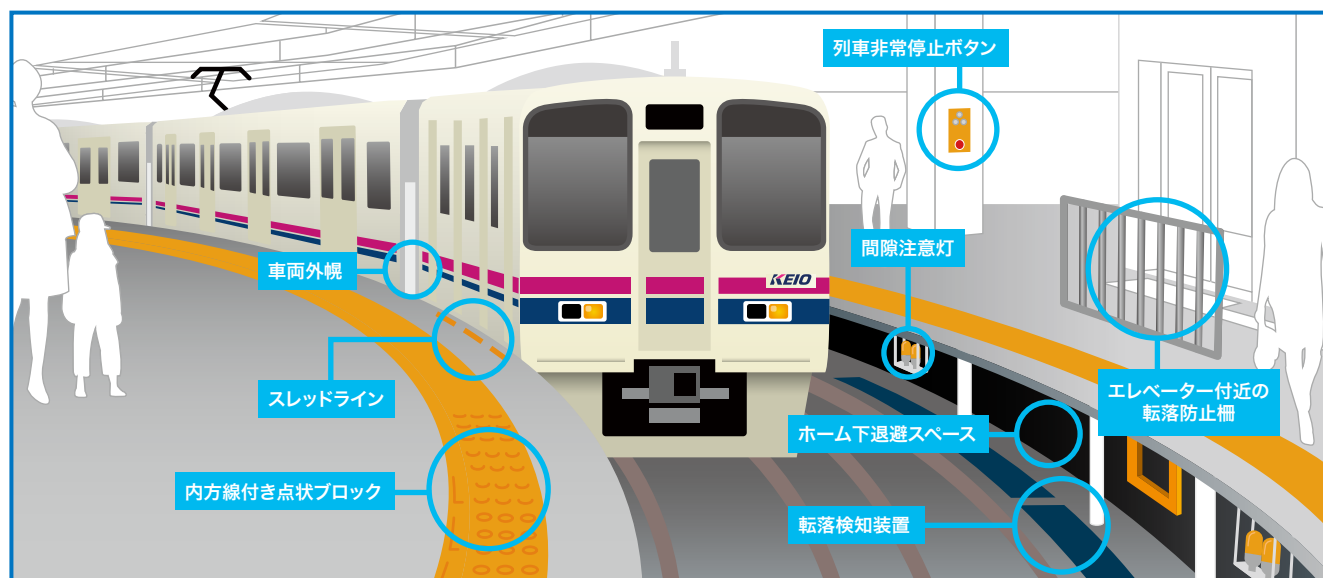
三次元レーザレーダ式



三次元レーザレーダ式検知装置

## ホームの安全対策

ホームでの安全を確保するため、様々な対策に取り組んでいます。



### ■ ホームドア

お客様のホームからの転落やホーム上での列車との接触事故を防止するため、新宿駅、国領駅、布田駅、調布駅にホームドアを設置しています。

2015年度は吉祥寺駅へ設置しました。また、新線新宿駅および渋谷駅については、2019年度末までの使用開始を目指し、設置の準備を進めています。



### ■ 転落防止固定柵

ホームからの転落防止を目的として、新宿駅降車ホームに固定柵を設置しています。2015年6月には飛田給駅下りホームに、9月には渋谷駅ホーム終端部に設置しました。



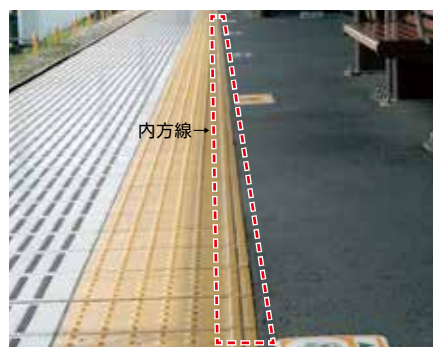
### ■ エレベーター付近の転落防止柵

エレベーター出入口が線路側を向いているホームの一部では、転落防止柵を設置しています。



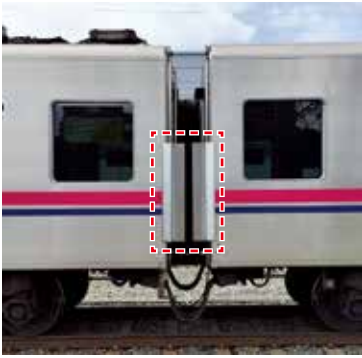
### ■ 内方線付き点状ブロック

目の不自由なお客様のホームからの転落防止対策として、ホーム縁端部にある警告ブロックにホームの内側を示す内方線の整備を完了いたしました。



■ 車両外幌

ホームから車両連結部への転落事故を防止するため、車両の連結部に外幌を設置しています。



■ 間隙注意灯・スレッドライン

曲線ホームなど、車両とホームとの隙間が広く空いてしまう箇所がある駅では、光の点滅で隙間をお知らせする間隙注意灯やスレッドラインを設置しています。



間隙注意灯



スレッドライン

■ ホームベンチの配置変更

ホームでの転落事故は、過度の飲酒をされたお客様によるものが多くなっています。この点、西日本旅客鉄道株式会社安全研究所による分析では、酔ったお客様の行動特性として、ホームのベンチ等から線路に向かってまっすぐ歩き出し転落するケースが多いことが判明しています。対策として、ベンチを列車の進行方向に対して垂直に設置することが提案されており、この先進的な取り組みを当社でも取り入れ、一部の駅においてベンチの配置を変更することで、事故の未然防止に取り組んでいます。



従来設置



新たな設置

■ 列車非常停止ボタン

お客様がホームから転落された場合などに、このボタンを押すことで、接近する列車の乗務員や駅係員などに非常を知らせるとともに、付近の列車をATCにより自動的に停止させます。全駅のホームに設置しています。



■ 転落検知装置

曲線ホームなど、車両とホームとの隙間が広く空いてしまう箇所がある駅に設置しています。万一、お客様がホームから転落された場合、この装置が転落を検知し、列車の乗務員や駅係員に知らせるとともに、付近の列車をATCにより自動的に停止させます。



■ ホーム下退避スペース・ステップ

お客様がホームから転落された場合の緊急避難場所として、ホーム下に退避スペースを整備しています。また、退避スペースのない箇所には、ホームに上がりやすくなるためのステップを設置しています。



ホーム下退避スペース



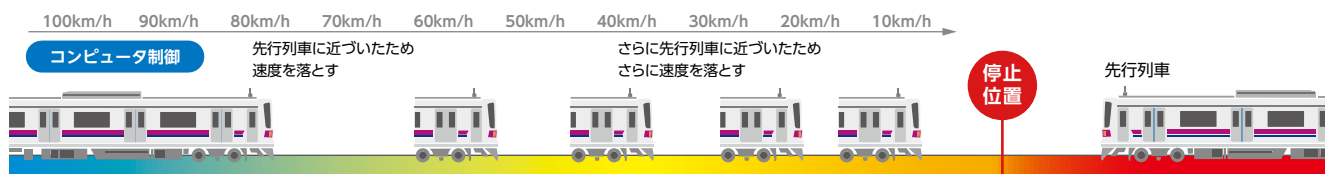
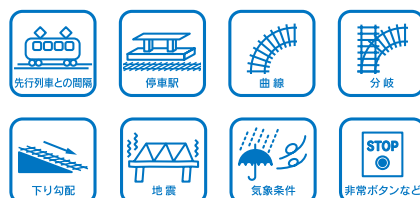
ホーム下ステップ

## ATC (自動列車制御装置)

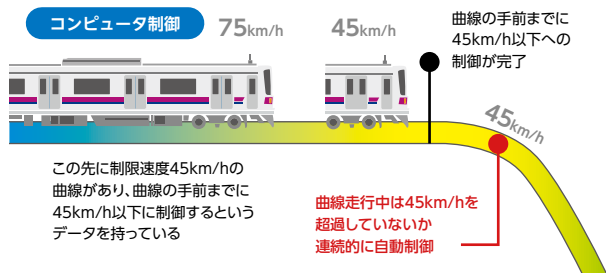
従来のATS(自動列車停止装置)に比べてさらに安全性の高いATC(自動列車制御装置)を、2010年3月に相模原線で使用開始したのち、2011年10月からは京王線全線、2013年3月には井の頭線で使用開始し、現在、当社全線で使用しています。

車両に搭載しているコンピュータが、レールに流れている信号電流を受け取ることにより、先行列車との間隔を連続的に把握し、常に適切な速度で走行できるよう、列車を制御します。

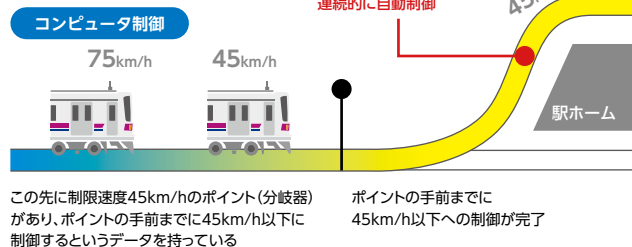
### ● ATCで列車を制御できる主なケース



### ■ 曲線通過の際には



### ■ ポイント(分岐器)通過の際には



## 鉄道総合指令センター

鉄道総合指令センターには、列車の運行などを管理する運輸指令所と、電力の供給を管理する電力指令所の機能が集約され、平常時だけでなく、事故や災害発生時の対応を迅速に行えるよう、連携を強化する体制を整えています。

### ■ 運輸指令所

列車の運行を円滑に行うため、TTC(列車運行管理システム)により、列車の進路設定、出発指示合図などを自動制御しています。事故発生時などには、列車の位置や遅れなどを総合的に判断し、運行ダイヤの整理・復旧を図るとともに、駅の「お客さま案内ディスプレイ」や「車内案内表示器」などにより、お客様に最新情報をご案内しています。



### ■ 電力指令所

列車運転用電力と駅設備や信号保安設備などに用いる付帯用電力を供給する20カ所の変電所の運転状況や送電状況を、集中監視制御システムにより24時間体制で監視しています。

事故や停電が発生した場合は、直ちに予備の設備に切り替え、列車運転への影響を最小限にするなど、電力の安定供給に努めています。





## 車両の安全装置

### ■ 防護無線装置

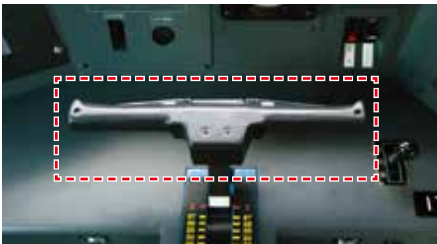
列車の脱線や踏切内での立往生などにより、ほかの列車の運行に支障を来す恐れがある場合、乗務員室にあるボタンを乗務員が押し、無線による信号を発報する装置です。この信号を受報した列車の運転士は直ちに列車を停止させ、事故を未然に防ぎます。



防護無線装置

### ■ 車両の緊急停止装置

運転士の体調が急変した場合などに備えて、ハンドルから手が離れると自動的に非常ブレーキが作動する運転士異常時列車停止装置や、車掌が強制的に非常ブレーキをかける装置を車両に搭載しています。



運転士異常時列車停止装置

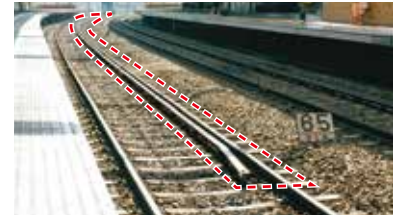


車掌非常スイッチ

## 脱線防止対策

### ■ 脱線防止ガード

半径300m以下の曲線に設置しています。また、ポイント(分岐器)や、踏切道にも設置しています。



### ■ 輪重測定装置

脱線事故を未然に防ぐため、車両の輪重比(左右の車輪にかかる荷重のばらつき)が10%以内となるよう、輪重測定装置を導入し、「重要部検査」「全般検査」や車輪の交換の際に測定・調整しています。



### ■ 脱線係数の測定

曲線を走行中に、車輪がレールを下方方向に押す力と横方向に押す力を測定することで脱線の危険性(脱線係数)を常時監視することが可能な「PQモニタリング台車」を京王線の営業線車両に導入しています。

### ■ レールの研削

レールの傷などをなくし、安定した列車の走行と騒音を軽減するため、レールを研削しています。



車両電気部富士見ヶ丘検車区 技術掛兼限定運転士  
玉井 美鈴

私は3カ月ごとの車両定期検査である月検査を行っています。車輪やパンタグラフ、運転台機器など各部に異常はないか、また摩耗している部品があれば交換を行い日々安全な車両の提供に努めています。

車両の安全はひとつひとつの機器が正常に動作することによって保たれます。これからも一人でも多くのお客様に安心してご乗車いただけるよう適切で丁寧な車両整備に尽力してまいります。

# 日々の保守管理

## 総合高速検測車

実際の列車と同じ速度で走行しながら、架線と軌道の状況を同時に検測することができる総合高速検測車を京王線に導入しています。検測で得られたデータを保守計画に反映し、安全性・乗り心地の向上を図ります。



総合高速検測車

## 軌道

京王線では日中に総合高速検測車を用い、軌道の高低、平面性、列車動揺などの測定を行っています。また、終電後にはマルチプルタイタンパーと呼ばれる作業車により道床のつき固めを行っています。井の頭線とあわせた全線で、目視や測定機器を用いた点検を行っているほか、終電後には、各種設備の交換やレールの高さの調整、レールの歪みの修正などを行っています。



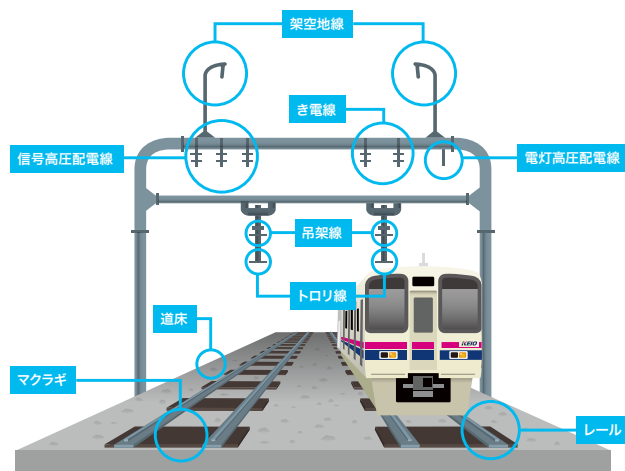
軌道工事



マルチプルタイタンパーによる道床のつき固め

## 架線(吊架線、トロリ線)

京王線では日中に総合高速検測車を用い、列車に電気を供給する架線の摩耗、偏位、高さなどの測定を行っています。井の頭線とあわせた全線で、目視により外観に異常がないか点検をしているほか、終電後には、測定器などを用いた点検や架線の高さの調整、各種設備の交換などを行っています。



## 構造物

高架橋・トンネル・橋梁・擁壁などの構造物に対しては、定期的目視検査や打音検査を実施するとともに、検査の結果に応じて必要により補修工事を実施しています。



トンネル天井部の点検



橋梁点検



高架橋の点検作業の様子



剥離対策を施した高架橋

## 車両

列車を安全に運行するために定期検査を行っています。日常的な検査は検車区(京王線は若葉台・高幡不動、井の頭線は富士見ヶ丘)で実施し、大規模な検査と修理は若葉台工場で行います。

### ■ 検車区

6日を超えない期間に行う「列車検査」、3カ月を超えない期間に行う「月検査」という定期的な検査と、臨時の検査や小規模な修理を行うほか、車両洗浄装置を使用して、外装の汚れを落としています。また、若葉台検車区では床下型車輪旋盤装置により車輪の削正を実施し、静かで乗り心地の良い車両を維持しています。



検車区での検査状況

### ■ 若葉台工場

4年または走行距離が60万kmを超えない期間に行う「重要部検査」と8年を超えない期間に行う「全般検査」のほか、車両の大規模なリニューアルを行っています。



若葉台工場



井の頭線1000系車両のリニューアル



工務部施設管理所土木担当  
技術員

辰巳 はるな

安全輸送を支えるため、高架橋・トンネル等の鉄道施設だけでなく、周辺の構造物についても異状がないか、広い視野で日々点検を行っています。計画的に補修を実施し、他担当とも連携を図りながら、施設管理所一丸となり保守管理に努めています。自分たちの手で沿線の構造物を守り、安全運行を支えているという意識を持ち、知識の習得・技術力の向上を図り、引き続きお客様に「安全」という最高のサービスをご提供できるよう努めてまいります。

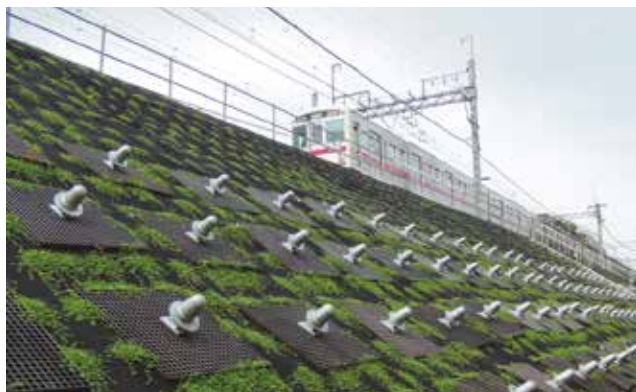
# 災害等への備え

## 構造物等の耐震補強

新たな耐震基準に見合う構造物とするため、橋梁、盛土区間や高架橋柱、ずい道(トンネル)を対象とした耐震補強を実施しています。また、架線柱をコンクリート柱から鋼管柱に更新しています。2015年度には、新宿ずい道の中柱耐震補強工事を完了させました。



高架橋柱の耐震補強



盛土区間の耐震補強



(更新前)  
コンクリート柱



(更新後)  
鋼管柱



(補強前)  
新宿ずい道中柱耐震補強



(補強後)

## 地下駅火災対策

2003年に韓国で発生した地下鉄火災を受けて改正された基準に則り、新宿駅における排煙設備および防火区画の設置工事や幡ヶ谷駅における新たな避難通路の設置工事などの地下駅火災対策を完了しています。



水の幕で防火区画を形成するウォータースクリーン(新宿駅)

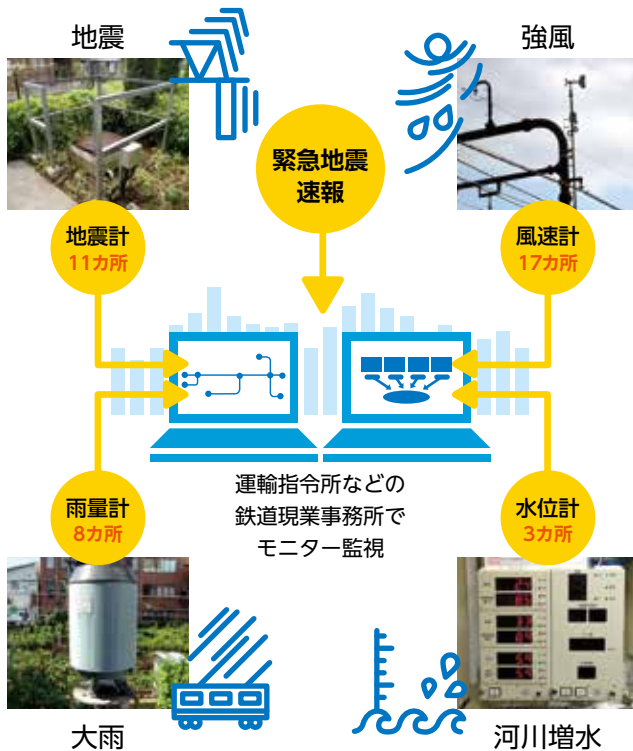
## 鉄道テロ対策

全駅のごみ箱を撤去しているほか、防犯カメラの設置や係員・警備員の巡回により、不審者・不審物などの発見に向けた監視を行っています。また、車両基地などへの不審者の侵入を防ぐために、防犯センサーの設置や警備員による巡回を実施しています。

2016年5月の伊勢志摩サミットに向けて、テロに対する警戒体制の強化を図りました。

## 気象情報システム

自然災害に早期に対応するため、沿線に地震計・風速計・雨量計・水位計を設置しています。それぞれの計器で観測されたデータは運輸指令所をはじめとする各鉄道現業事務所において、24時間体制で監視しています。



### ■ 地震

沿線11カ所に地震計を設置しています。地震計が一定以上の震度を感知すると、列車無線を通じて全列車に警報を送るとともに、ATCにより列車を停止させます。さらに、気象庁の「緊急地震速報」を活用し、震度4以上の地震発生が想定される場合、列車無線を通じて自動的に全列車に警報を送り、乗務員が列車を安全な場所に停止させます。

### ■ 強風

沿線17カ所に風速計を設置しています。瞬間風速が20m/s以上を観測した場合は速度規制を行い、25m/s以上を観測した場合は列車の運転を中止する措置を取ります。

### ■ 大雨

沿線に設置した雨量計を、近年の局地的な豪雨に備えて4カ所増設し8カ所にしてあります。また、多摩川など3カ所に水位計を設置しています。加えて、気象情報会社から提供される解析雨量のデータも活用しています。観測された時間雨量、累積雨量に応じて、速度規制、運転中止の基準を定めています。

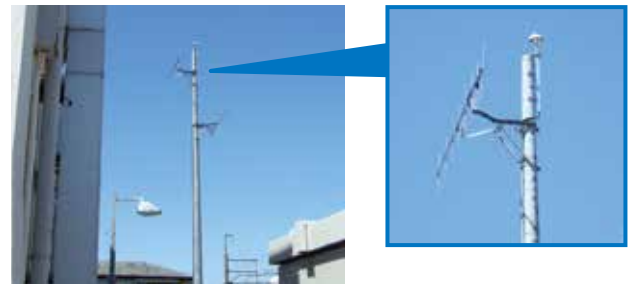
また、高尾線では、土砂崩壊対策として、法面の補強工事を継続的に進めています。



補強工事が完了した法面

## 落雷対策

電線より一段高いところに避雷針の役割を果たす「架空地線」と呼ばれる防護線の計画箇所への設置が完了したほか、信号機器や電気転つ機などの耐雷性強化を図っています。



## 雪への対策

### ■ パンタグラフの改良

車両のパンタグラフは、従来のひし形のものより着雪面の少ないシングルアーム・パンタグラフを採用しています。また、車両基地などの架線には着雪・着氷を防ぐため、ヒーターを内蔵した電線を使用しています。



### ■ 融雪器の導入

ポイント(分岐器)に電気融雪器を設置しており、2015年度には温水融雪器を新たに高尾駅に導入し、凍結防止に努めています。



### ■ 事業用車両への排雪板の装備

2015年秋に導入した事業用車両(牽引車両)に排雪板を装備し、除雪作業の強化に取り組んでいます。



TOPICS

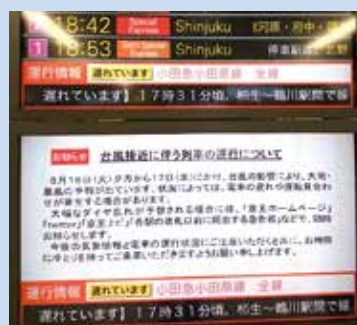
## 大雪による輸送障害と再発防止策

【発生日】2016年1月18日(月)

【発生場所】京王線全線

【発生事象】当日未明、車両の出庫検査が終了し、始発からの通常運転にむけて準備していたところ、明け方から降雪量が著しく増加、京王線の3つの車両基地で架線の断線が発生しました。このため車両の出庫ができなくなりました。また相模原線内で当社用地外から倒木が発生。これらの要因により朝のラッシュ時には通常の3割程度の列車運行となり、お客様が列車に乗車できない状況となったので、安全を確保するため多くの駅でホームへの入場規制を行うことになりました。

原因	対策
湿った雪の重みで 出庫待ち車両の パンタグラフが降 下。発生した火花 により架線が断線 し停電	パンタグラフの除雪体制を強化  万一、架線が断線した場合でも、少しでも多くの車両が出庫できるように車庫線内の電気系統を細分化
当社用地外から の樹木の倒木	沿線の状況を再調査し、倒木の危険性が高い樹木について地権者の協力を得て伐採
駅の状況や列車 の運行情報など、 お客様への情報 提供が不足	大雪や台風などにより、輸送力の低下が見込まれる場合は、ホームページやツイッター、駅急告板等により、早めに運行に関する情報を提供 また、「長時間お待ちいただく」、「乗りきれない場合がある」など具体的な表現でお知らせするように変更
	沿線の学校に始業時間繰り下げを依頼

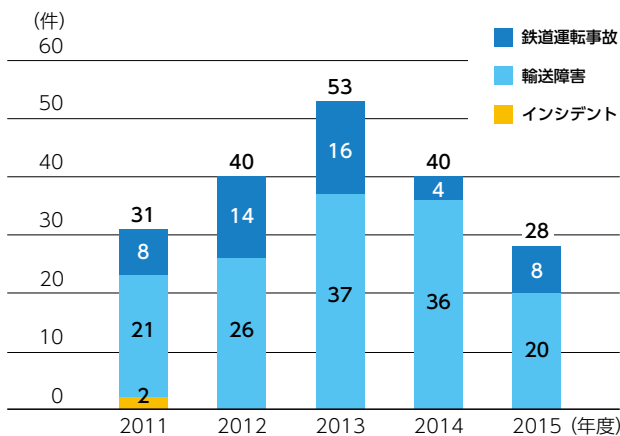


2016年8月  
台風時のご案内

# 2015年度輸送安全実績

## 鉄道運転事故などの発生件数の推移 (2011年度～2015年度)

2015年度は、鉄道運転事故が8件(対前年度4件増)、輸送障害が20件(対前年度16件減)発生しました。インシデントは前年度に引き続き発生しておりません。



### ■ 鉄道運転事故とは

「列車衝突事故」「列車脱線事故」「列車火災事故」「踏切障害事故」「鉄道人身障害事故」「鉄道物損事故」をいいます。

### ■ 輸送障害とは

鉄道による輸送に障害を生じた事態で、鉄道運転事故以外の運休、また列車に30分以上の遅延が生じたものをいいます。

### ■ インシデントとは

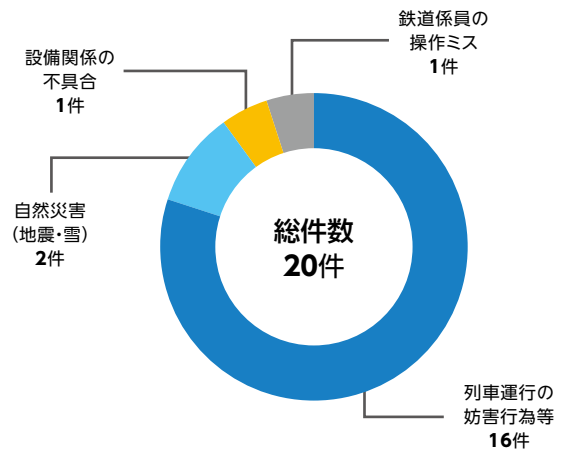
事故には至らなかったが、鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態をいいます。

## 鉄道運転事故

2015年度の8件のうち7件は鉄道人身傷害事故で、その内訳は、飲酒されたお客様が列車に接触したものが4件、お客様が線路内に立ち込んだものが2件、ホーム上で駅係員がお客様に押されて電車に接触したものが1件です。

## 輸送障害

### ■ 2015年度輸送障害の内訳



### ■ 列車運行の妨害行為等への対策

列車運行を妨害する行為については防犯カメラや赤外線センサの設置のほか、最寄の警察署とも連携して巡回を強化し、発生防止に努めています。

また、自殺行為については、駅係員、ガードマンが駅構内を巡回し、お客様にお声がけをする活動を行っています。そのほか、年に数回「人身事故防止強化月間」を設定し、巡回の強化に努めています。さらに、政府の「自殺対策強化月間」などにあわせてポスターを掲出するなどの対策を行っています。

※列車運行の妨害行為とは故意による線路内への立ち入り、置石および物の放置などを指します。



内閣府自殺対策強化月間ポスター

# 2016年度安全目標・安全重点施策

## 2016年度 安全目標

社員一丸となり安全重点施策に取り組むことで達成していくことを目指します。

有責事故ゼロ と 輸送障害発生件数の前年比削減

## 2016年度 安全重点施策

ソフト面	ハード面
<p>1. 事故・トラブル・輸送障害の未然防止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ホーム・踏切でのトラブル発生の原因分析と対策の検討</li> <li>(2) 事故の芽・ヒヤリハットの調査分析と再発防止策の実施</li> <li>(3) 他社における先進事例の研究と当社への導入の検討</li> </ul> <p>2. 危機管理のさらなる充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 自然災害による輸送障害の発生防止とお客様への情報提供の強化</li> </ul> <p>3. 安全情報の共有化推進による安全意識の高揚</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 鉄道教習所にある事故展示室のリニューアル</li> <li>(2) 社員向け「安全ポータルサイト」の構築</li> </ul> <p>4. 人材育成・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 委託業務の見直しによる技術伝承の強化</li> <li>(2) 管理職層への研修の充実</li> </ul>	<p>5. 中長期施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 京王線(笹塚駅～仙川駅間)の連続立体交差事業の推進</li> <li>(2) 下北沢駅改良工事の推進</li> </ul> <p>6. 減災対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 高架橋や盛土区間、ずい道などの耐震補強の実施</li> <li>(2) 駅の天井やエスカレーター等の落下防止対策の推進</li> <li>(3) 大雨対策、雷害対策の推進</li> </ul> <p>7. 安全対策・老朽化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 新線新宿駅や渋谷駅へのホームドア設置に向けた準備</li> <li>(2) 防風壁の設置など強風時の安全対策の強化</li> <li>(3) 高架橋老朽化対策の実施</li> <li>(4) 京王線8000系車両、井の頭線1000系車両のリニューアル</li> </ul>

## 2016年度 安全スローガン

守る決意と続ける努力 みんなで作る 無事故の鉄道

工務部施設管理所 建築担当主任技術員

長山 哲也





# お客様との連携

## 鉄道運行情報の提供

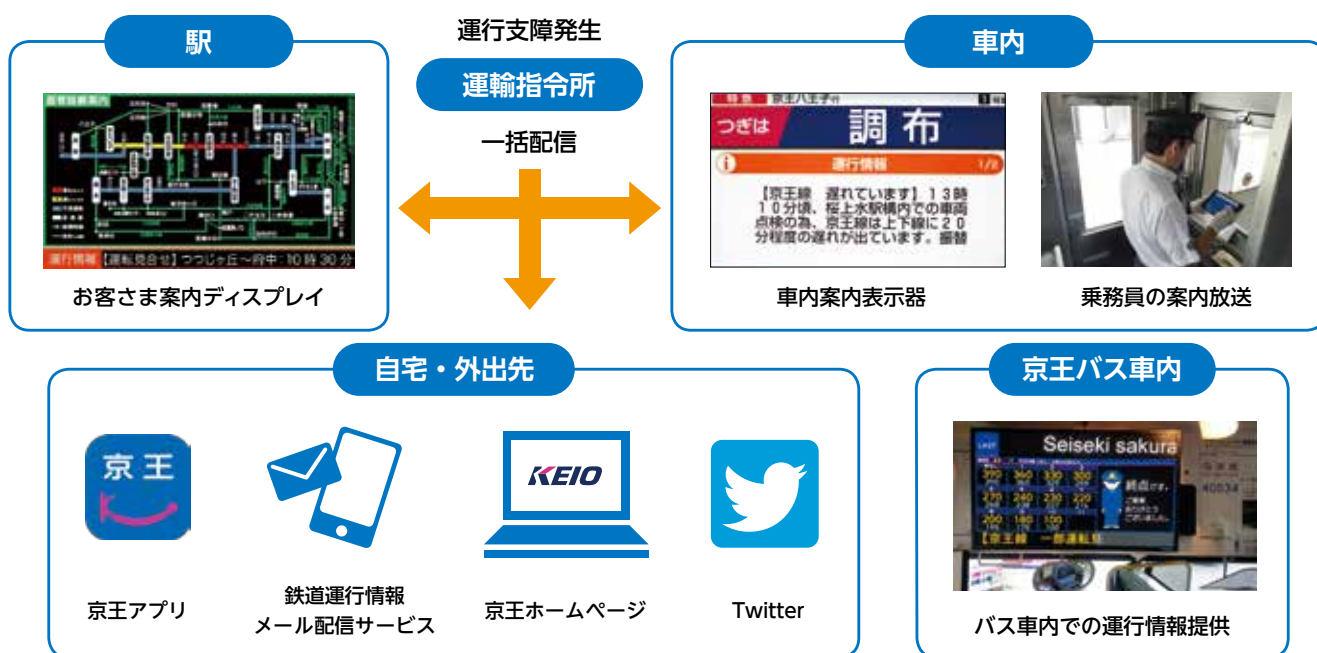
ダイヤ乱れなど、列車の運行に支障が生じた場合、文字情報・音声・路線図のいずれか、または組み合わせにより、お客様に分かりやすく鉄道運行情報をお届けしています。

文字情報については、ホームに設置の「行先案内板」、車内に設置の「案内表示器」のほか、ご登録いただいたお客様の携帯電話などへの「鉄道運行情報メール配信サービス」、「京王アプリ」、Twitterでの情報提供を行っています。

路線図については、文字情報とともに、改札付近に設置の大型液晶モニター「お客さま案内ディスプレイ」および京王ホームページにて提供しています。また、ディスプレイなどに表示される文字情報は、音声に変換され全駅で放送しています。

異常時などは、車掌が運輸指令所からの連絡やタブレット端末を活用して、お客様に必要な情報をよりスムーズにご案内できるよう努めています。

なお、多摩エリアの京王バス車内でも鉄道の運行情報の提供を2015年3月より順次開始しています。



## 安全啓発活動

### ■ お客様への呼びかけ

ホーム上や踏切での事故を防止するため、当社では様々な方法により、お客様に安全なご利用を呼びかけています。



駅構内でのデモ機による操作体験の様子

### ■ 施設や学校への訪問

全国交通安全運動期間中に、高齢者施設や学校などへの訪問により、安全な鉄道利用を呼びかけています。



高齢者施設での安全教室

# グループ会社の安全対策

## 運輸安全マネジメントに基づく安全対策

京王沿線を主な事業エリアとする京王電鉄バスグループ、多摩西部を中心に事業を展開する西東京バス、タクシー・ハイヤー事業を行う京王自動車グループ、引越しなどの総合物流業務を行う京王運輸、御岳山でケーブルカーなどを営業する御岳登山鉄道の京王グループ運輸業各社では「運輸安全マネジメント」に取り組み、安全管理規程の制定、事故件数削減目標の設定、安全意識の

向上などを行うとともに、安全関連情報をホームページで公表しています。

また、社長以下役員が営業所を巡回し、安全管理体制の確認や、営業所員・乗務員と安全に関する意見交換を行うなど、積極的なコミュニケーションを通じて、輸送の安全確保を図っています。

## バス

### ■ 安全装置の導入

京王電鉄バスグループ・西東京バスでは、安全運転技術の維持・向上を目的として、全車両にドライブレコーダー<sup>※1</sup>を導入しています。そのほか、左折時や進路変更時の事故防止を目的として左折チャイムを導入し、路線バスに車内確認用の補助ミラーを設置しています。また、京王電鉄バスグループでは関東の各民営バス会社に先駆けて「運転訓練車」を導入しています。「運転訓練車」には、アイマークレコーダー<sup>※2</sup>や安全確認装置<sup>※3</sup>などにより、運転の様子を映像と音声で記録するとともに、運転状況をチェックできる車内モニターが備えられています。

高速バス事業では、2013年から、衝突被害軽減ブレーキを搭載した高速バス車両を導入しています。衝突被害軽減ブレーキは、走行中に高精度ミリ波レーダーで前車との車間距離を監視し、車間距離が近づき、衝突の恐れがある場合に警報音で注意を促すとともに、衝突の可能性が高いと判断した場合にはブレーキを作動させ、万一の衝突事故の被害を低減します。

そのほかにも事故防止対策機器を積極的に導入し、京王電鉄バスグループ・西東京バスでは、車間距離警報装置を99両、またバスジャック対策として、走行中に運転を妨害されないようにするための囲い(ドライバーズガード)を71両に導入しています。

今後も、技術動向を見極め、事故防止対策機器の導入を積極的に実施していきます。

※1 ドライブレコーダー:車内外に設置されたカメラとマイク(集音装置)により映像・音声情報を記録・再生する装置です。

※2 アイマークレコーダー:乗務員が装着したカメラで目の動きを映像化して記録する装置です。

※3 安全確認装置:乗務員が安全確認を必要とする箇所を点灯などで示す装置です。



ドライブレコーダー



運転訓練車



衝突被害軽減ブレーキ搭載車両

## ■ 乗務員教育の実施

京王電鉄バスグループでは、運転技術訓練に加え、安全運転中央研修所で行われる「バス運転実技」4日コースまたは2日コースに乗務員が参加し、通常では体験できない運転上の危険などを体験することで、安全運転に対する意識の向上を図っています。

西東京バスでは、毎年、全営業担当員（運転者）を対象とした「営業担当員定期研修」を開催しています。この研修は、社長懇談会、事故防止・接客向上の座学研修、運転実技訓練の3部から構成され、社長懇談会では、社長が会社方針の説明を行うほか質疑応答を通じ、直接対話することで、現場の声を安全対策につなげています。



運転訓練車内のモニターで運転操作をチェック



運転実技訓練の様子



高齢者疑似体験訓練

## タクシー

京王自動車グループでは、乗務員同士の「小集団活動」の中で、自社で定めた「運転の基本動作」を画像化し視聴させています。また、その徹底に向けて、実技を取り入れた教育を実施し、運転技術を向上させる取り組みを実施しています。



基本動作「ドア開閉」の実技教育

## トラック

京王運輸では、2008年に公益社団法人全日本トラック協会が認定する「安全性優良事業所」の取得率100%（全5事業所）を達成しました（業界全体の取得率は26.7%）。



安全性優良事業所に交付される「Gマーク」が貼付されたトラック

## メッセージ



常務取締役  
(経営統括本部長)

丸山 荘

### 沿線にお住まいの方の 幸せな暮らしの実現に取り組んでいます

京王グループは、生活関連サービス事業を通じて、つながりあうすべての人に誠実であり、信頼のトップブランドになることを目指しており、特に沿線にお住まいの方にとって、使いやすく分かりやすい快適なサービスの提供や、街づくり・コミュニティ支援を行っています。

具体的には、駅設備、車両設備や案内・コミュニケーション手段の充実に加えて、ライフステージごとのニーズに応じた生活サポートサービスとして、子育て支援分野において、2015年度にキッズスペースを併設した女性向け就業支援施設「京王ママスクエア」を開業したほか、保育所を併設した子育て支援賃貸マンション「京王アンフィールド国領」も開設しました。また、京王グループ事業所内保育所「サクラさーくる」では、多摩市の認可基準に基づき地域のお子様の受け入れを開始します。さらに、地域高齢者を支える分野では、介護付有料老人ホームを拡充させるほか、サービス付き高齢者向け住宅も開設します。

また、文化・教育支援として、「京王音楽祭」「京王アカデミープログラム」を開催しているほか、「京王駅伝フェスティバル」をはじめとするスポーツ振興支援も積極的に行っています。

一方、当グループで働く社員についても、働き方改革として、ワーク・ライフ・バランスによる健康的で働きやすい職場づくりなどを推進しているほか、多様な人材の活躍の場を提供すべく、障がい者・高齢者だけでなく、特に女性の活躍に向けた積極的な取り組みを開始しています。

今後も、お客様をはじめとしたステークホルダーの皆様の声に耳を傾け、沿線とともに成長し、地域社会への貢献に努力し続けていきます。

### 京王グループとステークホルダーのつながり



京王グループ行動規範に基づき、ステークホルダーの皆様に対して以下のような取り組みを進めます。

- お客様の利便性、快適性向上
- 地域社会・行政との連携
- お客様との対話
- 多世代が生活しやすい沿線づくり
- 地域社会への貢献
- 株主・投資家の皆様との対話
- 人材の活用と働きやすい職場づくり



TOPICS

## インバウンド施策の推進

京王グループでは、増加する訪日外国人に向けたサービスの拡充に取り組んでいます。

### ■ 中部地方インフォメーションプラザ in 京王新宿

2016年7月、多くの訪日外国人が来訪する新宿駅において、中部地方の自治体等が集結した観光案内所を開業しました。

この案内所では岐阜県・長野県・山梨県の自治体等の観光情報が入手できるほか、新宿から中部・北陸地方へ高速バスでお得に、快適に旅行できる乗車券の発売も行っています。

近隣区画に、免税にも対応したお店や、外貨両替所も併設しています。



### ■ 手ぶら観光のサービス拠点「京王ねこのてカウンター」

2016年4月に京王新線新宿駅 京王新線口改札横に「京王ねこのてカウンター」を開設しました。手荷物一時預かり、西新宿エリアの特定ホテルや羽田空港への当日配送、宅急便の発送と引き取りサービスを行います。窓口での外国語対応やサービス内容が条件を満たし、「手ぶら観光」のサービス拠点として国土交通省から認定を受けました。



### ■ 外国語表記の利用案内を掲出したコインロッカー

京王沿線の主要駅コインロッカーに、4カ国語表記(日・英・中・韓)の利用案内を掲出し、外国人のお客様の利用促進に努めています。



### ■ 京王百貨店「フォーリンカスタマーカウンター」

2014年10月に、京王百貨店新宿店2階に免税カウンターを拡大開設しました。2016年8月現在では、新宿区内9ホテルへの無料デリバリーや空港デリバリー(有料)など、サービス面も拡大しています。



# 「住んでももらえる、 選んでももらえる沿線づくり」

## お客様の利便性・快適性の向上 (P.38～)

- ① 駅・電車におけるバリアフリー
- ② バスにおけるバリアフリー
- ③ ホテルにおけるバリアフリー
- ④ はぴママ・はぴチルタクシー



## 地域社会・行政との連携 (P.43)

- ⑤ PFI事業の取り組み



京王グループでは、幅広い世代の方々が生活しやすくなるよう、様々なニーズに対応したサービスを提供しています。これからも「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」を目指し、京王沿線での暮らしが、より安心して、心地よい生活と感じていただけるよう、ライフスタイルに応じたサービスをお届けしてまいります。

# KEIO SOCIAL MAP

## 多世代が生活しやすい沿線づくり (P.46～)

6 東京都認証保育所・認可保育所  
京王キッズプラッツ



7 家事のお手伝い  
お買いものサポート

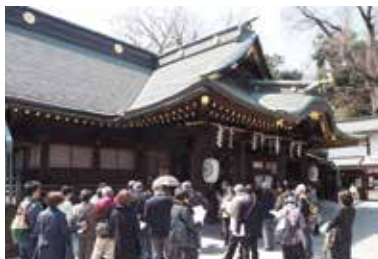


8 介護付有料老人ホーム



## 地域社会への貢献 (P.48～)

9 文化・教育・子育て支援イベント  
京王アカデミープログラム

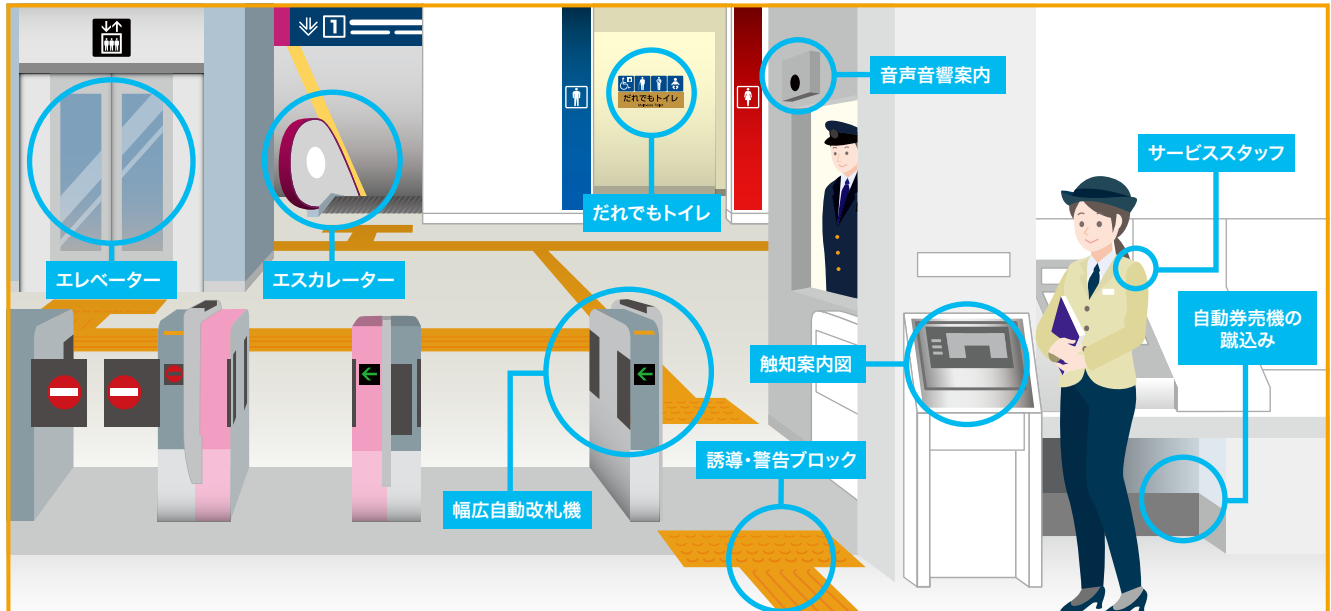


10 チャリティ・スポーツ振興・  
産学連携(京王駅伝フェスティバルなど)



# お客様の利便性・快適性の向上

## 駅設備の充実



### ■ エレベーター・エスカレーター・スロープ

全駅の出入口から各ホームまで、階段などの段差がなく移動できるよう、エレベーターやスロープを設置しているほか、エスカレーターを設置しています。エレベーターは66駅に、エスカレーターは46駅に設置しています。

### ■ お客様用トイレの環境改善

より快適で清潔感のあるトイレを目指して、改修を行っています。身体の不自由なお客様や小さなお子様連れのお客様にも安心してご利用いただけるよう、「だれでもトイレ」を67駅に設置しています。



改修したお客様用トイレ



だれでもトイレ

### ■ 幅広自動改札機

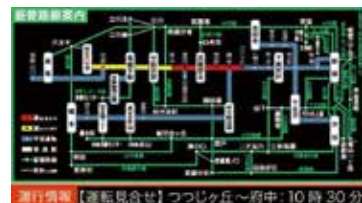
大きな荷物をお持ちのお客様や車いすをご利用のお客様などにご利用いただけるよう、通路幅を広くした自動改札機を68駅に設置しています。

### ■ お客さま案内ディスプレイ

通常時は電車の発車案内などを表示するほか、事故や災害などで列車の運行に支障が発生したときには、支障区間や振替輸送経路などを、視覚的に分かりやすく表示する「お客さま案内ディスプレイ」を全駅の改札口付近に設置しています。



通常時



異常時

### ■ 行先案内板

列車の発車時刻や種別・行先・停車駅などを文字でお知らせする行先案内板を全駅に設置しています。





■ 駅ナンバリング

沿線外からお越しのお客様にも当社線を分かりやすくご利用いただけるよう、アルファベットと色で路線を示し、番号で駅名を表示した駅ナンバリングをホーム駅名看板や路線図に導入しています。



ホーム駅名看板



ナンバリング表示  
(井の頭線・渋谷駅)

■ 外国語による情報提供

外国人のお客様へのご案内の拡充を図るため、駅構内の案内看板や行先案内板、お客さま案内ディスプレイなどで2カ国語表記(日・英)または4カ国語表記(日・英・中・韓)によるご案内を行っています。



出口案内サイン



番線案内サイン



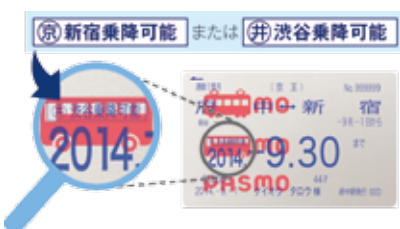
行先案内板



お客さま案内ディスプレイ

■ PASMO通勤定期券「どっちーも」

2014年9月から、明大前駅以西の各駅から新宿駅または渋谷駅までの通常の定期運賃に1,000円(1カ月定期の場合)をプラスした金額で、新宿駅と渋谷駅のどちらでも乗り降りできる通勤定期券を発売しています。



※PASMOは株式会社パスモの登録商標です。

■ サービススタッフ

電車のご利用に不慣れなお客様や海外からお越しのお客様にも安心してご利用いただけるよう、運賃や所要時間、乗り場や駅周辺の施設などの案内を専門に行う「サービススタッフ」を新宿駅、新線新宿駅、渋谷駅に配置しています。

■ 駅係員呼出インターホン

ホーム上で緊急事態が発生した場合やご案内が必要な場合などに、駅係員と通話ができるインターホンを全駅に設置しています。



■ ホーム待合室

電車が到着するまでの間、快適にお待ちいただけるよう、冷暖房付きの待合室を地下駅などを除く各駅に設置しています。

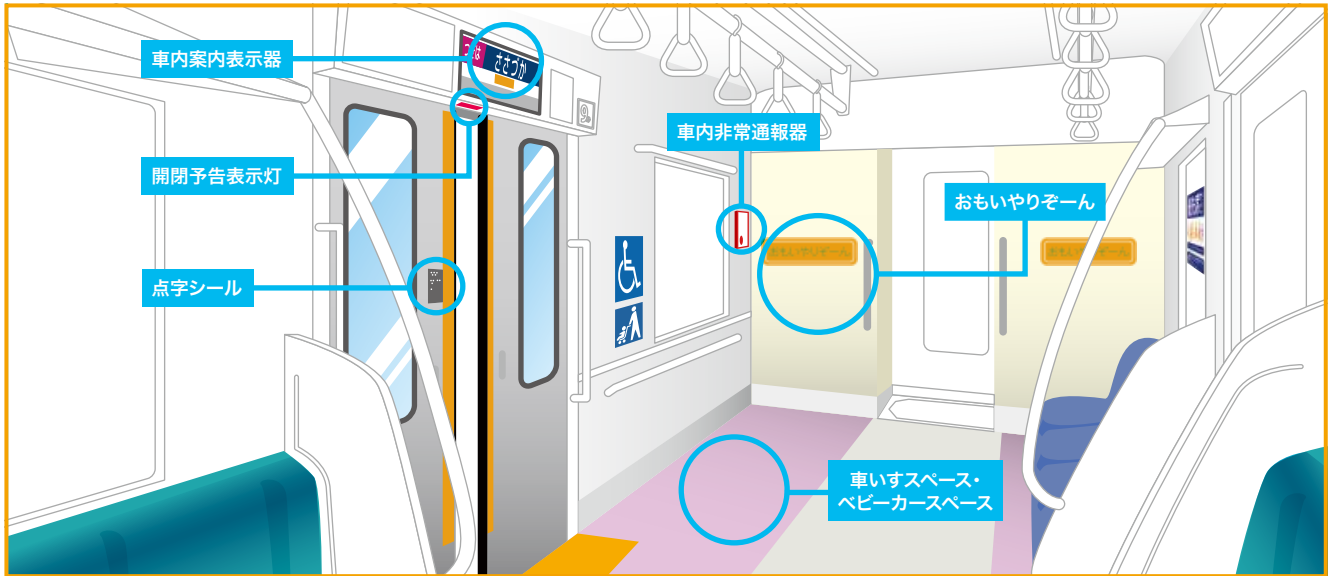


■ 触知案内図・点字による案内

凹凸・点字・ピクトグラム(案内用図記号)を用いた構内案内図を全駅に設置しています。また、自動券売機には点字および音声案内機能を備えているほか、点字運賃表を全駅に、点字手すりが必要な駅すべてに設置しています。



## 車内設備の充実



### ■ おもいやりゾーン

車内の優先席を明確にするため、優先席付近のつり革や座席の色を変えた「おもいやりゾーン」を設置しています。「おもいやりゾーン」付近では、混雑時には携帯電話の電源をお切りいただくようご案内するなど、人に優しい車内環境の整備に努めています。



優先席案内ステッカー

### ■ ユニバーサルデザイン

新造車両の導入や既存車両のリニューアルでは、ユニバーサルデザインの考え方を採り入れ、つり革や荷棚の高さを低くし、手すりやつり革は握りやすい形状にしています。さらに座席端部に仕切り板を設置するなど、車内環境の整備を進めています。



ユニバーサルデザインによる車内の一例

### ■ 車内案内表示器・ドアチャイム

停車駅などを文字でお知らせする車内案内表示器(LEDまたは液晶画面)と、ドアの開閉を音でお知らせするドアチャイムを全車両に設置しています。



LED式の車内案内表示器



液晶画面を用いた車内案内表示器

### ■ 車内非常通報器

電車内で緊急事態が発生した際に、ボタンを押すことで乗務員に通報できる車内非常通報器を全車両に設置しています。



■ 外国語による情報提供

外国人のお客様へのご案内拡充を図るため、車内・車外の案内表示器において2カ国語(日・英)または4カ国語(日・英・中・韓)によるご案内を行っています。また、一部の車両には自動放送装置を導入し、2カ国語(日・英)による停車駅や乗り換えなどのご案内を実施しています。



車外案内表示器(LED)



車内案内表示器(液晶画面)

■ 車両ドアの明度差

車両ドアの位置を視覚的に認識しやすいように、ドア先端と足元に明度差をつけています。



■ ニュース・オリジナル情報番組の放映

井の頭線の一部車両において、液晶画面を用いた車内案内表示器を2画面化し、ニュースやオリジナル情報番組を放映することで、車内空間の快適性の向上を目指しています。



■ 車いすスペース・ベビーカースペース

車いすスペース・ベビーカースペースを全編成に設置しています。



■ 女性専用車両

2001年から平日23時以降に新宿駅を出発する急行系列車の最後部1両を女性専用車として運転を開始し、2005年から平日朝間・夕間の通勤時間帯にも拡大しました。

なお、女性専用車には女性のお客様のほか、小学生以下のお客様、身体の不自由なお客様とその介助者もご乗車いただけます。



女性専用車案内ステッカー

■ 点字シール

目の不自由なお客様が、ご乗車になっている車両の号車・ドア位置が分かるよう、車両のドアに点字シールを貼付しています。



■ 駅・電車内での公衆無線LANサービス

ホームやコンコースで、各通信事業者の公衆無線LANサービス(Wi-Fi)がご利用いただけます。電車内でもご利用いただけるよう順次整備を進めており、井の頭線では全車両に整備が完了しました。また、訪日外国人のお客様向けの無料公衆無線LANサービス「KEIO FREE Wi-Fi」が京王線・井の頭線の9駅でご利用いただけます。

■ トンネル内における通信環境の提供

新宿駅～笹塚駅間、調布駅付近などのトンネル内においても携帯電話サービスがご利用いただけます。

## 京王グループ

### ■ バス

京王電鉄バスグループおよび西東京バスは、2012年から路線バス(高速・貸切を除く)の全車両がどなたにも乗り降りしやすいバリアフリー対応となっています。

車体が傾斜し床面が下がり乗降しやすくなるニーリング機能のあるノンステップバス972両をはじめ、リフト付きバス17両、スロープ付きワンステップバス12両を導入しています。

### ■ バス車内での公衆無線LANサービス(Wi-Fi)

京王電鉄バスグループでは、路線バスの全車両で、公衆無線LANサービスをご利用いただけます。

また、西東京バスでも山間部を除く路線バス全車両で、公衆無線LANサービスをご利用いただけます。

※公衆無線LANサービスの提供会社はエリアによって異なります。

### ■ 京王プラザホテル

バリアフリーやエコロジーの取り組みを多くの方に知っていただき、それを社会貢献につなげることを目的に、2004年からチャリティイベント「ボランティア・プラザ」を開催しています。

2015年4月の第12回「ボランティア・プラザ」では、チャリティバザーや補助犬デモンストレーションに加え、バリアフリー・ウェディングの模擬挙式見学を含むバリアフリー施設見学ツアーを行いました。「ボランティア・プラザ」の収益金は日本赤十字社などへ寄付しました。



バリアフリー・ウェディング(イメージ)

### ■ サポートタクシーサービスの充実

「はぴママサポートタクシー」は、東京防災救急協会のマタニティーサポート講習を受講した乗務員による、妊娠中のお出かけ、病院への送迎、乳児健診の外出時などにご利用いただける送迎サービスです。「はぴチルサポートタクシー」は、小学生の学習塾や習い事、学童保育への送迎時にご利用いただけます。

#### はぴママ サポートタクシーの対応について

妊娠中のお客様をご自宅から病院までお送りさせていただきます。

お迎えにあがる場合は、車内の臭いなど、改めて確認して伺っています。病院までは、速度や急ブレーキ、急ハンドルに注意し「ゆっくりめに走りますので、何かあったらお申しつけください」と事前にお声がけをしてから走行しています。

自分自身も小さな子供がいますので、出産・子育てをするご夫妻は身近に感じていますし、お客様も同世代の自分がお送りすることに安心していただけることもあります。

今後も、新しい「命」とご両親の架け橋となれるように、安全・安心・快適をモットーに乗務してまいります。

京王自動車城西株式会社  
杉並営業所 乗務員

宇田川 龍



初めての出産で一番心配だったのは、陣痛時の病院への移手段でした。悩んでいた時にはぴママサポートタクシーを見つけ、すぐに登録させていただき、安心して妊婦生活を送ることができました。

いざ陣痛が来た時は家で一人でした。一人でタクシーを頼み病院に向かう時も不安なく安心して任せることができたのは、はぴママタクシー

だったからです。その時の乗務員さんは、ご自分の奥様のご出産のときの話などをして気を紛らわせてくださり、つらい陣痛をなんとか乗り越えることができました。

ぜひ2人目の時も頼みたいと思います。これからも多くの妊婦さん、赤ちゃんを支えてください。応援しています。



お客様の声

# 地域社会・行政との連携

## ■ コミュニティバス

東京都内では、地方自治体を中心となって、コミュニティバス路線を開設しています。京王電鉄バスグループと西東京バスは、利便性の高い街づくりに貢献するため、以下のバス路線を受託・運行しています。



## ■ コミュニティバスの運行受託状況

名称	行政	運行	開始年月	名称	行政	運行	開始年月
① 日野市ミニバス	日野市	京王電鉄バス	1986年 8月	⑧ はちバス	八王子市	西東京バス	2003年 3月
② 多摩市ミニバス	多摩市	京王バス南	1997年11月	⑨ ちゅうバス	府中市	京王バス中央	2003年12月
③ 調布市ミニバス	調布市	京王バス東	2000年 3月	⑩ ハチ公バス	渋谷区	京王バス東	2004年 9月
④ るのバス	あきる野市	西東京バス	2000年10月	⑪ はむらん	羽村市	西東京バス	2005年 5月
⑤ すぎ丸	杉並区	京王バス東	2000年11月	⑫ 新宿WEバス	新宿区	京王バス東	2009年 9月
⑥ CoCoバス	小金井市	京王バス中央	2003年 3月	⑬ みたかシティバス	三鷹市	京王バス東	2012年 3月
⑦ ぶんバス	国分寺市	京王バス中央	2003年 3月				

## ■ PFI事業

PFIとは公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金やノウハウを活用することにより、公共サービスの提供を行う事業手法です。

東京都のPFI事業として多摩地域ユース・プラザ整備等事業を

京王ユース・プラザが受託し、都立高校を改修、2005年に高尾の森わくわくビレッジを開館しました。その後2015年には、多摩地域ユース・プラザ運営等事業を受託し、引き続き施設の運営および維持管理業務を実施しています。



高尾の森わくわくビレッジ

物件名	開業年月	主な業務活動
高尾の森わくわくビレッジ	2005年 4月	運営全般・施設維持管理など
杉並公会堂	2006年 6月	施設維持管理・イベントなどの企画運営
ルミエール府中	2007年12月	施設維持管理・窓口運営
東京地方・家庭裁判所立川支部	2009年 3月	施設維持管理
稲城市立iプラザ	2009年10月	施設維持管理

# お客様との対話

## 積極的な広聴活動

### ■ 京王お客さまセンター

当社では「京王お客さまセンター」を設け、電話やメール、手紙などによりお客様からのご意見・ご要望をいただいています。

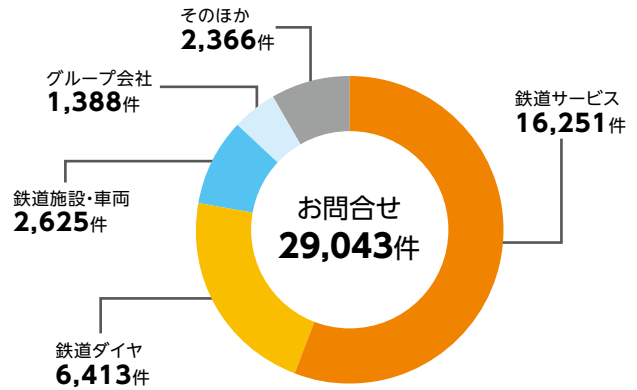
2015年度はご指摘、お褒めの言葉などあわせて29,043件の声を頂戴し、うち25,289件は鉄道に関するものでした。いただいた声に対しては、速やかに回答しているほか、担当部署においてサービス向上や従業員教育に活用しています。

電話 042-357-6161  
受付時間 9:00～19:00年中無休（年末年始を除く）

### ■ 車内温度に関するご意見・ご要望

京王お客さまセンターに寄せられるご意見・ご要望の中で多いものの一つに、列車内の温度に関するものがあります。ホームページからの専用投稿フォームをご用意し、ご乗車時の詳細な状況を伺うことで、適切な温度管理に活用しています。

### ■ お客様の声(2015年度)



### ■ お客様満足度調査

当社では、電車の運行・ダイヤや、係員・駅施設のサービスレベルなどについて、お客様満足度調査を定期的に行っています。京王お客さまセンターには寄せられない、潜在的なご意見を伺うことで、遅延時の運行情報の適切な提供、より便利なダイヤの設定やトイレの快適性向上など、問題点の把握と改善に努めています。

## 改善活動事例のご紹介

当社では京王ニュース内で、「お客様の声」のコーナーを設け、お客様の声を反映した事例などの紹介を行っています。

#### お客様の声

「夏休み明けは定期券売り場がすごく混雑していて、買うまでに時間がかかるので困っています」

#### 改善しました

定期券を使用開始日の14日前からお求めいただけるようになりました。

夏休み明けなどは定期券発売窓口の混雑が予想されますので、すいている時間を選んでご購入ください。また、各駅に設置している自動券売機でも、新規定期券、継続定期券どちらも使用開始日の14日前からお求めいただけます。(2015年9月号掲載)



#### お客様の声

「京王線と井の頭線を一日自由に乗り降りできるきっぷがあると便利です」

#### 改善しました

2016年4月1日から京王線・井の頭線全線で一日乗り降りが自由に行える乗車券の発売を開始します。各駅の券売機でご購入いただけます。(2016年4月号掲載)



#### お客様の声

「ダイヤ乱れの際に列車に乗っていると、運転状況についての説明が少なく感じます。もっと詳しく説明してほしいです」

#### 改善しました

車掌が列車の運転状況を確認することができるタブレット端末を導入しました。

タブレット端末の導入により、人身事故などによってダイヤ乱れが生じた際に、ご乗車されているお客様に具体的にご案内できるようになりました。(2015年10月号掲載)



## ホームページや冊子における 多言語案内

### ■ ホームページ

京王ホームページでは、英語、中国語(簡体字)、中国語(繁体字)、韓国語、フランス語での情報案内をしています。電車のご案内をはじめ、IR・企業情報、沿線情報などを掲載しています。



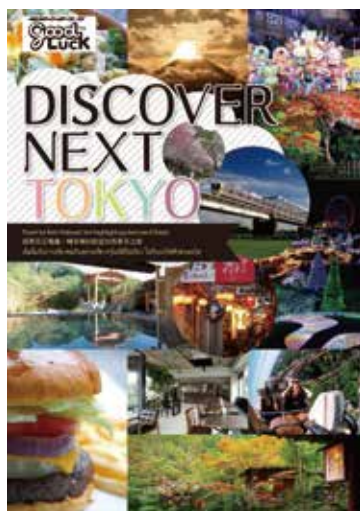
英語版ホームページ

### ■ 各種案内パンフレット・チラシ

外国人のお客様に人気の高い高尾山へのお得なきっぷの案内・買い方を説明した冊子や、高尾山の登山コースの紹介などの楽しみ方を解説する冊子、また京王沿線の観光スポットを紹介する冊子などを制作・配布しています。



高尾山きっぷ買い方冊子  
(英語)



沿線情報誌(英語・中国語・タイ語)

## その他のコミュニケーション

### ■ 街はぴ

京王線各駅の周辺ショップ・イベントや、ライターがオススメするクチコミ情報などをお届けする沿線クチコミ情報サイト「街はぴ」は、地域の皆様が、相互にコミュニケーションを取りあえるサイトです。



### ■ facebook(けい太くん、プラットガール)

当社キャラクター「けい太くん」や「プラットガール」による事業情報、沿線情報の発信をしています。



### ■ 交通教室

当社、京王電鉄バスグループ、西東京バスでは、地域の小学校に伺い、交通教室を開催しています。安全な電車・バスの利用の仕方や利用マナーについて、社員がビデオなどを利用して分かりやすく授業をしています。ビデオはホームページやYouTubeなどで公開しています。



授業の様子

けい太くん安全・マナー教室ビデオ

## 多世代が生活しやすい沿線づくり

京王グループでは、「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」を目指し、幅広い世代の方々が生活しやすくなるよう、ライフスタイルに応じたサービスをお届けしてまいります。

### 子育て支援の取り組み

妊娠・出産から子育て、働きたいお母さんへのサポートまで幅広いサービスを提供して、子供たちを健やかに育みながら子育てしやすい環境づくりをしています。

#### ■ 京王キッズプラッツ

東京都認証保育所・認可保育所「京王キッズプラッツ」は、家庭的な雰囲気の中、一人ひとりの子供の発達や気持ちに寄り添い、豊かな成長をサポートします。

2016年4月には子育て支援賃貸マンション「京王アンフィール 国領」に8施設目となる保育所を新設しました。



京王キッズプラッツ



京王アンフィール国領内保育所

#### ■ 事業所内保育所「サクラさーくる」

2016年10月から多摩市の認可基準に基づく地域型事業所内保育所として、地域のお子様の受け入れを開始します。



事業所内保育所「サクラさーくる」

#### ■ 京王ママスクエア

1歳から小学校低学年の子供を対象とした「キッズスペース」を併設した「ワーキングスペース」で、子育てしながら働きたいお母さんが駅近で自分のペースで働ける環境を提供しています。



京王ママスクエア



## 暮らしのお手伝い

子育て世代からシニア世代まで家族みんなの生活にゆとりを届ける生活サポートサービスの提供を行っています。

### ■ 京王ほっとネットワーク

#### ● 家事のお手伝い

水まわりのお掃除やお洗濯などの家事全般を、経験豊かなスタッフがお手伝いします。



「家事のお手伝い」の様子

#### ● お買いものサポート

お買い上げの商品をその日のうちにご自宅までお届けする当日宅配を一部の京王ストア・キッチンコートで提供するほか、多摩ニュータウン地域や日野市平山地域を巡回する移動販売を行っています。



「移動販売」の様子

#### ● 住まいのリフォーム

網戸張り替えなどの小修繕、給湯器交換や外壁塗装のほか、ライフスタイルにあわせたリフォームまで、住まいのことなら何でもご相談いただけます。

#### ● 空き家巡回

居住していない住居を定期巡回し、郵便物や施錠の確認、通水・換気や簡易清掃などを行い、写真付きでご報告します。

## 地域高齢者を支える事業

多様化するライフスタイルにあわせシニア向け住居の充実を図っています。シニア世代の不安・不便の解消とアクティブライフのサポートを行うことで、安心・安全・快適な住まいを提供します。

### ■ 介護付有料老人ホーム「アリストージュ経堂」

バリアフリーの居室と魅力的な共用空間を有するシニアレジデンスで、ご入居者の身体の状況に応じて、生活サポートサービスや介護サービスなど様々なサービスを提供しています。



アリストージュ経堂

### ■ 介護付有料老人ホーム

#### 「チャームスイート京王聖蹟桜ヶ丘」

沿線において恒常的な介護サービスを必要とする高齢者が安心して暮らせるための介護付有料老人ホームを2016年5月に開業しました。本物件を運営する(株)チャーム・ケア・コーポレーションと連携し、至近に開業するサービス付き高齢者向け住宅「スマイラス聖蹟桜ヶ丘」から転居を希望される方が優先入居できる特典を設けています。



チャームスイート京王聖蹟桜ヶ丘

# 地域社会への貢献



京王沿線には、今も息づく自然と、それらに育まれてきた歴史や、人々の営みによる独自の文化がかたちづくられています。

沿線地域にある多様で豊かな文化資産を沿線の大学・団体などとの連携により、皆様とともに見つめ直し、ともに楽しむことを京王沿線のくらしへひろげる、学びプログラム。それが、「京王アカデミープログラム」です。

京王アカデミープログラムでは、沿線で過ごすお子様から大人まで幅広い世代に向けて、「文化」（歴史・文学・音楽・美術・自然・科学など）・「教育」・「子育て」に関する学びの機会を提案してまいります。

ともに学び、ともに創り、ともに育つ。京王アカデミープログラムは、豊かな京王沿線のくらしに向かう、新しい「学び」のかたちです。

## ■ 京王キッズおしごと隊

京王グループでの職業体験を通して、自分の将来の職業について考え、社会の仕組みを知るとともに、京王グループへの理解を深めていただくことを目的とするプログラムで、2009年から実施しています。



電車の乗務員のおしごとを体験しよう！  
(京王電鉄)



リノベーションで住まいづくりを体験しよう！(リビタ)



オリジナルパンを作ろう！  
(京王食品)



ホテルのおしごとを体験しよう！  
(京王プラザホテル)



お花屋さんになって花束を作ろう！  
(京王グリーンサービス)



車両整備のおしごとを体験しよう！  
(京王重機整備)

## 「駅のおしごとを体験しよう！」参加者の声

定期券を作る時すごく緊張しました。改札と券売機の中に機械がたくさん入っていたのがびっくりしました。ホームの中に避難場所があるんだなと思いました。ホームがあんなに高いんだなとおどろきました。  
(小学校3年生)



お子様の声



保護者様の声

電車大好き、京王線大好きな子ですが、知らないことをたくさん知ることができ、とても楽しそうに過ごしていました。(中略)  
駅員さんの仕事に触れることができ、将来のことや仕事について考える良いきっかけになったと思います。

### ■ 親子で楽しむはじめてのオペラ

美しいイタリア語のフレーズや音楽はそのままに、字幕を使わずに日本語のセリフでつなぐ分かりやすいスタイルで、親子で楽しめる本格的なオペラを上演しました。



親子で楽しむはじめてのオペラ

### ■ 高尾山峰中修行体験合宿

子供たちが座禅、法話、写経、水行など、高尾山薬王院の修行体験を通して、「新しい友達をつくる」「自然に触れて自然を大切にする」「心に残る思い出をつくる」ことを目的としています。1970年から2015年までに43回実施しています。



座禅

### ■ 子育てサロン ～心と五感を育てる親子の運動遊び～

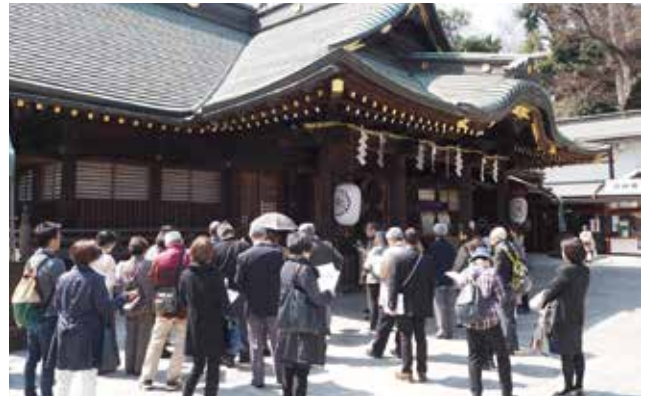
2～3歳のお子様と保護者の方向けに、親子が触れ合いながらコミュニケーションをとる運動と、リラックスやストレッチなどにも繋がる動きを学びました。



子育てサロンの様子

### ■ 沿線めぐり「武蔵総社 大國魂神社と御神酒 ～地域の歴史と日本酒文化を学び、味わう～」

京王沿線地域の歴史にふれ、日本酒文化を学び、味わい、京王沿線に息づく日本文化の魅力を再発見するプログラムを行いました。



沿線めぐりの様子

### ■ 講演会「調和する日本建築 ～高尾山口駅～」

高尾山口駅駅舎デザインを手掛けた建築家・隈 研吾氏と雑誌「Casa BRUTUS」編集長・松原 亨氏による対談形式の講演会を実施し、日本文化である「日本建築」を学ぶプログラムを行いました。



講演会の様子

## チャリティ・スポーツ振興・産学連携

### ■ 京王音楽祭

1994年から開始し、2015年で22回を数えました。入場料の一部は、東日本大震災により被災した子どもたちのために、「東日本大震災みやぎこども育英募金」「いわての学び希望基金」「東日本大震災ふくしまこども寄附金」へ引き続き寄付しています。



京王音楽祭

### ■ 京王駅伝フェスティバル

2013年から味の素スタジアムで開催しています。駅伝だけでなく、沿線の人気キャラクターによる運動会や、沿線の学生・団体によるパフォーマンス、鉄道イベントなども行っています。

京王音楽祭と同様に、参加料の一部を東日本大震災により被災した子どもたちのために寄付しています。



駅伝の様子

### ■ 熊本地震の被災者・被災地への支援活動について

京王グループでは、被災された方々への支援および被災地の復旧・復興に役立てていただくため、災害義援金として京王グループ各社および社員一同から募る寄付金に、会社から拠出する寄付金を合わせ3,000万円を日本赤十字社を通じて寄付しました。

2016年度開催の「京王駅伝フェスティバル」「京王音楽祭」については、東日本大震災に加え熊本地震の支援活動にも寄付する予定です。被災地の一日も早い復旧・復興を祈念いたします。

### ■ スポーツ振興

テニス、サッカー、軟式野球など、沿線地域で開催されるスポーツイベントに協賛することを通じて、次世代を担う子どもたちが心身ともに健やかに成長するよう、支援しています。



京王少年少女サッカーフェスティバルの様子

### ■ 多摩未来奨学金

公益社団法人「学術・文化・産業ネットワーク多摩」が実施している「多摩未来奨学金」プログラムに参加し、寄付金の提供、企業と学生の勉強会開催などを通じ、地域の学生・将来の多摩を支える学生の支援を行っています。



「多摩未来奨学金」プログラムの様子

### ■ 産学連携プロジェクト「にしちゅんバス」運行

西東京バスは、地域貢献を目的に地元の工学院大学、日本工学院八王子専門学校でのデザインコンテストの優秀作品を起用し、同社キャラクター「にしちゅん」をモチーフに「にしちゅんバス」を2台製作しました。



「にしちゅんバス」

# 株主・投資家の皆様との対話

## ■ ディスクロージャー・ポリシーに基づいた 適時適切な情報開示

株主・投資家の皆様への情報開示を行うにあたっての基本的な考え方として、2006年4月に「ディスクロージャー・ポリシー」を制定し、本ポリシーに掲げる内容の実現を図るため、ディスクロージャー委員会を設置しました。ディスクロージャー委員会は、四半期ごとの業績開示にあわせて開催し、決算資料の内容確認を行っています。

情報開示の具体例としては四半期ごとの業績開示をはじめ、年2回の決算説明会の開催、インベスターズガイド「けいおう」などの発行を通じて、財務や株式、営業の概況に関する情報を積極的に開示しています。これらの開示資料やニュースリリースなどについては、ホームページ上でも公表するなど、個人投資家の皆様にも分かりやすい情報開示に努めています。

京王グループ・ディスクロージャー・ポリシー  
[www.keio.co.jp/company/stockholder/disclosure/](http://www.keio.co.jp/company/stockholder/disclosure/)

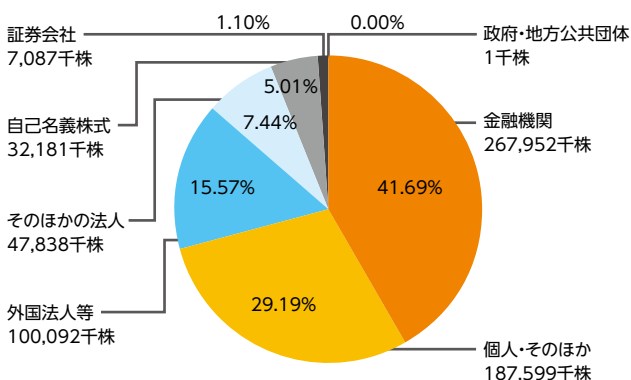
## ■ 株主の状況

当社の2016年3月31日現在の株主数は32,602名です。全体の約7割が、沿線の個人株主です。

### ● 株式の状況

発行可能株式総数	1,580,230,000株
発行済株式総数	642,754,152株
株主数	32,602名

### ● 株式分布状況(2016年3月31日現在)



## ■ 株主総会

2016年6月29日に京王プラザホテル八王子にて第95期定時株主総会を開催し、776人の株主様に出席いただきました。

当日は、2015年度の事業の経過や業績について分かりやすくお伝えするよう努めました。

## ■ 施設見学会

当社および京王グループへの理解を深めていただくため、施設見学会を開催しています。

### ● 個人株主向け

2015年8月に、若葉台工場および京王バス中央 府中営業所の見学会を開催しました。



電車車体整備の見学



バス車両の洗車体験乗車

### ● 証券アナリスト向け

実際の物件を見学することで事業内容の理解を深めていただくことを目的に、2015年8月、京王プラザホテル(新宿)の見学会を開催しました。

## ■ 株主優待の拡充

当社株式の魅力をより高め、当社の電車を利用する機会が少ない方にも当社株式を保有していただけるよう、「株主優待乗車証」を西東京バスの「金額式IC定期券」に交換できる制度を導入しました。

新しい株主優待制度は2016年3月31日現在の株主の皆様から実施しています。

## ■ 引き続き良好な格付けを維持

当社では、鉄道事業における安全性の向上策や、沿線の活性化と競争力の強化に取り組みながらも、常に財務体質の健全性を意識しながら、鉄道業界トップクラスである40%近い自己資本比率を維持しています。

このような堅実な事業展開を行っていることが評価され、1998年に取得した株式会社日本格付研究所(JCR)によるAA(ダブルAフラット)の格付けを継続して得ています。

# 人材の活用と働きやすい職場づくり

## 多様な人材雇用

### ■ 公正な採用方針

京王グループは、公正採用選考人権啓発推進員制度(厚生労働省)、採用選考に関する企業の倫理憲章(日本経団連)に基づいた採用活動を行っています。

### ■ 人材・雇用に関するデータ

#### ■ 従業員数、平均年齢

	従業員数(人)	平均年齢(歳)
2011年度	2,386	40.0
2012年度	2,370	40.0
2013年度	2,385	40.2
2014年度	2,416	40.3
2015年度	2,447	40.2

#### ■ 平均勤続年数

男性	18年5ヵ月
女性	10年8ヵ月

VOICE: 海外出身社員が語る

日本とアジアの  
架け橋になる



ホテル戦略部

モーモーサン

京王電鉄とは、ミャンマーから日本の大学に留学していた時の就職活動を通して出会いました。企業説明会で、京王電鉄の担当者は応募者に対して真摯に向き合い、質問にも丁寧に説明してくれたため、日本での就職に対する不安を解消することができました。

現在は、京王プラザホテルで研修をしていますが、入社前の印象通り、風通しが良い職場の雰囲気の中で楽しく業務を行っています。OJTの場面では、私を含め、先輩後輩、社員アルバイトなど様々な立場の人が対等に教えあう風土があります。

今後は、海外市場に関する業務への対応だけでなく、日本人とは異なる視点や発想などを活かしながら、京王グループの事業を通して日本とアジアを結ぶ架け橋になっていけるように頑張っていきたいです。

### ■ 女性の活躍

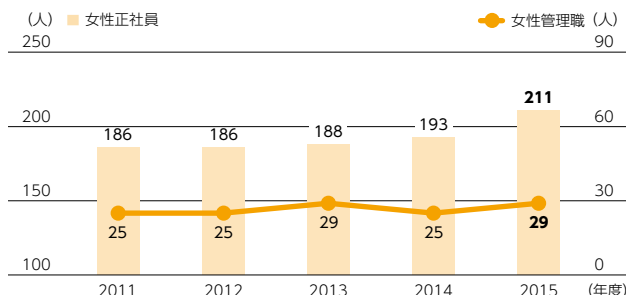
2016年3月末における、グループ会社への出向を含む当社女性社員は211名、管理職は29名となっています。

鉄道事業の現場から海外まで多種多様な事業領域でのジョブローテーションを経験する中で、自ら新たな道を切り拓ける人材が活躍しています。

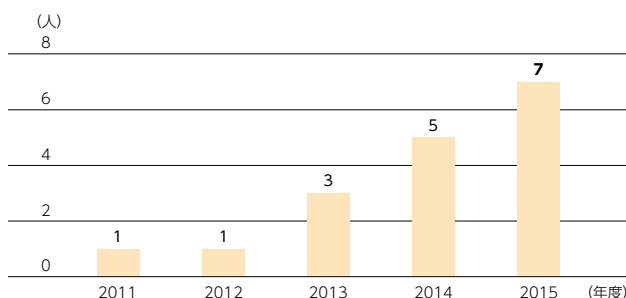
また、従来男性中心だった職場においても女性が活躍しており、グループ会社社長や、2014年6月からは北村敬子氏が社外監査役として選任され就任しているほか、2016年7月には初の女性現業長が誕生しています。

2016年4月1日から施行された「女性活躍推進法」に関する取り組みについては、厚生労働省へ届出を行っており、「管理職における女性人数の数値目標設定」や「ダイバーシティ推進に関する行動計画」を掲げております。詳細については弊社ホームページをご覧ください。

#### ■ グループ会社への出向を含む当社女性正社員と女性管理職の推移(休職者を除く)



#### ■ 女性役員数の推移(京王グループ)



#### ■ 管理職における女性人数と比率(当社)

	管理職総数(人)	うち女性(人)	女性比率(%)
2011年度	289	16	5.5
2012年度	297	15	5.1
2013年度	295	16	5.4
2014年度	300	12	4.0
2015年度	314	16	5.1

■ 採用した社員(新卒・総合職)のうち女性の占める割合

2012年度入社	23.1% (13人中3人)
2013年度入社	23.5% (17人中4人)
2014年度入社	26.3% (19人中5人)
2015年度入社	15.8% (19人中3人)
2016年度入社	23.8% (21人中5人)

■ 障がい者雇用

2004年に特例子会社「京王シンシアスタッフ」を設立しました。2006年からは、関係会社特例認定を取得し、京王グループ全体の障がい者雇用も拡大しています。

2015年度では、当社および関係会社特例認定を取得した京王グループ9社を含めた障がい者雇用率は2.5%(170名)となり、社内施設の清掃業務、名刺作成、事務補助作業などに従事しています。

■ 障がい者雇用と雇用割合

	障がい者数(人)*	実雇用率(%)*
2011年度	135	2.0
2012年度	137	2.1
2013年度	159	2.4
2014年度	163	2.4
2015年度	170	2.5

※障がい者雇用促進法に定める計算方法に基づく



名刺作成の様子

■ 地域限定雇用

西東京バスでは、東京都檜原村と共同で、檜原村居住者(移住者)限定でバス運転士の採用活動を2012年8月から実施しました。檜原村は島しょ部を除いた東京都で唯一の村で、秋川渓谷などの豊かな自然に恵まれています。この檜原村で暮らしながら働く、通勤圏にある同社事業所(五日市営業所:東京都あきる野市)

のバス運転士(正社員)を募集し、地域と密着した、地域に貢献する雇用施策として推進しています。

また、奥多摩町でも同様の取り組みを行っています。

■ 高齢者再雇用

高齢者などの雇用の安定などに関する法律の2度の改正に対応して、当社は定年退職した社員を再雇用する「継続雇用制度」を2006年に創設し、2013年に再構築しました。2015年6月現在、継続雇用社員は202名となっています。

■ 継続雇用者総数と再雇用割合

	継続雇用者総数(人)	再雇用割合(%)*
2011年度	180	55.1
2012年度	179	56.1
2013年度	180	60.0
2014年度	191	92.3
2015年度	202	72.6

※該当年度における継続雇用者数/定年退職者数

ワーク・ライフ・バランス

■ 年休の取得率向上に向けて

働きやすい職場環境づくりのため、「両立支援セミナー」実施などに取り組んでいます。

また「計画的な年次有給休暇の取得推奨」「年次有給休暇の半日単位付与」などにより休暇の取得を推進しており、2015年度の年次有給休暇の取得率は81.4%となっています。

■ 育児支援

子どもを養育し、引き続き勤務する意思のある社員が育児に専念するために、子どもが満1歳に達して以降最初の4月15日まで休職できる制度を設けています。また、育児をしながら勤務する社員に対して、超過勤務を命じないことや、就業時間の短縮などに関する措置(最長で小学4年まで)についても定めています。



事業所内保育所「サクラさーくる」

また、育児に専念したい社員が一旦退職した後、再び入社する機会を与えられる「再入社制度」も導入しています。

次世代育成支援対策についても今後推進を図り、仕事と家庭がより両立できる職場づくりに努めます。

京王グループ社員の育児を支援し、仕事と育児の両立を支援するため、2006年に事業所内保育所「サクラさーくる」を設置しました。京王グループ社員9名(2016年4月現在)が、この施設を利用しています。

■ 育児休業取得者数・育児休業復帰率

	取得者数(人)	うち男性(人)	復帰率(%)
2011年度	19	1	90.0
2012年度	25	0	90.9
2013年度	30	1	100.0
2014年度	33	1	91.7
2015年度	28	4	95.7

VOICE: 女性社員が語る

女性が活躍できる  
職場です



海外戦略部 課長補佐  
中村 理恵

2002年に入社して以来、グループ会社への出向、人事部、総務法務部等様々な部署でやりがいのある仕事に携わってきました。現在は海外戦略部という新しい部署で、主に京王グループのインバウンド市場取り込みに向けた戦略の策定と推進を行っています。

私が入社した時には既に多くの女性の先輩が活躍されており、仕事やプライベートの悩みも相談することができる環境でした。第一子の育児休業中には通信教育を活用し自身の成長のチャンスにすることができましたし、法定を上回る育児休業制度や事業所内保育所も整っており、女性が活躍していける会社だと実感しています。

上司・先輩や仲間の理解と応援に感謝しながら、今後も仕事と家庭をうまく両立させていきたいです。

■ 働きやすい職場環境づくりに向けた調査の実施

当社では2011年から社員一人ひとりが主体的に働きやすい職場環境づくりをするために、紙およびWEBを使用した無記名式アンケートによる「従業員意識調査」を実施しています。

2013年に実施した調査では、対象2,815名のうち94.7%から回答があり、従業員の満足度は概ね良好な結果が得られました。調査結果は、社内報を通じて公表し、課題の共有を図っています。

■ 月ごとの平均残業時間(正社員対象)

課長級以上	男性(時間)	女性(時間)
2011年度(2011/8~2012/7)	14.4	16.8
2012年度(2012/8~2013/7)	16.3	22.8
2013年度(2013/8~2014/7)	16.0	19.5
2014年度(2014/8~2015/7)	12.6	18.2
2015年度(2015/8~2016/7)	14.7	20.4
課長補佐級以下	男性(時間)	女性(時間)
2011年度(2011/8~2012/7)	31.2	21.4
2012年度(2012/8~2013/7)	33.7	23.0
2013年度(2013/8~2014/7)	33.1	23.7
2014年度(2014/8~2015/7)	31.2	21.0
2015年度(2015/8~2016/7)	31.7	21.6

人権・労働安全衛生

■ 人権・労働に対する基本的な考え方

京王グループは、京王グループ行動規範に基づき、人権研修を実施するなど働きやすい職場づくりを目指しています。

■ ハラスメント防止

京王グループ各社では、ハラスメント防止のために研修を実施するとともに、相談窓口も設置しています。



セクハラ防止ポスター



### ■ 衛生講演会を開催

当社では、定期的に衛生講演会を開催し、診療所の産業医および医療スタッフが、健康に関する講演を行っています。

### ■ 労働安全衛生委員会

当社では、「安全・衛生のひろば」を定期的に開催しているほか、安全衛生概況や安全衛生委員会の活動状況などについて社内掲示板を活用し、周知しています。



安全・衛生のひろば

### ■ メンタルヘルスケア

当社では1997年から社員のメンタルヘルス調査を実施していますが、2016年からは法令に基づきストレスチェック制度を導入します。

社員本人へは自分のストレス状態を通知し、職場長には組織についての現状分析を報告しています。また、高ストレスと判断された社員に対しては産業医との面談を促し、専門医、臨床心理士による相談窓口も設置しています。このほかにも産業医によるセミナーの開催など、自分自身による気づきと対処、職場における支援に役立つよう、保健師や精神科医とともにメンタルヘルスケアを進めます。



医師による面談

TOPICS

## ～今後の取り組み～

### ■ 高齢者向け住宅事業の拡充

地域高齢者ケアによる沿線活性化を目的として、在宅介護・看護サービスの拠点を併設したサービス付き高齢者向け住宅「スマイラス聖蹟桜ヶ丘」を2017年2月に開設します。

京王沿線の高齢化に伴い、駅周辺立地を活かした高齢者向け住宅事業を展開し、高齢者の不安・不便の解消とアクティブライフのサポートを行うことで、高齢者がいつまでも生き生きと暮らしていける生活環境を実現します。



スマイラス聖蹟桜ヶ丘(イメージ)

### ■ 多摩動物公園エリア魅力向上

京王の電車・バス開業100周年を記念して2013年に開業した京王れーランドに続き、2017年度に多摩動物公園駅前に新たな子供向け屋内型遊戯施設の開業を予定しています。

お客様連れのお客様をはじめ多くの皆様楽しんでいただいている多摩動物公園駅周辺のさらなる魅力向上を図ります。



多摩動物公園駅周辺の様子

# メッセージ

## 持続的発展が可能な社会の実現を目指して 環境保全に配慮した事業活動を行います

京王グループは、「京王グループ環境基本方針」「生物多様性行動指針」に基づき、環境にやさしい企業集団を目指し、設定した環境目標をすべての職場で達成すべく環境マネジメントシステムの運用を開始して12年目を迎えています。

### さらに省エネルギー性能の高い 新型VVVFインバータ制御装置への切り替え

特に当社は、公共交通機関の一翼として大手私鉄の中で初めて、走行時の電力使用量を大幅に抑えるVVVFインバータ制御装置を全営業車両に導入したほか、従来よりも省エネルギー性能の高い新型VVVFインバータ制御装置についてもいち早く導入を開始し、「運転用電力の削減」に努めています。また、開発事業部門においても、東京都の基準を超えるCO<sub>2</sub>排出量削減を達成したほか、高尾山をはじめとする沿線の自然環境の保全にも努めてきました。

これらにより「平成27年交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰」を受賞したほか、日本経済新聞が毎年実施している「日経環境経営度調査」においては、鉄道業界で1位となるなど、従来の取り組みが評価を受けることができました。

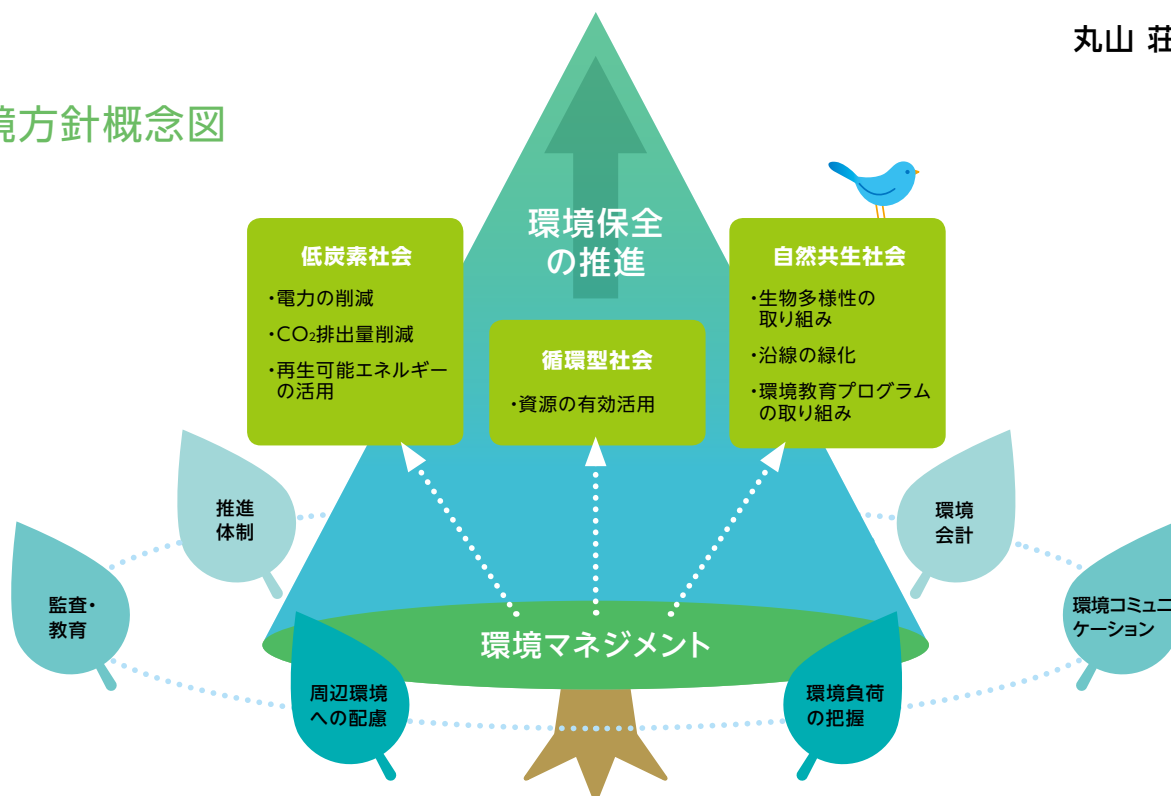
### より積極的なグループ環境経営を目指して

今後についても、新たに設定した中期環境目標に基づき、2020年度における運転原単位（1車両が1km進む際に使用する電力量）を2012年度比で10%削減することや「保有する大規模物件における東京都CO<sub>2</sub>排出量削減義務（17%）」について、期限内の達成を目指します。さらに、グリーンキャンペーンや森林体験等の自然環境教育プログラムを継続実施することなどにより、グループ環境経営を推進し、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会の実現に向けて努力していきます。

常務取締役  
(環境管理責任者)

丸山 荘

## 環境方針概念図



# 環境方針



## 基本的な考え方

当社では、2000年11月に環境基本方針を制定し、環境法令遵守をはじめ、各事業の特性に応じた省エネルギー化や廃棄物削減、資源リサイクル、環境教育の実施などを積極的に推進してきました。その後、環境保全是京王グループ共通の課題であると

の認識から、2004年12月に「京王グループ環境基本方針」を制定しました。グループ社員一人ひとりが環境方針の内容、なかでも自分の業務に関わりがある項目について十分理解し、仕事に生かしていけるよう、環境マネジメントシステム(EMS)の継続的運用を通じて浸透を図っています。

京王グループ環境基本方針	生物多様性行動指針
<p>私たちは、「環境にやさしく」というグループ理念に基づき、環境問題を地球規模で考え、持続的発展が可能な社会の実現を目指して、環境保全に配慮した事業活動を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地球温暖化防止のため、エネルギーの効率利用に努めます。</li> <li>2. 循環型社会実現のため、廃棄物の削減、リサイクルおよび適正処理を図るとともに汚染の予防に努めます。</li> <li>3. 環境に関する法令、条例、協定などを遵守します。</li> <li>4. 地域社会との調和を目指し、騒音、振動の抑制ならびに緑化活動の推進に努めます。</li> <li>5. より良い環境の実現に向けて、地域や社会の環境保全活動に積極的に参加します。</li> <li>6. 従業員一人ひとりの環境意識向上を図るため、啓蒙・教育活動を実施します。</li> <li>7. これらの環境保全活動を推進するため、鉄道をはじめとするすべてのグループ会社の事業活動において環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善に取り組みます。</li> </ol> <p style="text-align: right;">2004年12月9日制定</p>	<p>私たちは、生活に身近な事業を展開していくなかで、自然の恩恵を継続的に享受していることを認識し、持続可能な利用や自然と共生する社会の実現に向け、生物多様性に配慮した事業活動を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業活動がおよぼす環境への影響把握 事業活動と生物多様性とのかかわり(恵みと影響)を把握するように努め、取り組みの必要性に対する認識を高めます。</li> <li>2. 自然環境の確保と保全 事業活動における自然環境への影響の回避または低減に取り組むとともに、緑化を推進し、地域の豊かな自然環境の確保と保全に努めます。</li> <li>3. 資源循環の推進 資源の利用が生物多様性におよぼす影響を低減するために、グリーン購入など環境に配慮した調達や3R活動(リデュース・リユース・リサイクル)を推進し、環境負荷低減に努めます。</li> <li>4. ステークホルダーと連携した生物多様性の保全 従業員をはじめ、取引先企業、お客様など多くのステークホルダーと連携し、情報の発信と収集を行いながら生物多様性の保全に努めます。</li> </ol> <p style="text-align: right;">2010年9月8日制定</p>

## 中期環境目標

鉄道事業部門	開発事業部門
<p><b>電車の運転用電力を2020年度に10%削減(2012年度比)</b></p> <p>省エネルギー化を図るため、新型VVVFインバータ制御装置の導入を進めていくほか、車内照明のLED化を順次実施していきます。</p> <p>これらの環境施策に継続して取り組むことで、2020年度における運転原単位(1車両が1km進む際に使用する電力量)を2012年度比で10%削減することを目指します。</p>	<p><b>東京都のCO<sub>2</sub>排出量削減義務(17%)の達成</b></p> <p>第1計画期間に引き続き、第2計画期間(2015~2019年度の5カ年)では、照明のLED化等の省エネルギー施策の推進を図るだけでなく、各種クレジット制度の活用や運用方法の改善を図り、部門一体となって目標達成を目指します。</p>

# 「環境にやさしい鉄道」

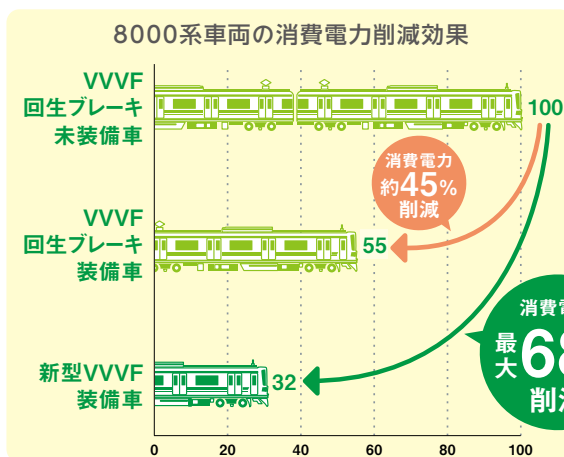
## ● 走行用電力を減らす

### VVVFインバータ制御装置

電車の加速力や速度などに応じて電圧や周波数を変化させながらモーターを効率良く動かす装置。1992年以降に導入を開始し、**2012年に大手民鉄で初めて全営業車両への整備を完了。**

2015年からさらに消費電力削減効果に優れた**新型VVVFインバータ制御装置の本格導入を開始。**

(注) 横軸は未装備車の使用電力量を100とした場合の数値



## ● 走行用電力を再利用する

### 回生ブレーキ

電車がブレーキをかけた際にモーターを発電機として作動させ、発生した電力(回生電力)を架線に戻すことで他の電車が使えるようにする装置。1999年に全車両への整備を完了。

### 上下線一括き電化

電車に電気を供給する、上り線と下り線のき電線を接続することで、他の電車に回生電力を最短ルートで送り、送電の損失低減を図る装置。2012年に井の頭線で整備。

## 京王グループはこんなところでも環境に配慮！

### ■ 低炭素社会を目指して (P. 62~)

- ① 電気・ハイブリッドバス
- ② 車内・駅構内・ホテル・ショッピングセンター照明LED化
- ③ 太陽光発電・風力発電

### ■ 循環型社会を目指して (P. 64~)

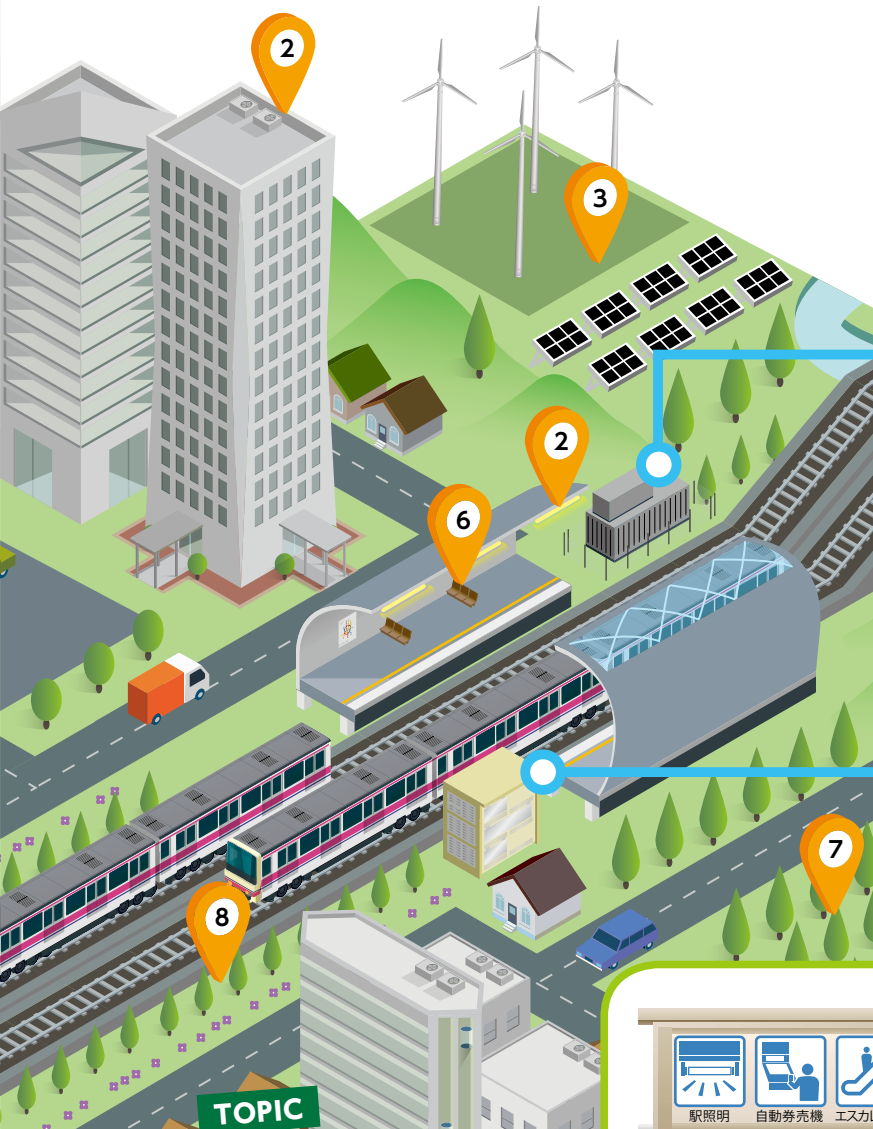
- ④ 住宅のリノベーション
- ⑤ ECOステイ
- ⑥ 間伐材を使用したベンチ

### ■ 自然共生社会を目指して (P. 66~)

- ⑦ 植樹活動
- ⑧ 線路脇の緑化

当社グループの中核事業である鉄道事業では、一年を通じて多くの電力を消費することから、少ないエネルギーで効率的に動くことができる「環境にやさしい鉄道」を目指しています。

# KEIO ECO MAP



## ● 再利用した電力を蓄える

### 回生電力貯蔵装置

回生電力を蓄電し、電車が走行する際の電力として供給する装置。2015年に堀之内変電所に導入。

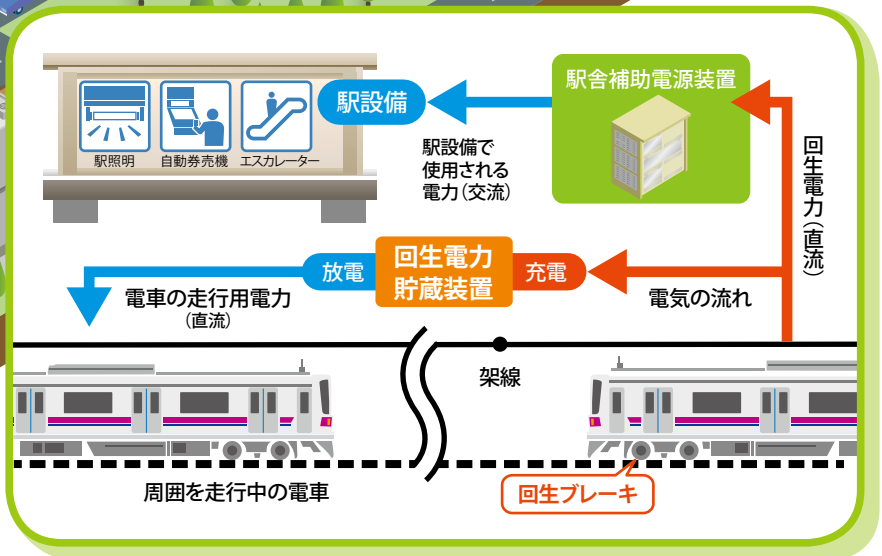
## ● 再利用した電力を駅で活用する

### 駅舎補助電源装置

回生電力を駅設備で使用される電力に変換して、駅の照明や空調・エスカレーターなどに供給する装置。2015年の東府中駅に続き、2016年には高幡不動駅に導入。

### TOPIC

「平成27年交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰」を受賞



# 環境マネジメント

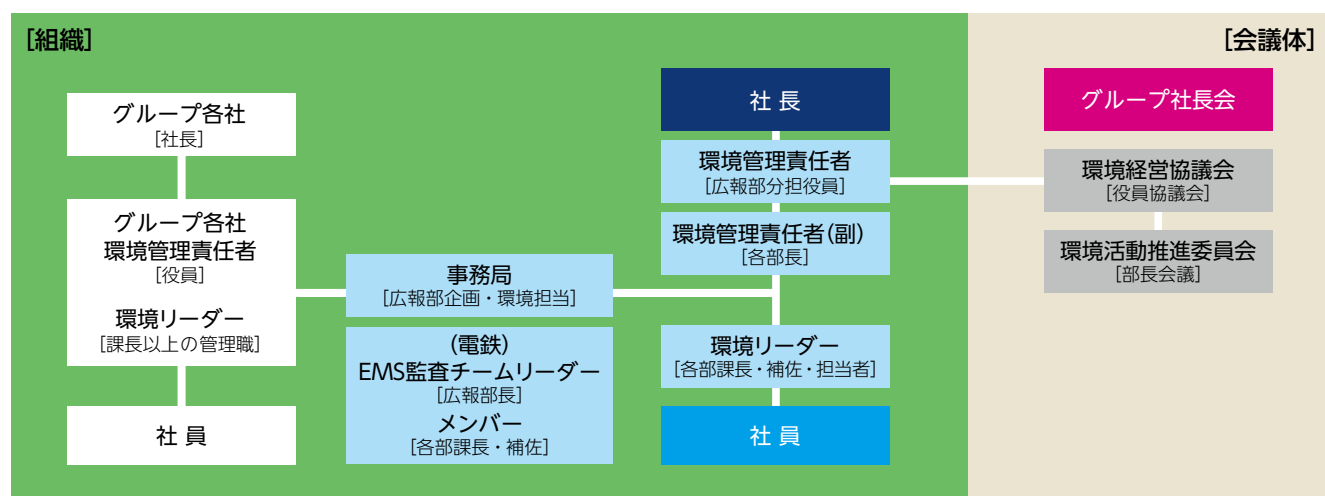
## 推進体制

当社では、本社をはじめ鉄道現業を含めたすべての職場において、国際標準規格ISO14001を参考に独自のEMS（環境マネジメントシステム）を構築・推進し、その活動は環境経営協議会にて経営層へ報告・承認を受けています。また、京王グループ社長

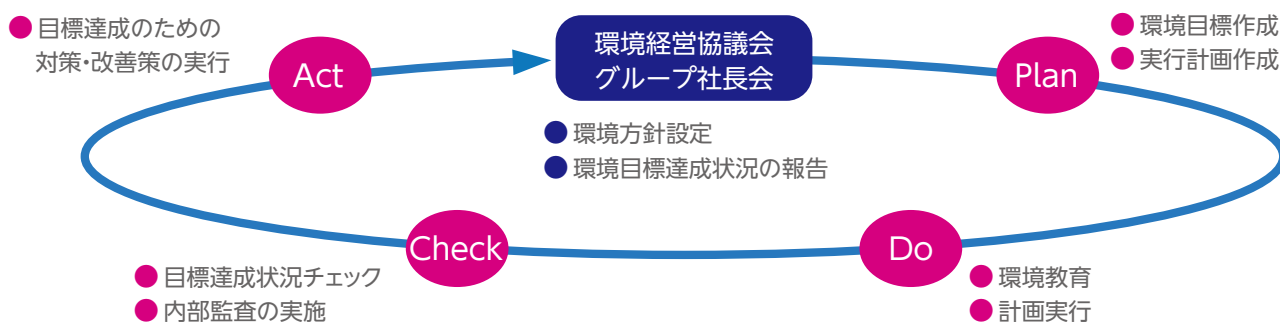
会を通じてグループ各社に環境マネジメントを徹底しています。

2016年度も引き続き、低炭素社会・循環型社会・自然共生社会の実現に向けたレベルアップに努めています。グループ会社では、ISO14001を3社、グリーン経営認証を6社、エコアクション21を1社で取得しています。そのほかの各社は、ISO14001またはエコアクション21を参考にEMSに取り組んでいます。

### ■ 京王グループEMS推進体制



### ■ 京王グループEMS推進体制



### ■ 京王グループ各社の第三者認証取得状況

分類	会社名
ISO14001	認証取得(3社) ● 京王設備サービス ● 京王建設 ● 京王エージェンシー
グリーン経営認証	認証取得(6社) ● 京王電鉄バス ● 京王バス東 ● 京王バス中央 ● 京王バス南 ● 京王バス小金井 ● 京王運輸
エコアクション21	認証取得(1社) ● 東京特殊車体

## 監査・教育

### ■ EMS内部監査

当社はEMSの有効性と社員の自覚を確認するため、毎年各部管理職1人以上のEMS監査員を選出し、新任監査員は有限責任監査法人トーマツによる専門教育を受けた後、部署間相互による内部監査を実施しています。

### ■ 環境教育

環境意識やEMS理解度の向上など必要性を明確にした上で、体験を重視した環境教育を実施しています。

### ■ 主な教育実績(2015年度)

名称	時期	対象	人数
京王グリーンキャンペーン	5月	グループ社員、一般	895名
自然!はっけん!エコキャンプ	8月	グループ社員、一般	56名
EMS監査員養成研修	12月	新任監査員	3名
廃棄物管理勉強会	12月	グループ実務担当者	57名
廃棄物処理施設視察会	3月	グループ実務担当者	26名



廃棄物処理施設視察会

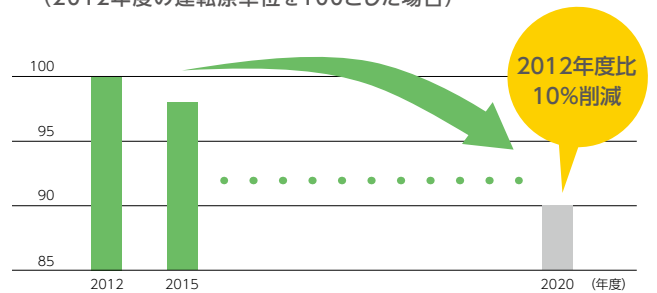
## 中期目標の進捗状況

### ■ 電車の運転用電力を2020年度に10%削減(2012年度比)

省エネルギー化を図るため、新型VVVFインバータ制御装置の導入を進めていくほか、車内照明のLED化を順次実施していきます。これらの環境施策に継続して取り組むことで、2020年度における運転原単位(1車両が1km進む際に使用する電力量)を2012年度比で10%削減することを目指します。2015年度は、2012年度比約2%削減という結果になりました。

#### ■ 電車の運転用電力削減推移

(2012年度の運転原単位を100とした場合)

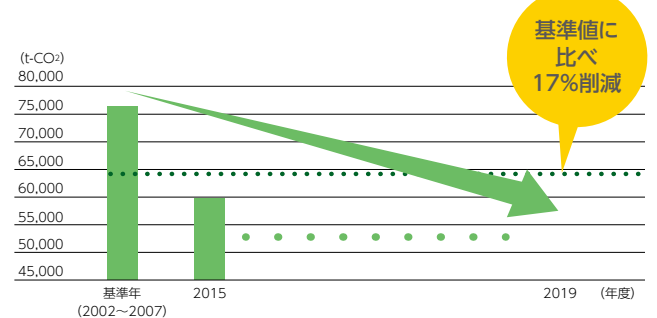


※車両の走行に関する性能(理論値)に限定して原単位を算出しています。

### ■ 東京都のCO<sub>2</sub>排出量削減義務(17%)の達成

第1計画期間に引き続き、第2計画期間(2015~2019年度の5カ年)では、照明のLED化等の省エネルギー施策の推進を図るだけでなく、削減余地の少ないキラリナ京王吉祥寺も含めて各種クレジット制度の活用や運用方法の改善を図り、部門一体となって目標達成を目指します。2015年度のCO<sub>2</sub>排出量は59,825 t-CO<sub>2</sub>となり、排出基準量の約22%の削減となりました。

#### ■ 大規模ビル9物件のCO<sub>2</sub>排出量削減実績と目標(東京都環境確保条例の削減義務 第2計画期間)



※京王プラザホテル(新宿)、京王プラザホテル八王子、京王プラザホテル多摩、京王品川ビル、京王八王子明神町ビル、京王百貨店新宿ビル、京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター、京王八王子ショッピングセンター、2017年度からキラリナ京王吉祥寺を追加

※「基準値」とは、2002~2007年度のうち任意の連続した3カ年におけるCO<sub>2</sub>排出量の平均値をいいます。

# 低炭素社会を目指して

## 電力の削減・CO<sub>2</sub>排出量削減

### ■ 電気・ハイブリッドバス

西東京バスでは、羽村市から運行を受託しているコミュニティバス「はむらん」において、定期路線バスでは日本初となる小型電気バスによる運行を2012年3月から開始しています。

また、京王電鉄バスグループ・西東京バスでは、2012年から最も負荷のかかる発進時はモーター動力のみで駆動して燃費を抑え、減速時は高性能リチウムイオンバッテリーがエネルギーを効率よく回収するシステムを採用したハイブリッドバスを一部路線で導入しています。



ハイブリッドバス

### ■ ハイブリッドタクシー・アイドリングストップ車

京王自動車グループでは、タクシーにハイブリッド車やアイドリングストップ車を導入し、エネルギーの効率利用に取り組んでいます。



ハイブリッドタクシー

### ■ キラリナ京王吉祥寺

建物の壁面と屋上を緑化しており、屋上は憩いの場としてもご利用いただけます。また、壁面の緑化への灌水(かんすい)については、井戸水を使用することで、貴重な水資源を守っています。

そのほか、館内の照明にLEDを採用することで、年間を通した使用電力削減に取り組んでいるほか、氷蓄熱システムを導入し、電力需要の下がる夜間電力を利用して氷を作り、日中の冷房に利用することで、夏場のピーク時における省エネルギー化を図っています。



キラリナ京王吉祥寺

### ■ メルクマール京王笹塚

京王重機整備が2015年3月に笹塚駅隣接地に建設した「メルクマール京王笹塚」は、敷地内に地域交流の場として活用できる広場を設けているほか、屋上・テラスの緑化など笹塚のシンボルである玉川上水から敷地内へと続く緑のネットワークを作っています。

緑化のほかにも、水平庇と高遮熱断熱ガラスなどを取り入れ、ヒートアイランド現象軽減などを図っています。



メルクマール京王笹塚



■ LED照明導入

当社およびグループ各社では、ショッピングセンター・オフィス・ホテルなどの施設において、LED照明を積極的に導入しています。



京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター B館2階



京王プラザホテル正面玄関ダウンライト、シャンデリア

再生可能エネルギーの活用

京王グループでは、再生可能エネルギーの活用に積極的に取り組んでいます。

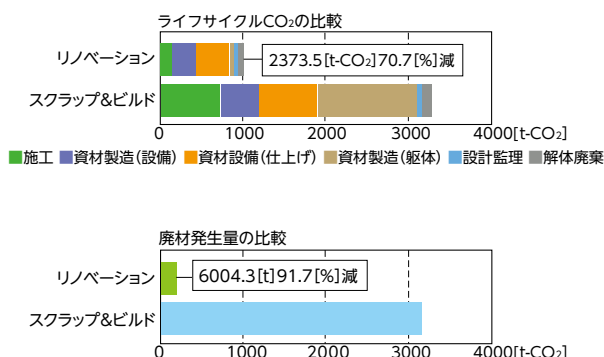


# 循環型社会を目指して

## 資源の有効活用

### ■ 環境負荷を低減した「リノベーション事業」を展開

既存の建築物をリニューアル・再生し、魅力ある住宅を供給するリノベーション事業は、限られた資源を有効に使いCO<sub>2</sub>排出量を削減する、地球環境にやさしい手法です。リビタが手がけた「リノア多摩川CORTE」では、省エネルギー改修を行うことで、ライフサイクルCO<sub>2</sub><sup>※1</sup>を70%削減したほか、廃材発生量<sup>※2</sup>を91%削減することができました。



※1 ライフサイクルCO<sub>2</sub>とは、建物の建設から運用、解体までのライフサイクルを通じて排出される二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の量を指します。

※2 廃材発生量とは、建物を解体した場合に発生する材料を指します。建物が与える地球温暖化への影響を評価する指標です。

### ■ ECOステイ

京王プレッソインでは、環境保護の一環として「ECOステイ」を推奨しています。「ECOステイ」は連泊のお客様を対象に、申し出ただくと、タオルやシーツを交換せずに清掃を行い、クリーニングの回数を減らして水資源保護・CO<sub>2</sub>排出削減を図るものです。また、ご協力いただいたお客様には、ミネラルウォーターなどをプレゼントしています。



京王プレッソイン赤坂

### ■ エコバッグ・レジ袋削減

京王百貨店では、エコバッグを販売してお客様にマイバッグご持参の呼びかけを行っています。なお、収益は日本山岳会「高尾の森づくりの会」に寄付しています。また、京王ストアでは、レジ袋

をご辞退いただくと、2円引きのサービスを行っています。(一部店舗およびコンビニ・売店は除く)

### ■ 車両洗車時の節水

若葉台工場では、車両や部品の洗浄などに用いる水の使用量を削減するため、「処理水再利用装置」を導入しています。

この装置で、使用済みの水の汚れを取り除き、洗浄水などに再利用しています。現在、洗浄に用いる水の約40%はこの装置により処理されたものです。

また、若葉台車両基地と高幡不動産車両基地では、車両洗浄に使用する水を従来と比べて約50%削減できる車両洗浄装置を導入しています。



節水型車両洗浄装置

TOPICS

## リビタのリノベーション4施設がグッドデザイン賞受賞

リビタは、シェア型複合施設「the C」、シェア型賃貸住宅「シェアプレイス 聖蹟桜ヶ丘」、一棟丸ごとリノベーション分譲マンション「リノア 東日本橋」「リアージュつくば春日」にて、「2015年度グッドデザイン賞」を受賞しました。リビタの受賞は6年連続となります。



シェアプレイス 聖蹟桜ヶ丘



リノア 東日本橋

### ■ 廃食油のリサイクル(京王グループ6社)

京王グループ6社※は、レストランの調理場などから排出した廃食油を、石けんにリサイクルしています。2015年度は75事業場から約210tの廃食油を回収、有効利用しました。

※京王電鉄、京王百貨店、京王リテールサービス、京王プラザホテル、京王レクリエーション、レストラン京王



廃食油「リサイクル石けん」

### ■ 間伐材を使用したベンチ

2016年から、一部の駅に木の温かみを感じられる木製ベンチを設置しています。



### ■ 京王百草園の竹灯籠

京王百草園では、園内にある竹林から孟宗竹(モウソウチク)を間引きし、その竹を加工しろうソクを入れた灯籠を紅葉が美しい時期に灯すイベントを開催しています。



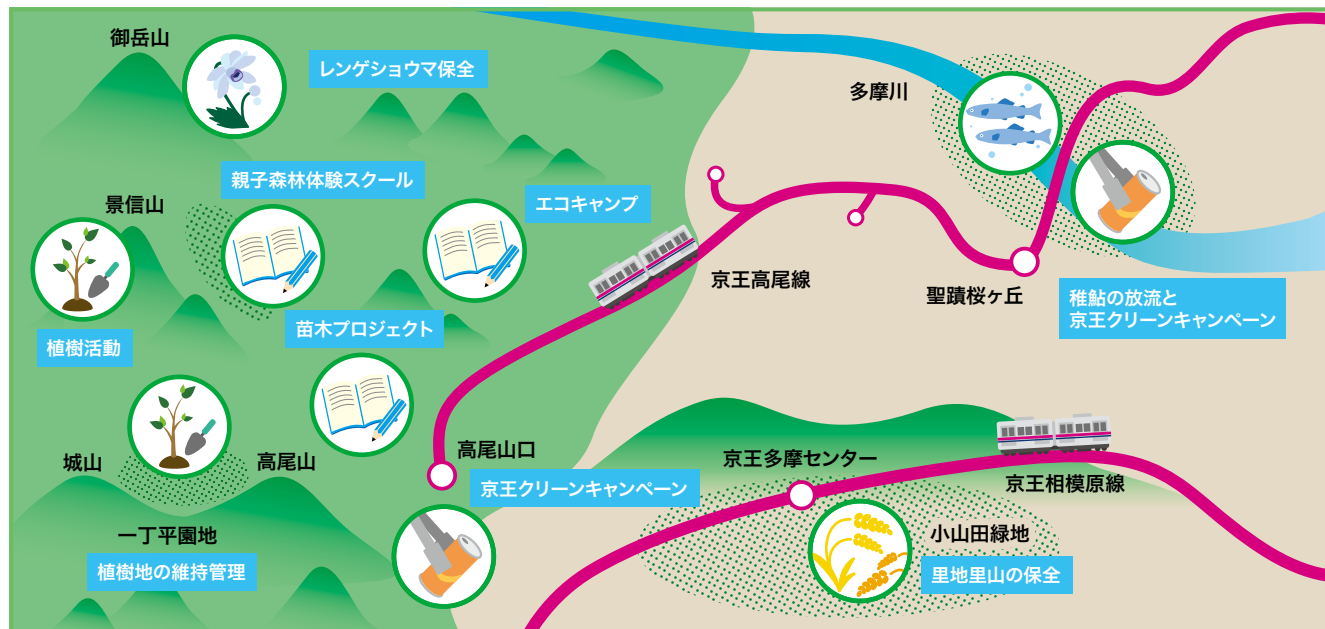
### ■ 緑化廃棄物処理

京王百草園や京王レクリエーションでは外部会社と協力し、京王百草園内や桜ヶ丘カントリークラブのコースで発生した緑化廃棄物(折れ枝・落葉など)を、パルプチップやバイオマスチップにリサイクルすることで堆肥や燃料として有効利用する取り組みを行っています。



# 自然共生社会を目指して

## 生物多様性の取り組み



### ■ 森林再生への取り組み

2002年から14年間にわたって、公益社団法人日本山岳会「高尾の森づくりの会」が、裏高尾(小下沢国有林)で行う森林再生活動を支援しています。2015年までに累計17,000本の樹木の提供を行うとともに、下草刈りをはじめとした育樹活動を行っています。

2014年度からは、高尾山への愛着、環境意識の醸成を目的として、新入社員研修にも組み込まれています。



京王クリーンキャンペーン(多摩川)

### ■ 高尾の森親子森林体験スクール

森林再生活動を支援している裏高尾において、公益社団法人日本山岳会「高尾の森づくりの会」と協力し「高尾の森 親子森林体験スクール」を開催しています。このスクールは小学4年生から高校生のお子様と保護者の方に、植樹や下草刈り作業の体験、植物や水生生物の観察など自然との触れ合いを通じて、森の大切さを学んでいただいています。



水生生物の観察の様子

### ■ 京王クリーンキャンペーン

1991年から沿線地域の環境保全を目的に、毎年高尾山や多摩川の清掃活動を行っています。

2016年5月には、多摩川で清掃活動のほかに稚鴫約1,000匹の放流を行い、一般のお客様と京王グループ社員合わせて879人が参加しました。

2015年には、高尾山で清掃活動とゴミ持ち帰りの啓発活動を実施しました。



高尾山口駅でのゴミ持ち帰りの啓発活動

TOPICS

## 種子から育てる苗木プロジェクト

「種子から育てる苗木プロジェクト」とは、公益社団法人日本山岳会「高尾の森づくりの会」と京王グループが植樹する苗木を、地元の小学校とともに育てる活動のことで、2013年に開始しました。八王子市立城山小学校を訪問し、児童との種まきをはじめ

環境教育授業、里山に暮らす生き物の痕跡展示、森林作業の道具説明などを行いました。育成した苗木は2016年3月に城山小学校の児童、保護者、学校関係者の皆様とともに裏高尾で植樹を行いました。



### 参加者コメント

種をまいて学校で育てていましたが、うまく育たず大変でした。自然の難しさを改めて知りました。



八王子市立城山小学校  
校長  
**宗像 武彦 様**

学校で育てるのも大変なのに、山に植えてからの木は自分で育たないといけないのでもっと大変だと思った。これから時々高尾山に行ってちゃんと育てているか見守りたいです。



低学年の児童がオニグルミの種を植え、3年をかけて苗木に育て、高尾の森に植えるプロジェクトに参加しました。子どもたちは、京王電鉄と高尾の森づくりの会の人々と一緒にプロジェクトに取り組むことで、地球環境の尊さと、地道な活動の大切さを知ることができました。社会問題に対し自ら行動をおこすことができた本プロジェクトは、未来に生きていく子供たちに、必ず生かされていくと信じています。

### ■ レンゲショウマ保全

御岳登山鉄道は、御岳山に群生し絶滅危惧種に指定されている山野草「レンゲショウマ」の保全活動として、みたけ山観光協会などと協力し、群生地での下草刈りやハイキングコースの整備を行っています。



レンゲショウマ

ハイキングの様子

### ■ 里地里山保全

京王沿線の多摩丘陵には里地里山の風景や自然が点在しています。そこでは、貴重な動植物に出合えるだけでなく、歴史を伝える史跡から、自然と共生していたかつての生活もうかがい知ることができます。

京王グループではこの里地里山の素晴らしさを知っていただくために、散策マップの作成などを通じ、日本の原風景である里地里山の保全に協力しています。

## 沿線の緑化

### ■ 線路脇の緑化

1991年から、線路脇の雑草には除草剤を使わず、人の手による草刈りを行っています。また、降雨による法面の崩壊を防ぐとともに、お客様に沿線風景を楽しんでいただくことを目的として、線路脇へアジサイ・ツツジ・サザンカなどを植栽し、緑化を進めています。井の頭線沿線での緑化の取り組みは、「杉並『まち』デザイン賞」を受賞しました。

また、多摩動物公園駅では、見て楽しめるよう動物の形をした植栽を植えるなど、景観に配慮した植栽を実施しています。



線路脇の緑化



多摩動物公園駅にある動物の植栽

### ■ 屋上庭園「ふくにわ」

2011年3月に開業した「京王リトナード永福町」に併設する屋上庭園「ふくにわ」は、屋上緑化によるエネルギー使用量削減を目指すとともに、地域の方の憩いの場としてご利用いただける「みどりあふれるコミュニティ庭園」です。季節の木々や草花が香るこの庭園は、環境省が主催する「2010年度『みどり香るまちづくり』企画コンテスト」に入賞しました。

TOPICS

### 『都市のオアシス』に認定

屋上庭園「ふくにわ」が、公益財団法人都市緑化機構主催の2015年度SEGES(社会・環境貢献緑地評価システム)認定緑地に選ばれました。地域の公園機能を代替する場所であること、地域のコミュニティ庭園として利用されていること、線路脇を含めた井の頭線というエリアで緑化を展開していること、などが評価されました。



当社は京王リトナード永福町の屋上庭園「ふくにわ」で植栽管理やイベントの運営を行っています。環境への配慮だけでなく、花や緑を使ったワークショップやコンサート等のイベントを行い、地域の方々に喜ばれる空間となっていることが高い評価を受けています。今後も、都心部を走る井の頭線での緑化活動を通じ、地域にとけこむ美しい環境づくりに貢献してまいります。

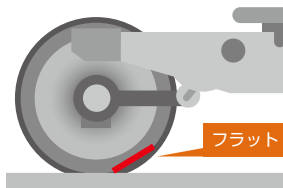


東邦レオ株式会社  
グリーントウン事業  
堀川 範幸 様

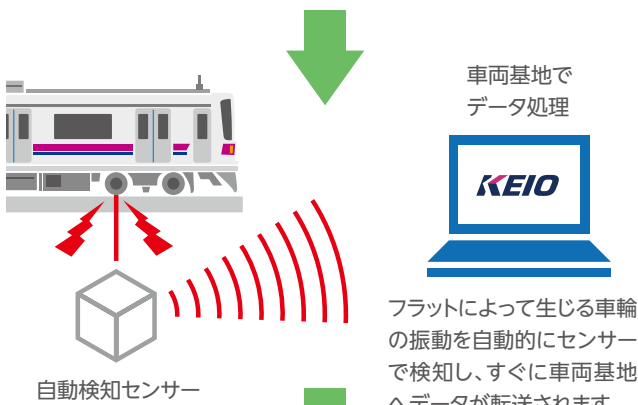
## そのほかの取り組み

### ■ 電車の走行音の低減

車輪の振動を自動的に検出するセンサーを京王線・井の頭線に各1カ所設置し、騒音・振動を早期に発見・改善しています。



雨天時などのブレーキ中に車輪がロックしてレール上を滑ると平らな部分(フラット)ができ、騒音・振動のもとになります。



車輪の削正

車両基地で車輪の削正や交換を行いフラットをなくし、騒音・振動・乗り心地を改善します。

### ■ CSR・環境コミュニケーション

京王グループの活動に関する情報は、以下の媒体で公表しています。



CSRレポート



ポスター



京王HP



IR誌



京王ニュース

### TOPICS

## 車両の省エネルギー化の推進

鉄道事業部門では、車両の省エネルギー化を図るため、京王線8000系および井の頭線1000系車両において新型VVVFインバータ制御装置の導入を進めているほか、車内照明のLED化を順次実施しています。

2018年春に運行開始を予定している座席指定列車にあわせて導入する新型車両「5000系」では、新型VVVFインバータ制御装置やLED照明に加えて、車上蓄電池システム※を導入します。

#### ※車上蓄電池システム

電車がブレーキをかけた際に発生する回生電力を車両に搭載した蓄電池に充電し、電車が走行する際の電力として供給するシステム。



8000系



新型車両「5000系」

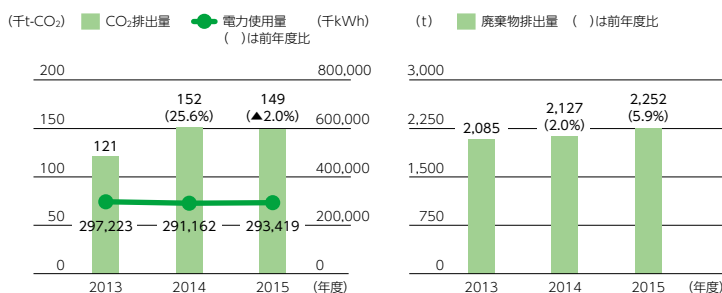
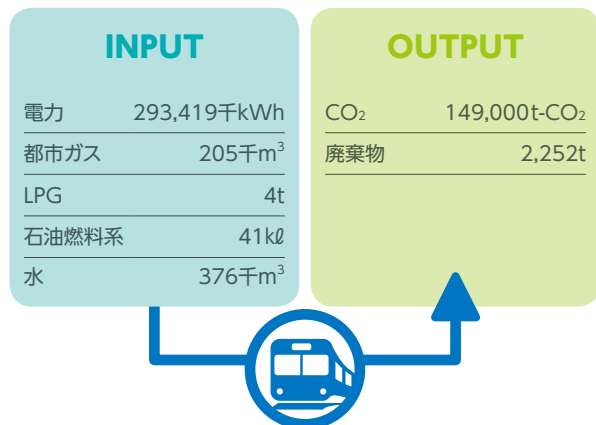
# 環境関連データ

## 環境負荷の把握

当社には「鉄道事業部門」、土地・建物の賃貸・販売を行う「開発事業部門」、会社全般の管理業務を行う「一般管理部門」があります。それぞれの事業特性に応じて、資源の使用(インプット)とCO<sub>2</sub>・廃棄物の排出(アウトプット)を定量的に把握し、企業活動に役立てています。

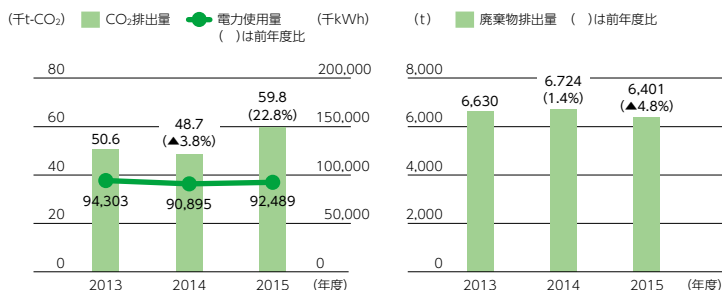
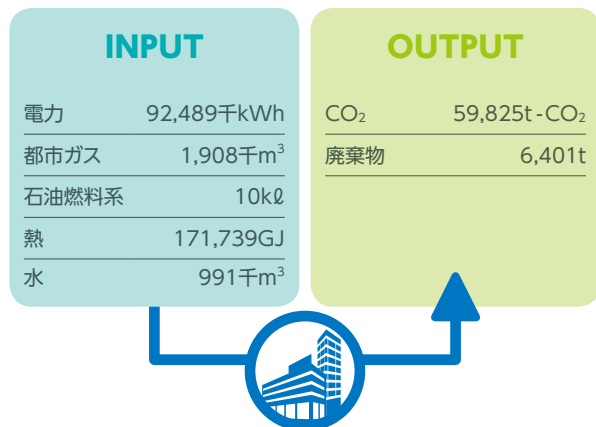
### 2015年度の環境負荷レビュー

#### 鉄道事業部門



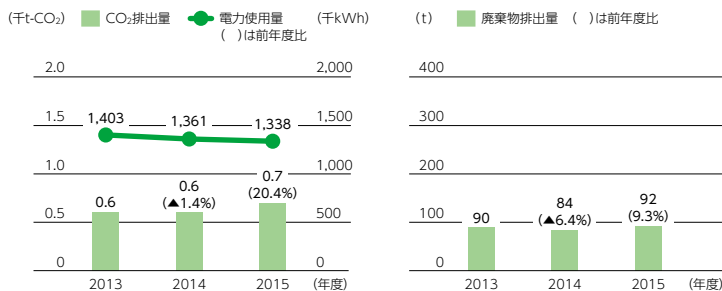
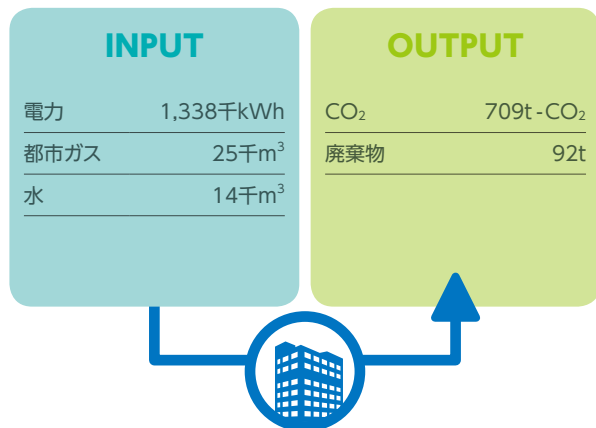
集計対象は、電車の運行、駅および現業事務所です。  
CO<sub>2</sub>排出量は前年度に比べ2.0%減少しました。  
廃棄物排出量は工事の増加等により、前年度に比べ5.9%増加しました。

#### 開発事業部門



集計対象は、東京都環境確保条例に基づく大規模8事業所です。  
CO<sub>2</sub>排出量については、電力使用量自体は微増だったものの、東京都環境確保条例による電力用のCO<sub>2</sub>排出係数の大幅な増加により、前年度に比べ、22.8%増加しました。

#### 一般管理部門



集計対象は、本社ビルおよび福利厚生施設です。  
CO<sub>2</sub>排出量については、電力使用量自体は減少したものの、東京都環境確保条例による電力用のCO<sub>2</sub>排出係数の大幅な増加により、前年度に比べ20.4%増加しました。



## 環境会計

環境保全に向けて、2015年度は約55億円の環境投資・費用を行使しました。

当社は、環境負荷の低減に向けて、列車の騒音振動防止や、駅施設やオフィスビル・店舗などへの高効率照明をはじめとした環境配慮設備の導入による省エネルギー化、廃棄物の分別・リサイクルなどのレベルアップに向けて、環境投資を継続しています。

2015年度は、新型VVVFインバータ制御装置の導入など省エネルギー化を推進したほか、京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業の投資額が増加したことなどにより、環境投資・費用についても全体で前年度比13.8%の増加となりました。

### 2015年度の環境保全コスト(投資・費用額)

(単位:百万円)

内容	主な取り組み	具体的な内容	投資	費用
<b>(1) 事業エリア内コスト</b>			3,270	2,157
① 公害防止コスト	●騒音振動防止 ●大気汚染防止 ●水質汚濁防止	◎連続立体交差化 ◎ロングレール更换 ◎草刈 ◎低VOC塗料 ◎浄化槽点検・清掃	1,543	680
② 地球環境保全コスト	●省エネルギー化 ●モーダルシフト ●オゾン層破壊防止	◎新型VVVFインバータ制御装置導入 ◎照明LED化 ◎エレベーター新設 ◎ノンフロン空調機更新	1,406	188
③ 資源循環コスト	●廃棄物減量 ●廃棄物処理・処分 ●廃棄物リサイクル	◎PASMO <sup>※</sup> 関連費用 ◎駅清掃費 ◎車両清掃費 ◎節水型トイレ化 ◎本社ビル清掃・リサイクル	321	1,289
<b>(2) 管理活動コスト</b>	●景観保持 ●自然保護・緑化 ●教育・啓発	◎植栽管理 ◎環境報告書制作 ◎環境啓発ポスター制作	0	114
<b>(3) 社会活動コスト</b>	●自然保護・緑化 ●環境保全の寄付 ●社会的取り組み	◎京王クリーンキャンペーン ◎植樹活動・保全・支援 ◎親子森林体験スクール	0	3
<b>合計</b>			3,270	2,274
<b>コスト総計</b>			5,544	

#### [対象期間]

2015年4月1日～2016年3月31日

#### [対象範囲]

当社の鉄道事業部門、開発事業部門、一般管理部門で発生した環境保全コストを対象としています。

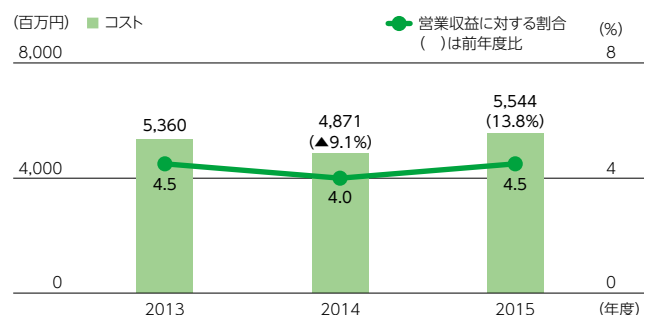
(京王グループ各社で発生したコストは含んでいません)

#### [算定基準]

- 「環境省環境会計ガイドライン(2005年版)」および「民鉄事業環境会計ガイドライン(2008年版)」を参考に集計しています。
- 環境保全コストとして確実に把握したもののみ計上しています。
- 減価償却費は計上していません。

※PASMOは、株式会社パスモの登録商標です。

#### ■ 環境保全コストの推移



京王グループでは、CSR活動をより深化させていくために、「企業統治」「安全」「社会」「環境」における重要テーマに取り組んでいます。それぞれ中期目標とアクションプランを立てて推進しています。

CSR項目	重要テーマ	中期目標
企業統治	コーポレート・ガバナンス	コーポレート・ガバナンス、内部統制システムの充実・強化の推進
	コンプライアンス	コンプライアンス意識浸透策の実施、法改正等への対応
	リスクマネジメント・情報セキュリティ	グループ共通リスク対策重点項目等への対策や啓発活動の推進
		事業継続計画(BCP)の展開 セキュリティリスク対策などのIT統制を着実に実施
安全	事故や輸送障害の未然防止	「安全に関する基本方針」の徹底 現場の声や他社の先進的な取り組みを幅広く収集
	人材育成・活用	自ら知識・技能の習得に努め、安全・安心・快適な鉄道であるための使命を果たせる人材の育成
	中長期施策の推進	京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業の推進 下北沢駅改良工事の推進
	減災対策	鉄道施設のさらなる耐震化
		異常気象への対応
安全対策・老朽化対策	ホーム安全対策の推進 踏切安全対策の推進	
社会	お客様の利便性・快適性の向上	駅改良工事の実施
		車両のリニューアル
		行先案内板のマルチカラー化
		液晶画面を用いた車内案内表示器の2画面化
	地域社会・行政との連携	行政と連携し、地域の活性化を支援
	お客様との対話	様々なお客様にとって分かりやすい情報の発信
	多世代が生活しやすい沿線づくり	高齢者事業の展開 生活支援事業の拡大
		子育て支援事業の展開
	地域社会への貢献	京王アカデミープログラム(文化・教育・子育て支援イベント)の実施
		チャリティイベント・スポーツ振興・産学連携
株主・投資家の皆様との対話	株主・投資家の皆様に分かりやすい情報開示の推進 ワーク・ライフ・バランスの推進	
人材の活用と働きやすい職場づくり	管理職における女性比率を2021年度末までに2016年4月比で5割増	
	障がい者が能力を発揮できる職場環境の整備と障がい者雇用の推進	
環境	低炭素社会を目指して	新型VVVFインバータ制御装置の導入
		駅舎補助電源装置の導入
		照明の省エネルギー化
	循環型社会を目指して	間伐材を使用したベンチの導入 高尾山エリアにおける植樹活動の継続
自然共生社会を目指して	環境イベントの実施	

2015年度実績	2016年度のアクションプラン
「コーポレート・ガバナンス基本方針」の制定や、改正会社法の趣旨を踏まえて「京王グループ内部統制システムに関する基本方針」を改定	コーポレート・ガバナンス、内部統制システムの充実・強化を継続推進
階層別研修・eラーニング等による従業員教育を実施、コンプライアンス・トピックス等による各種啓発活動を実施	コンプライアンス意識浸透策、法令改正への対応等を継続実施
新法制定・法令改正情報の周知・適切な対応策を実施	
グループ共通リスク対策重点項目の策定および対応策の検討・実施、不正行為防止に向けた情報共有の実施	グループ共通リスク対策重点項目等への対応を継続実施
全取引先に対して、反社会的勢力の排除に関する覚書の締結や反社会的勢力チェックなどの実施完了	
グループ防災情報連絡会を2回実施し、BCP策定状況や安否確認方法などについて情報を共有	グループ全体での防災体制整備を継続実施
情報セキュリティインシデントの収束までを統括管理する専任担当（CSIRT）を創設	グループ内インシデント収束対応の標準化
情報管理基本方針を改定し、京王電鉄内の業務システムを含むセキュリティリスク対応を一元化	PDCAサイクルの確立と、情報管理基本方針の下位規定の整備
有責事故0件、輸送障害発生件数20件（対前年度 16件減） 職場巡視や意見交換会の場での安全に関するメッセージの発信 「安全ポスター」の展開、「安全講演会」「京王失敗学会」「小集団活動発表会」等の開催	有責事故ゼロと輸送障害発生件数の前年度比削減 左記施策の継続実施およびトラブル等の原因分析と対策の検討 「事故展示室」のリニューアル、「安全ポータルサイト」の構築
ホームベンチの配置変更、温水式ポイント融雪器の導入	他社の先進的な取り組みを収集するなどさらなる安全対策を検討
「事故の聞き取り調査手法研修」「鉄道部門外の社員への安全教育」などを実施	階層別の研修・教育の継続実施、管理職層のマネジメント能力強化
用地取得や設計業務を実施	用地取得や設計業務を実施
盛土部の高架橋化工事を実施	小田急線との乗り換え通路の工事を推進
新宿ずい道中柱の耐震補強工事の完了	新線新宿ずい道の耐震補強工事を実施
高架橋、盛土区間の耐震補強工事を実施、コンクリート製の電力柱をより耐震性の高い鋼管柱に更新	高架橋、盛土区間の耐震補強工事および、電力柱を鋼管柱に更新する工事を継続実施
雨量計を増設し気象状況の観測体制を強化 大雨による土砂災害の防止対策として、高尾線の線路脇斜面を防護する工事を実施 雷害対策として電気機器の耐雷性向上工事を実施 大雪対策として排雪板を装備した事業用車両を新造	自然災害対策を継続実施
飛田給駅下りホームおよび渋谷駅終端部に固定柵を設置 吉祥寺駅でホームドアの使用開始	新線新宿駅、渋谷駅へのホームドア整備にむけた設計業務を実施
踏切障害物検知装置をより高い精度で検知できる装置に更新	踏切障害物検知装置の高精度化を継続推進
初台駅中央口改札内へのエレベーター設置工事を推進 京王八王子駅西口トイレに「だれでもトイレ」を増設、初台駅中央口トイレに「だれでもトイレ」を新設	初台駅中央口改札内へのエレベーター設置工事の完了
京王線8000系3編成、井の頭線1000系1編成のリニューアル工事を実施	京王線8000系3編成、井の頭線1000系3編成のリニューアル工事を実施
笹塚駅・南大沢駅・橋本駅の行先案内板を従来の4色表示からマルチカラー化	飛田給駅・高幡不動駅・吉祥寺駅の行先案内板を従来の4色表示からマルチカラー化
井の頭線1000系1編成に導入	京王線9000系7編成、井の頭線1000系3編成に導入
コミュニティバスの運行受託や、PFI事業の受託によって、利便性の高い街づくりに貢献	コミュニティバスの運行受託や、PFI事業の受託を継続実施
鉄道・バスの交通系情報とグループ情報をオールインワンで配信するスマートフォンアプリを公開	訪日外国人向けに中部地方インフォメーションプラザ in 京王新宿を開業
チャームスイート京王聖蹟桜ヶ丘竣工、スマイラス聖蹟桜ヶ丘着工 空き家巡回サービスを開始	チャームスイート京王聖蹟桜ヶ丘、スマイラス聖蹟桜ヶ丘を開業 生活支援事業を継続実施
京王アンフィールド国領、京王マラスクエア聖蹟桜ヶ丘SC店を開設	京王キッズプラッツ国領開設・一時預かり保育開始 事業所内保育所（サクラさーくる）にて地域のお子様の預かりを開始
京王キッズおしごと隊、高尾山峰中修行体験宿泊、子育てサロン、沿線めぐり、講演会等のプログラムを開催	京王アカデミープログラムを継続実施
京王駅伝フェスティバル・京王音楽祭等のチャリティイベントを開催 京王少年少女サッカー・京王ウィンターテニス等のスポーツイベントへの協賛	主催イベントや文化イベント協賛を継続実施
アナリスト向け決算説明会（年2回）の開催等適切な情報開示の実施や対話機会の設定	継続して適切な情報開示を実施、対話機会を設定
産休・育休取得者数28人	働きやすい職場環境・制度の検討を継続実施
公正な管理職登用を実施	公正な管理職登用を継続実施 女性総合職の新卒採用人数を総合職新卒採用人数全体の30%以上にする
障がい者雇用率2.5%	障がい者雇用を継続推進
京王線8000系と井の頭線1000系に1編成ずつ新型VVVFインバータ制御装置を導入	京王線8000系3編成、井の頭線1000系3編成に導入
駅舎補助電源装置を高幡不動駅に導入	駅舎補助電源装置を北野駅に導入
井の頭線車内照明のLED化完了、駅構内・ホテル・ショッピングセンター等の照明LED化を推進	照明のLED化を継続実施 駅照明の照度を天候にあわせて自動制御する装置を導入
笹塚駅・京王多摩センター駅に導入	明大前駅などに導入
累計植樹本数17,000本	累計植樹本数17,030本（植樹から育樹活動へ移行）
京王グリーンキャンペーン、苗木プロジェクト、高尾の森 親子森林体験スクール等環境教育プログラムを実施	環境教育プログラムの継続実施

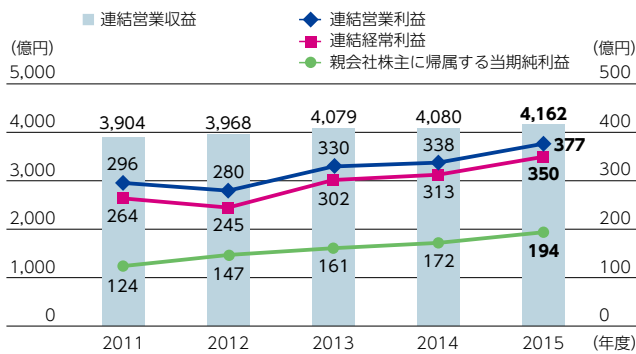
## 会社概要 (2016年3月31日現在)

社名	京王電鉄株式会社
会社設立	1948年6月1日
本社所在地	〒206-8502 東京都多摩市関戸一丁目9番地1 (登記上の本店所在地 〒160-0022 東京都新宿区新宿三丁目1番24号)
資本金	590億23百万円
従業員数	2,447名
営業内容	<p><b>【鉄道事業】</b>                      路線 京王線、高尾線、相模原線、                      競馬場線、動物園線、井の頭線                      駅数 69駅                      営業キロ 84.7km                      輸送人員 年間6億5,234万人(2015年度実績)                      車両数 851両                      (貨車5両および総合高速検測車2両を含む)</p> <p><b>【開発事業(土地、建物の賃貸業・販売業など)】</b>                      新規賃貸資産の開発                      賃貸資産の管理・営業                      ショッピングセンターの管理・運営                      住宅地などの販売</p>
グループ会社数	全45社

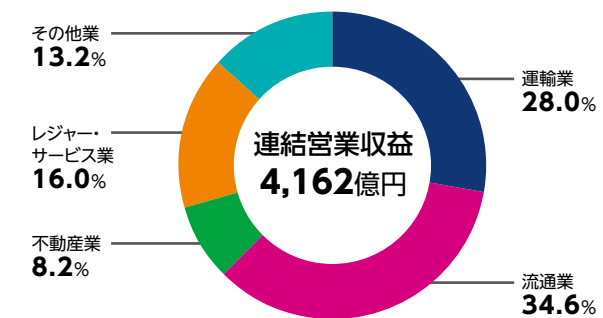
## 京王グループ会社一覧

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>運輸業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 京王電鉄(鉄道)</li> <li>● 京王電鉄バスグループ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>京王電鉄バス</li> <li>京王バス東</li> <li>京王バス中央</li> <li>京王バス南</li> <li>京王バス小金井</li> </ul> </li> <li>● 西東京バス</li> <li>● 京王自動車(京王自動車グループ)</li> <li>● 京王運輸</li> <li>● 御岳登山鉄道*</li> </ul> <p><b>流通業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 京王電鉄(ショッピングセンター)</li> <li>● 京王百貨店</li> <li>● 京王ストア</li> <li>● 京王書籍販売</li> <li>● 京王パスポートクラブ</li> <li>● 京王アートマン</li> <li>● 京王食品</li> <li>● 京王グリーンサービス</li> <li>● エリート*</li> <li>● 京王友の会*</li> </ul> <p><b>不動産業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 京王電鉄(開発)</li> <li>● 京王不動産</li> <li>● 京王地下駐車場</li> <li>● リビタ</li> <li>● 京王重機整備(賃貸)</li> </ul> | <p><b>レジャー・サービス業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 京王プラザホテル</li> <li>● 京王プラザホテル札幌</li> <li>● 京王プレッソイン</li> <li>● 京王観光</li> <li>● 京王エージェンシー</li> <li>● 京王レクリエーション</li> <li>● レストラン京王</li> <li>● 京王コスチューム*</li> <li>● フレッシュティージャパン*</li> </ul> <p><b>その他業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 京王設備サービス</li> <li>● 京王重機整備(車両整備)</li> <li>● 東京特殊車体</li> <li>● 京王建設</li> <li>● 京王ITソリューションズ</li> <li>● 京王アカウンティング</li> <li>● 京王ビジネスサポート</li> <li>● 京王ユース・プラザ</li> <li>● 京王シンシアスタッフ</li> <li>● 京王子育てサポート</li> <li>● 京王ウェルシステージ</li> <li>● 京王フェアウェルサポート</li> <li>● 新東京エリート*</li> </ul> <p>※印は持分法適用会社です。なお、事業セグメント分類上、京王電鉄と京王重機整備が重複して含まれています。(2016年9月末現在)</p> |
|---|--|

## 連結業績の推移



## 連結営業収益の構成比率



## 京王電鉄路線図





立教大学経営学部 教授  
経済学博士

### 高岡 美佳

京王グループのCSRレポートに第三者意見を寄せるのは今回で3回目となります。全体を通して、京王グループの安全・社会・環境に関する取り組み状況が分かりやすく伝えられている良いレポートだと思います。トップメッセージにあるように、2015年度、京王グループは、中期3カ年計画の初年度として、「鉄道事業の安全性・収益力の向上」「沿線拠点の活性化」「将来的に成長が見込める事業の拡大」など、今後のさらなる成長に向けた土台作りを行いました。本レポートを読むと、京王グループが従来の活動に加えて上記の3点を重視しながら社会的責任を果たそうとしていることがよく分かります。ステークホルダーの生の声や写真が数多く掲載されており、顔の見えるレポートとなっている点も特徴です。

まず、今回のレポートで最も評価したい点は、京王グループとして初めてCSRアクションプランを公開した点です。昨年度も指摘させていただきましたが、CSRの重点テーマと目標を設定し、一年間のグループの活動を振り返るとともに次年度のプランを策定・公開することは、信頼されるトップカンパニーとして成長し続けるために不可欠です。京王グループのCSRに対する真摯な姿勢を高く評価したいと思います。また、次年度は重要課題の特定とそのプロセスが掲載されることを期待します。

安全報告では、従来通り、「『安全』は最大の使命であり、最高のサービスである」という京王グループの方針にもとづき、安全管理方法、人材の育成、安全文化の構築、危機に備えた訓練、施

設・設備の取り組み、日々の保守管理、災害等への備え、お客様との連携、グループ会社の安全対策などが報告されています。2015年度は、鉄道事業の安全性をより一層高めるべく、25カ所の踏切を廃止する京王線笹塚駅～仙川駅間の連続立体交差事業について用地取得や設計業務を推進しました。また、災害等への備えとして、京王線新宿駅～笹塚駅間のトンネル内の補強や排雪板を装備した牽引車両を導入するなどの対策を講じています。P.28のTOPICSでは、2016年1月に発生した大雪による輸送障害と再発防止策の概要がまとめられていますが、この内容からも分かる通り、京王グループは一つひとつ地道に安全対策を実施しています。鉄道事業者としての第一の社会的責任である輸送の安全性を常に向上させようとする点に、同グループの安全意識の高さを見てとることができます。

社会性報告のパートでは、京王グループが、「『住んでもらえる、選んでもらえる沿線づくり』を推進し、幸せな暮らしを実現する」ために、お客様の利便性・快適性の向上や多世代が生活しやすい沿線づくり、そして、地域社会への貢献に向けて実施している活動がまとめられています。2015年度は、介護付有料老人ホーム「チャームスイート京王聖蹟桜ヶ丘」や保育所を併設した子育て支援賃貸マンション「京王アンフィールド国領」を竣工しました。これは、日本が抱える社会的課題を解決するための取り組みであると同時に、同グループにとって、将来的に成長が見込まれる事業分野への参入でもあります。CSRは本業を通じて行うのが最も持続的であると考えられますので、ぜひともこれらを事業として成功させ、継続的に社会に貢献していただきたいと思えます。なお、今年度の社会性報告では、社員に関するデータ開示が一層充実した点も高く評価します。

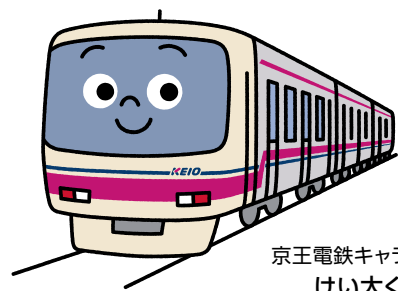
京王グループは、電車の運転用電力を2020年度に2012年度比で10%削減するという中期環境目標を掲げています。2015年度は、2012年度比で約2%削減となりました。同グループは、大手私鉄の中で初めてVVVFインバータ制御装置を全営業車両に搭載し、今年度からはさらに省エネ性能の高い新型VVVFインバータ制御装置を本格導入するなど、環境意識の高い企業体です。従来の取り組みが評価され、今年度は、国土交通省「平成27年交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰」を受賞したほか、「日経環境経営度調査」では鉄道業界で1位を獲得しました。鉄道は自動車と比べて環境負荷の面で優位性がありますが、この事実に加え、今後もグループ全体で低炭素化社会・循環型社会の実現に向けて努力していただきたいと思えます。



この安全・社会・環境報告書の用紙は、環境や地域社会に配慮して管理された森林から生産されたFSC®認証紙を使用しています。

また、日本印刷産業連合会が認定する工場のもと、インキに含まれる有害な石油系の溶剤(VOC)の一部を植物性油で代用したインキを使用しているほか、揮発性有機溶剤を含む湿し水を使用しない、地球環境に配慮した水なし印刷方式で作成されています。

なお、本レポートの原材料調達からリサイクルされるまでのライフサイクル全体で発生する温室効果ガスをCO<sub>2</sub>の量に換算した数値は、1冊あたり1,200gになります。



京王電鉄キャラクター  
けいたくん

## 京王電鉄株式会社

〒206-8502

東京都多摩市関戸一丁目9番地1

安全・社会・環境報告書に関するお問い合わせ

広報部 企画・環境担当

Tel. 042-337-3106

Fax. 042-337-5536

[www.keio.co.jp](http://www.keio.co.jp)

2016年9月発行